令和５年度

牧之原市　市民意識調査

～ 報 告 書 ～

令和５年６月

牧　之　原　市

◇◆◇　目次　◇◆◇

１．調査概要 ····· 1

２．調査結果 ····· 2

（１）調査結果の要約 ····· 2
①牧之原市での暮らしについて ····· 2
②原子力発電について ····· 3
③女性にやさしいまちについて ····· 3
④子育て・教育環境について ····· 3
⑤多文化共生について ····· 4
⑥公共施設の最適化について ····· 5
⑦産業・雇用について ····· 5
⑧健康寿命について ····· 6
⑨行政サービスのデジタル化について ····· 6
⑩市からの情報発信について ····· 7
⑪牧之原市の行政サービスについて ····· 7
⑫全ての取組の満足度・重要度の評価点順位 ····· 9

（２）調査結果の詳細 ····· 12
①牧之原市での暮らしについて ····· 12
（１）今後の居住継続意向 ····· 12
（２）他の場所へ移りたい理由 ····· 14
（３）市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか ····· 17
（４）牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか ····· 20
（５）牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由 ····· 23
②原子力発電について ····· 26
（６）浜岡原子力発電所の今後についての考え ····· 26
③女性にやさしいまちについて ····· 28
（７）牧之原市は女性が暮らしやすいまちか ····· 28
（８）女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野 ····· 30
④子育て・教育環境について ····· 32
（９）牧之原市は子どもを育てやすい環境か ····· 32
（10）子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組 ····· 34
（11）学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力 ····· 37
⑤多文化共生について ····· 40
（12）牧之原市は外国籍住民が暮らしやすいまちか ····· 40
（13）外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野 ····· 42
⑥公共施設の最適化について ····· 44
（14）市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの ····· 44
（15）「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか ····· 47
⑦産業・雇用について ····· 49
（16）市の産業を全体的に見て活力があると思うか ····· 49
（17）牧之原市の産業に活力があると思うか ····· 51

⑧健康寿命について ····· 58
（18）健康について気を付けていること ····· 58
（19）健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組 ····· 62
⑨行政サービスのデジタル化について ····· 65
（20）個人でインターネットを利用している端末 ····· 65
（21）デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること ····· 68
⑩市からの情報発信について ····· 71
（22）市から得たい情報 ····· 71
（23）市からの情報を得る媒体 ····· 74
⑪牧之原市の行政サービスについて ····· 77
（24）満足度・重要度について ····· 77
（25）満足度・重要度【健康福祉】 ····· 78
（26）満足度・重要度【教育文化】 ····· 81
（27）満足度・重要度【産業経済】 ····· 84
（28）満足度・重要度【生活基盤】 ····· 87
（29）満足度・重要度【防災】 ····· 90
（30）満足度・重要度【市政経営】 ····· 93
⑫回答者自身のことについて ····· 96
（31）回答者の属性　①性別 ····· 96
（32）回答者の属性　②年齢 ····· 96
（33）回答者の属性　③同居世帯の構成 ····· 97
（34）回答者の属性　④子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろ ····· 97
（35）回答者の属性　⑤職業 ····· 98
（36）回答者の属性　⑥居住地域 ····· 98

３．調査票 ····· 99

１．調査概要

（１）調査の目的

この調査は、市の様々な取組に対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成 27 年度からスタートした第２次総合計画推進のための資料とすることを目的としています。

（２）調査項目

①牧之原市での暮らしについて
②原子力発電について
③女性にやさしいまちについて
④子育て・教育環境について
⑤多文化共生について
⑥公共施設の最適化について
⑦産業・雇用について
⑧健康寿命について
⑨行政サービスのデジタル化について
⑩市からの情報発信について
⑪牧之原市の行政サービスについて
⑫回答者自身のことについて
⑬日ごろ思うこと（自由意見）【別冊】

（３）調査の設計

・調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の 16 歳以上の市民
・調査方法：無作為抽出による郵送配布、郵送回収またはインターネット回答
・調査期間：令和５年４月 28 日（金）～令和５年５月 12 日（金）
・発 送 数：1,400 人

（４）回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,400 人	685 人 （郵送　　：481 人） （インターネット：204 人）	48.9% （郵送　　：34.4%） （インターネット：14.6%）

◎報告書を見る際の注意事項

- 回答は、各質問の回答者数（ｎ）を基数とした百分率（%）で示しています。
- 百分率は小数第二位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が 100%にならないことがあります。また、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しない場合があります。
- １つの質問に２つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合があります。
- 選択肢の文字数が多い場合、表やグラフ上では省略して表記していることがあります。
- 昨年度調査との比較、性別および年齢別のグラフに対するコメントは、それぞれ 5.0 ポイント以上の差がある回答についてのみ掲載しています。
- 年齢別クロス集計の分析軸の各回答者数（件数）が 20 件未満のものについては、コメントを割愛しています。

２．調査結果

（１）調査結果の要約

①牧之原市での暮らしについて

■２人に１人以上が、今の居住場所に「住み続けたい」

問１　今後の居住継続意向

今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が 54.5%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が 22.0%、「わからない」が 16.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、「市外へ移りたい」が 5.0 ポイント増加し、「住み続けたい」が 5.8 ポイント減少しています。

■他の場所へ移りたい理由は「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が約半数

問２　他の場所へ移りたい理由

他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が 50.8%と最も多く、次いで「通勤や通学など交通面が不便だから」が 45.5%、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が 38.1%などとなっています。

昨年度と比較すると、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が 5.0 ポイント増加しています。

■市内で転居するなら「災害の心配がないところ」が約６割

問３　市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか

市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するかについては、「災害の心配がないところ」が 58.1%と最も多く、次いで「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が 40.1%、「商店や公共施設の近く」が 38.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、「商店や公共施設の近く」が 5.9 ポイント増加しています。

■おすすめしたい気持ちは「５」が約３割で、平均は 4.79

問４　牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか

牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるかについては、「５」が 29.8%と最も多く、次いで「３」が 12.6%、「７」が 9.6%などとなっています。平均値は 4.79 となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられませんが、平均値が年々下がっています。

■おすすめしたい理由は「海岸線や里山などの景観」が約７割

問５　牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由

牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由は、「海岸線や里山などの景観」が 69.4%と最も多く、次いで「四季の風景」が 36.5%、「豊かな食」が 35.3%などとなっています。

昨年度と比較すると、「四季の風景」「歴史文化」が 5.0 ポイント以上増加し、「地域の祭りや伝統行事」が 7.3 ポイント減少しています。

②原子力発電について

■浜岡原子力発電所は「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 42.2%
「停止しておいたほうがよい」」は平成 23 年度調査以来、初めて３割を下回る

問６　浜岡原子力発電所の今後についての考え

浜岡原子力発電所の今後についての考えは、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 42.2%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が 28.5%、「どちらともいえない」が 19.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 5.8 ポイント増加しています。

③女性にやさしいまちについて

■女性が暮らしやすいまちだと『思わない』は３割以上

問７　牧之原市は女性が暮らしやすいまちか

牧之原市は女性が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が 38.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」が 27.2%、「ある程度思う」が 13.9%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 15.3%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 34.5%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は
「子育て」が半数以上

問８　女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「子育て」が 56.1%と最も多く、次いで「日常生活」が 46.7%、「仕事」が 45.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、「子育て」が 7.2 ポイント増加しています。

④子育て・教育環境について

■子どもを育てやすい環境だと『思う』は約３割

問９　牧之原市は子どもを育てやすい環境か

牧之原市は子どもを育てやすい環境かについては、「どちらともいえない」が 34.0%と最も多く、次いで「ある程度思う」が 26.3%、「あまり思わない」が 20.3%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 28.9%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 25.1%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■子どもを育てやすい環境にするためには 約６割が「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」と回答

問 10　子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組

子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が 58.4%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が 50.5%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が 45.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、「子育てに関する経済的支援の充実」「子どもを預かる施設の充実」が 6.0 ポイント以上増加しています。

■学校教育の中で子どもに身につけさせたい力は 「人間関係を築く力（コミュニケーション力)」が４割以上

問 11　学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力

学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、「人間関係を築く力（コミュニケーション力)」が 43.6%と最も多く、次いで「教科の基礎的な学力」が 35.2%、「自分の考えを表現する力」が 33.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑤多文化共生について

■外国籍住民が暮らしやすいまちだと『思う』・『思わない』はともに２割以上

問 12　牧之原市は外国籍住民が暮らしやすいまちか

牧之原市は外国籍住民が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が 34.3%と最も多く、次いで「わからない」が 20.3%、「ある程度思う」が 21.9%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 23.8%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 21.0%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は 「言語サポート」・「日常生活サポート」がともに約５割

問 13　外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「言語サポート」が 48.3%と最も多く、次いで「日常生活サポート」が 47.7%、「相談できる窓口」が 27.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑥公共施設の最適化について

■知っている取組は「片浜小学校の利活用」が６割以上

問 14　市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているものは、「学校再編の取組」が 66.4%と最も多く、次いで「片浜小学校の利活用」が 53.7%、「図書館の整備」が 41.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、「学校再編の取組」が 10.1 ポイント増加し、「老朽化施設の取り壊し」が 5.2 ポイント減少しています。

■施設の廃止や使用料の値上がりを「ある程度までは容認できる」と約４人に３人が回答

問 15　「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が 75.5%と最も多く、次いで「容認できる」が 12.6%、「容認できない」が 10.8%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑦産業・雇用について

■約半数が、市の産業に活力があると『思わない』と回答

問 16　市の産業を全体的に見て活力があると思うか

市の産業を全体的に見て活力があると思うかについては、「あまり思わない」が 36.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 26.4%、「ある程度思う」が 13.1%などとなっています。また、『思う』(「大いに思う」＋「ある程度思う」) は 13.6%、『思わない』(「あまり思わない」＋「まったく思わない」) は 48.5%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■最も活力が『あると思う』産業は、「茶業」が約４割

問 17　牧之原市のどの産業に活力があると思うか

牧之原市のどの産業に活力があると思うかについては、「大いにある」が≪①茶業≫において 10.4%と最も多く、『ある』(「大いにある」＋「ある程度ある」) は 39.9%となっています。一方、「まったくない」が≪⑤観光業≫において 18.5%と最も多く、『ない』(「あまりない」＋「まったくない」) は 53.3%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑧健康寿命について

■健康について気を付けていることは「睡眠・休養を十分にとる」が６割以上

問 18　健康について気を付けていること

健康について気を付けていることは、「睡眠・休養を十分にとる」が 61.9%と最も多く、次いで「食事・栄養に気を配っている」が 56.5%、「定期的に健康診断を受けている」が 49.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■市が力を入れるべき取組は、６割以上が「健診の受診環境の拡充」と回答

問 19　健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組

健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組は、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が 64.1%と最も多く、次いで「運動しやすい環境の充実や整備」が 53.1%、「認知症予防の教室や相談」が 32.8%などとなっています。

昨年度と比較すると、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が 6.3 ポイント増加しています。

⑨行政サービスのデジタル化について

■「スマートフォン」でのインターネット利用者が約９割
昨年度調査から 8.5 ポイント増加

問 20　個人でインターネットを利用している端末

個人でインターネットを利用している端末は、「スマートフォン」が 88.3%と最も多く、次いで「パソコン」が 49.8%、「タブレット型端末」が 23.1%などとなっています。

昨年度と比較すると、「スマートフォン」が 8.5 ポイント増加しています。

■利便性向上に期待することは
「オンライン申請により、窓口に出向くことが不要になる」が約６割

問 21　デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること

デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待することは、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が 59.1%と最も多く、次いで「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が 58.2%、「業務の効率化により行政コストが削減できる」が 24.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が 5.7 ポイント増加しています。

⑩市からの情報発信について

■「防災・防犯」・「健康・医療・福祉」の情報を半数以上が希望

問 22　市から得たい情報

市から得たい情報は、「防災・防犯」が 55.6%と最も多く、次いで「健康・医療・福祉」が 51.1%、「観光・イベント」が 43.2%などとなっています。
昨年度と比較すると、「観光・イベント」が 6.2 ポイント増加しています。

■「広報まきのはら」を情報源としている人が７割以上
「牧之原市公式ＬＩＮＥ」は６割近くに

問 23　市からの情報を得る媒体

市からの情報を得る媒体は、「広報まきのはら」が 73.9%と最も多く、次いで「牧之原市公式ＬＩＮＥ」が 57.5%、「新聞、テレビ、ラジオ」が 19.9%などとなっています。
昨年度と比較すると、「牧之原市公式ＬＩＮＥ」が 8.5 ポイント増加し、「区、町内会の会合」が 5.1 ポイント減少しています。

⑪牧之原市の行政サービスについて

※『満足』は満足度「満足」＋「やや満足」、『高い』は重要度「高い」＋「やや高い」を指します。

■重要度は≪幼稚園・保育園・認定こども園等の充実≫がトップ

【健康福祉】支え合い、活き活きと暮らせる地域と人づくり

満足度は、≪２　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組≫で『満足』が 58.1%、評価点が 0.30 点と、最も高くなっています。
重要度は、≪３　幼稚園・保育園・認定こども園等の充実≫で『高い』が 73.0%、評価点が 0.91 点と、最も高くなっています。

■満足度は≪図書館の機能充実に関する取組≫がトップ

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

満足度は、≪16　図書館の機能充実に関する取組≫で『満足』が 49.9%、評価点が 0.05 点と、最も高くなっています。
重要度は、≪11　子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組≫で『高い』が 72.6%、評価点が 0.90 点と、最も高くなっています。

■【産業経済】の取組は、10 項目中９項目において
「重要度が高いが、満足度は低い」という結果に

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

満足度は、≪25　市内での買い物を促進する取組≫で『満足』が 51.7%、評価点が 0.04 点と、最も高くなっています。
重要度は、≪24　働くことについての支援≫で『高い』が 62.9%、評価点が 0.58 点と、最も高くなっています。

■満足度は≪生活環境対策などへの取組≫がトップ 僅差で≪上水道の供給環境の充実≫が第２位

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

満足度は、≪33　生活環境対策などへの取組≫で『満足』が 54.5%、評価点が 0.14 点と、最も高くなっています。

重要度は、≪28　道路や河川の補修・整備≫で『高い』が 71.2%、評価点が 0.77 点と、最も高くなっています。

■≪学校や地域で子どもを守る取組≫の満足度と ≪震災・火災・水害・浸水対策への取組≫の重要度は、全分野を通して最も高い

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

満足度は、≪45　学校や地域で子どもを守る取組≫で、『満足』が 58.7%、評価点が 0.34 点と、最も高くなっています。

重要度は、≪41　震災・水害・浸水対策への取組≫で『高い』が 75.2%、評価点が 1.05 点と、最も高くなっています。

■≪市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信≫が 満足度・重要度ともにトップ

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

満足度・重要度ともに、≪51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信≫が最も高く、『満足』は 56.4%（評価点 0.27 点）、『高い』は 61.5%（評価点 0.46 点）となっています。

⑫全ての取組の満足度・重要度の評価点順位

分野	評価項目	満足度		重要度	
		順位	評価点	順位	評価点
健康福祉	1　子育て支援センターや児童館の取組	6	0.15	11	0.81
	2　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組	3	0.30	7	0.86
	3　幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	13	0.03	4	0.91
	4　子育て世帯に関する経済的支援制度	20	-0.04	7	0.86
	5　高齢者福祉サービスの取組	19	-0.01	13	0.77
	6　障がい者福祉サービスの取組	13	0.03	16	0.74
	7　福祉施設などの整備	28	-0.13	16	0.74
	8　健康づくりサービスの取組	5	0.18	21	0.64
	9　救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	45	-0.54	6	0.87
	10　地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	10	0.07	41	0.34
教育文化	11　子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	16	0.02	5	0.90
	12　教育環境の整備	27	-0.11	12	0.80
	13　生涯学習など教養を高める機会の提供	22	-0.05	29	0.47
	14　学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	26	-0.09	20	0.67
	15　伝統文化や歴史文化財、芸術に触れる機会を提供（充実）する取組	24	-0.08	49	0.21
	16　図書館の機能充実に関する取組	11	0.05	34	0.44
	17　スポーツを行う環境の充実	39	-0.36	33	0.45
産業経済	18　農業者・水産業者への支援に関する取組	39	-0.36	28	0.50
	19　特産品の消費推進の取組	34	-0.27	30	0.46
	20　耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組	52	-0.98	30	0.46
	21　耕作しやすい農地整備への取組	50	-0.69	42	0.31
	22　企業誘致の取組	51	-0.74	26	0.51
	23　起業者支援に関する取組	47	-0.56	43	0.30
	24　働くことについての支援	48	-0.57	22	0.58
	25　市内での買い物を促進する取組	12	0.04	35	0.42
	26　観光誘客促進のための取組	43	-0.43	40	0.35
	27　各種イベントの開催	30	-0.18	45	0.26
生活基盤	28　道路や河川の補修・整備	39	-0.36	13	0.77
	29　上水道の供給環境の充実	8	0.13	15	0.75
	30　良好な土地利用への誘導	46	-0.55	24	0.53
	31　住宅地の確保や住宅地に関する情報の発信	39	-0.36	51	0.14
	32　公園・緑地の管理や整備の取組	44	-0.51	38	0.37
	33　生活環境対策などへの取組	7	0.14	18	0.73
	34　公害防止対策への取組	9	0.11	26	0.51
	35　風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	29	-0.17	25	0.52
	36　街並みや周辺の景観・美観への取組	32	-0.24	38	0.37
	37　自然環境の保全への取組	24	-0.08	45	0.26
	38　富士山静岡空港を活用するための取組	35	-0.28	37	0.39
	39　公共交通の充実	49	-0.67	23	0.54
	40　地域の悩みごと相談など各種相談窓口の充実	33	-0.25	45	0.26
防災	41　震災・水害・浸水対策への取組	36	-0.29	1	1.05
	42　自主防災組織の強化のための取組	13	0.03	10	0.82
	43　火災・救急などの消防体制への取組	2	0.32	2	0.97
	44　盗難などの犯罪防止に対する取組	30	-0.18	18	0.73
	45　学校や地域で子どもを守る取組	1	0.34	2	0.97
	46　道路交通の安全対策	38	-0.33	7	0.86
市政経営	47　自治会の住民自治活動への支援	17	0.00	44	0.27
	48　地区の集会所などの活動拠点への支援	20	-0.04	50	0.20
	49　行政と地域が協働し、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	23	-0.06	48	0.22
	50　行政改革の取組	37	-0.30	35	0.42
	51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信	4	0.27	30	0.46
	52　姉妹都市、友好都市との交流推進の取組	17	0.00	52	0.02

※評価点の算出方法は 77 ページ参照。
※満足度・重要度の上位項目（第５位まで）には網掛けが付いています。

【満足度順】

分野の凡例

健	健康福祉	教	教育文化	産	産業経済	生	生活基盤	防	防災	市	市政経営

分野	評価項目	満足度		重要度	
		順位	評価点	順位	評価点
防	45　学校や地域で子どもを守る取組	1	0.34	2	0.97
防	43　火災・救急などの消防体制への取組	2	0.32	2	0.97
健	2　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組	3	0.30	7	0.86
市	51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信	4	0.27	30	0.46
健	8　健康づくりサービスの取組	5	0.18	21	0.64
健	1　子育て支援センターや児童館の取組	6	0.15	11	0.81
生	33　生活環境対策などへの取組	7	0.14	18	0.73
生	29　上水道の供給環境の充実	8	0.13	15	0.75
生	34　公害防止対策への取組	9	0.11	26	0.51
健	10　地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	10	0.07	41	0.34
教	16　図書館の機能充実に関する取組	11	0.05	34	0.44
産	25　市内での買い物を促進する取組	12	0.04	35	0.42
健	3　幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	13	0.03	4	0.91
健	6　障がい者福祉サービスの取組	13	0.03	16	0.74
防	42　自主防災組織の強化のための取組	13	0.03	10	0.82
教	11　子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	16	0.02	5	0.90
市	47　自治会の住民自治活動への支援	17	0.00	44	0.27
市	52　姉妹都市、友好都市との交流推進の取組	17	0.00	52	0.02
健	5　高齢者福祉サービスの取組	19	-0.01	13	0.77
健	4　子育て世帯に関する経済的支援制度	20	-0.04	7	0.86
市	48　地区の集会所などの活動拠点への支援	20	-0.04	50	0.20
教	13　生涯学習など教養を高める機会の提供	22	-0.05	29	0.47
市	49　行政と地域が協働し、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	23	-0.06	48	0.22
教	15　伝統文化や歴史文化財、芸術に触れる機会を提供（充実）する取組	24	-0.08	49	0.21
生	37　自然環境の保全への取組	24	-0.08	45	0.26
教	14　学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	26	-0.09	20	0.67
教	12　教育環境の整備	27	-0.11	12	0.80
健	7　福祉施設などの整備	28	-0.13	16	0.74
生	35　風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	29	-0.17	25	0.52
産	27　各種イベントの開催	30	-0.18	45	0.26
防	44　盗難などの犯罪防止に対する取組	30	-0.18	18	0.73
生	36　街並みや周辺の景観・美観への取組	32	-0.24	38	0.37
生	40　地域の悩みごと相談など各種相談窓口の充実	33	-0.25	45	0.26
産	19　特産品の消費推進の取組	34	-0.27	30	0.46
生	38　富士山静岡空港を活用するための取組	35	-0.28	37	0.39
防	41　震災・水害・浸水対策への取組	36	-0.29	1	1.05
市	50　行政改革の取組	37	-0.30	35	0.42
防	46　道路交通の安全対策	38	-0.33	7	0.86
教	17　スポーツを行う環境の充実	39	-0.36	33	0.45
産	18　農業者・水産業者への支援に関する取組	39	-0.36	28	0.50
生	28　道路や河川の補修・整備	39	-0.36	13	0.77
生	31　住宅地の確保や住宅地に関する情報の発信	39	-0.36	51	0.14
産	26　観光誘客促進のための取組	43	-0.43	40	0.35
生	32　公園・緑地の管理や整備の取組	44	-0.51	38	0.37
健	9　救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	45	-0.54	6	0.87
生	30　良好な土地利用への誘導	46	-0.55	24	0.53
産	23　起業者支援に関する取組	47	-0.56	43	0.30
産	24　働くことについての支援	48	-0.57	22	0.58
生	39　公共交通の充実	49	-0.67	23	0.54
産	21　耕作しやすい農地整備への取組	50	-0.69	42	0.31
産	22　企業誘致の取組	51	-0.74	26	0.51
産	20　耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組	52	-0.98	30	0.46

※満足度の評価点の高い順に並べ替えています。
※重要度の上位項目（第５位まで）には網掛けが付いています。

【重要度順】

分野の凡例

健	健康福祉	教	教育文化	産	産業経済	生	生活基盤	防	防災	市	市政経営

分野	評価項目	満足度		重要度	
		順位	評価点	順位	評価点
防	41　震災・水害・浸水対策への取組	36	-0.29	1	1.05
防	43　火災・救急などの消防体制への取組	2	0.32	2	0.97
防	45　学校や地域で子どもを守る取組	1	0.34	2	0.97
健	3　幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	13	0.03	4	0.91
教	11　子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	16	0.02	5	0.90
健	9　救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	45	-0.54	6	0.87
健	2　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組	3	0.30	7	0.86
健	4　子育て世帯に関する経済的支援制度	20	-0.04	7	0.86
防	46　道路交通の安全対策	38	-0.33	7	0.86
防	42　自主防災組織の強化のための取組	13	0.03	10	0.82
健	1　子育て支援センターや児童館の取組	6	0.15	11	0.81
教	12　教育環境の整備	27	-0.11	12	0.80
健	5　高齢者福祉サービスの取組	19	-0.01	13	0.77
生	28　道路や河川の補修・整備	39	-0.36	13	0.77
生	29　上水道の供給環境の充実	8	0.13	15	0.75
健	6　障がい者福祉サービスの取組	13	0.03	16	0.74
健	7　福祉施設などの整備	28	-0.13	16	0.74
生	33　生活環境対策などへの取組	7	0.14	18	0.73
防	44　盗難などの犯罪防止に対する取組	30	-0.18	18	0.73
教	14　学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	26	-0.09	20	0.67
健	8　健康づくりサービスの取組	5	0.18	21	0.64
産	24　働くことについての支援	48	-0.57	22	0.58
生	39　公共交通の充実	49	-0.67	23	0.54
生	30　良好な土地利用への誘導	46	-0.55	24	0.53
生	35　風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	29	-0.17	25	0.52
産	22　企業誘致の取組	51	-0.74	26	0.51
生	34　公害防止対策への取組	9	0.11	26	0.51
産	18　農業者・水産業者への支援に関する取組	39	-0.36	28	0.50
教	13　生涯学習など教養を高める機会の提供	22	-0.05	29	0.47
産	19　特産品の消費推進の取組	34	-0.27	30	0.46
産	20　耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組	52	-0.98	30	0.46
市	51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信	4	0.27	30	0.46
教	17　スポーツを行う環境の充実	39	-0.36	33	0.45
教	16　図書館の機能充実に関する取組	11	0.05	34	0.44
産	25　市内での買い物を促進する取組	12	0.04	35	0.42
市	50　行政改革の取組	37	-0.30	35	0.42
生	38　富士山静岡空港を活用するための取組	35	-0.28	37	0.39
生	32　公園・緑地の管理や整備の取組	44	-0.51	38	0.37
生	36　街並みや周辺の景観・美観への取組	32	-0.24	38	0.37
産	26　観光誘客促進のための取組	43	-0.43	40	0.35
健	10　地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	10	0.07	41	0.34
産	21　耕作しやすい農地整備への取組	50	-0.69	42	0.31
産	23　起業者支援に関する取組	47	-0.56	43	0.30
市	47　自治会の住民自治活動への支援	17	0.00	44	0.27
産	27　各種イベントの開催	30	-0.18	45	0.26
生	37　自然環境の保全への取組	24	-0.08	45	0.26
生	40　地域の悩みごと相談など各種相談窓口の充実	33	-0.25	45	0.26
市	49　行政と地域が協働し、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	23	-0.06	48	0.22
教	15　伝統文化や歴史文化財、芸術に触れる機会を提供（充実）する取組	24	-0.08	49	0.21
市	48　地区の集会所などの活動拠点への支援	20	-0.04	50	0.20
生	31　住宅地の確保や住宅地に関する情報の発信	39	-0.36	51	0.14
市	52　姉妹都市、友好都市との交流推進の取組	17	0.00	52	0.02

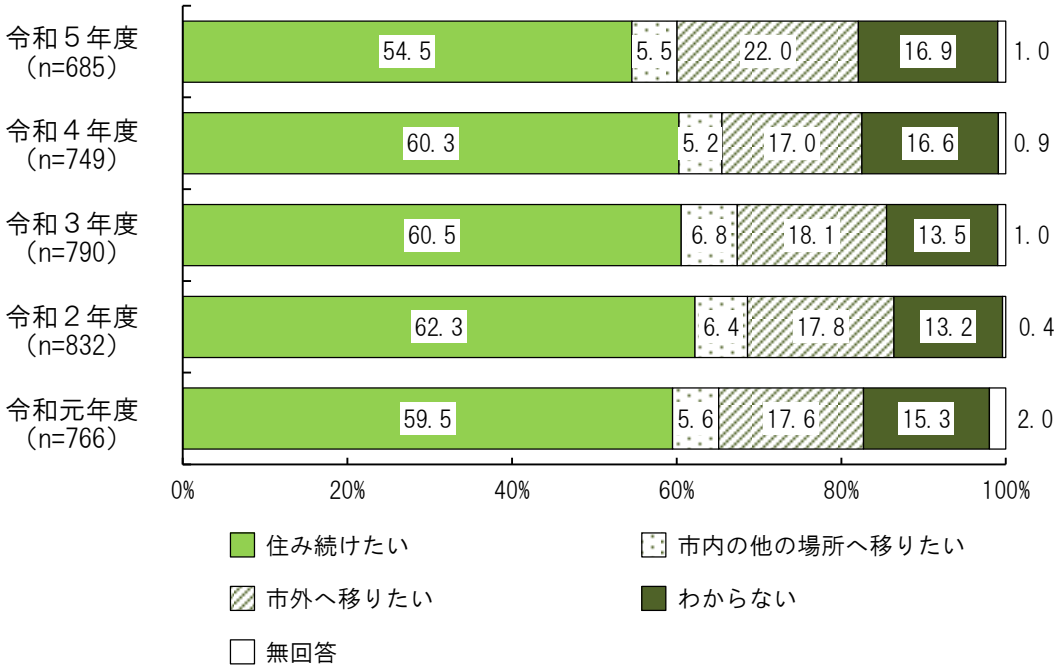
※重要度の評価点の高い順に並べ替えています。
※満足度の上位項目（第５位まで）には網掛けが付いています。

（２）調査結果の詳細

①牧之原市での暮らしについて

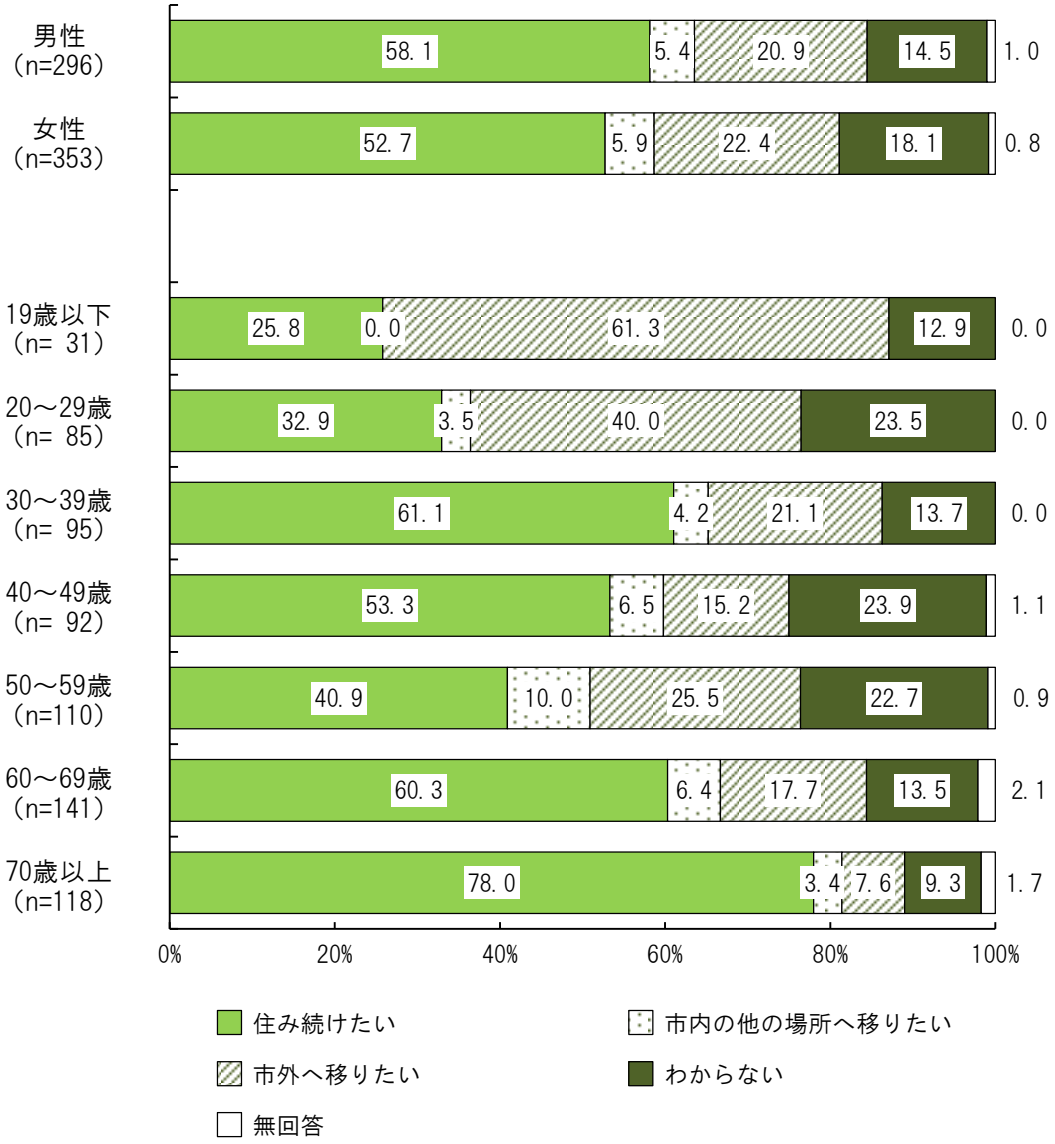
（１）今後の居住継続意向

問１　あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。



今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が 54.5%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が 22.0%、「わからない」が 16.9%などとなっています。
昨年度と比較すると、「市外へ移りたい」が 5.0 ポイント増加し、「住み続けたい」が 5.8 ポイント減少しています。

クロス集計（性別・年齢別）

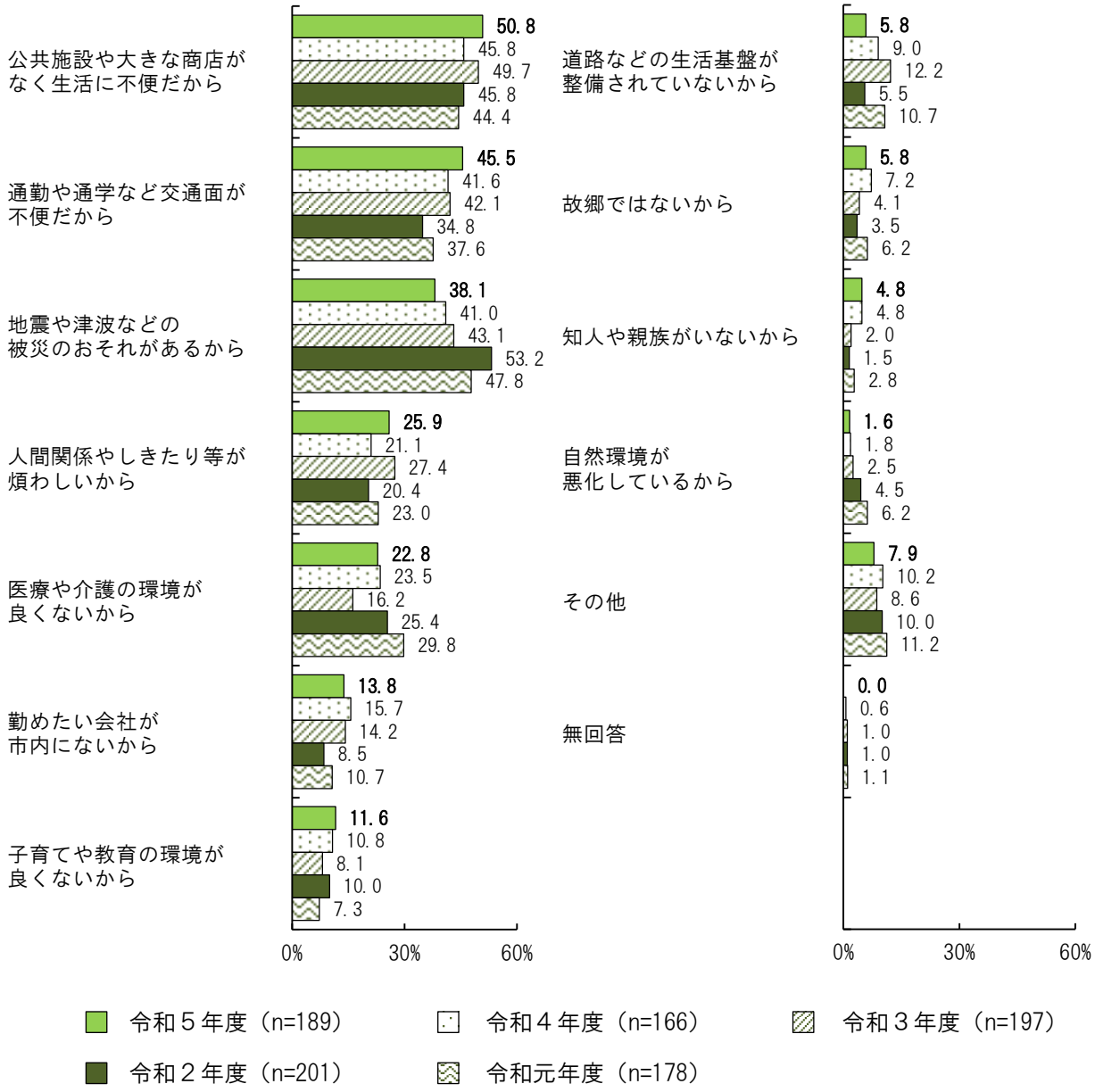


【性　別】：男性は「住み続けたい」が 58.1%と女性より多くなっています。
【年齢別】：19 歳以下は「市外へ移りたい」が 61.3%と他の年代に比べて多く、「住み続けたい」が 25.8%と少なくなっています。70 歳以上は「住み続けたい」が 78.0%と多く、「市外へ移りたい」が 7.6%と少なくなっています。

（２）他の場所へ移りたい理由

問１で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と答えた方のみ

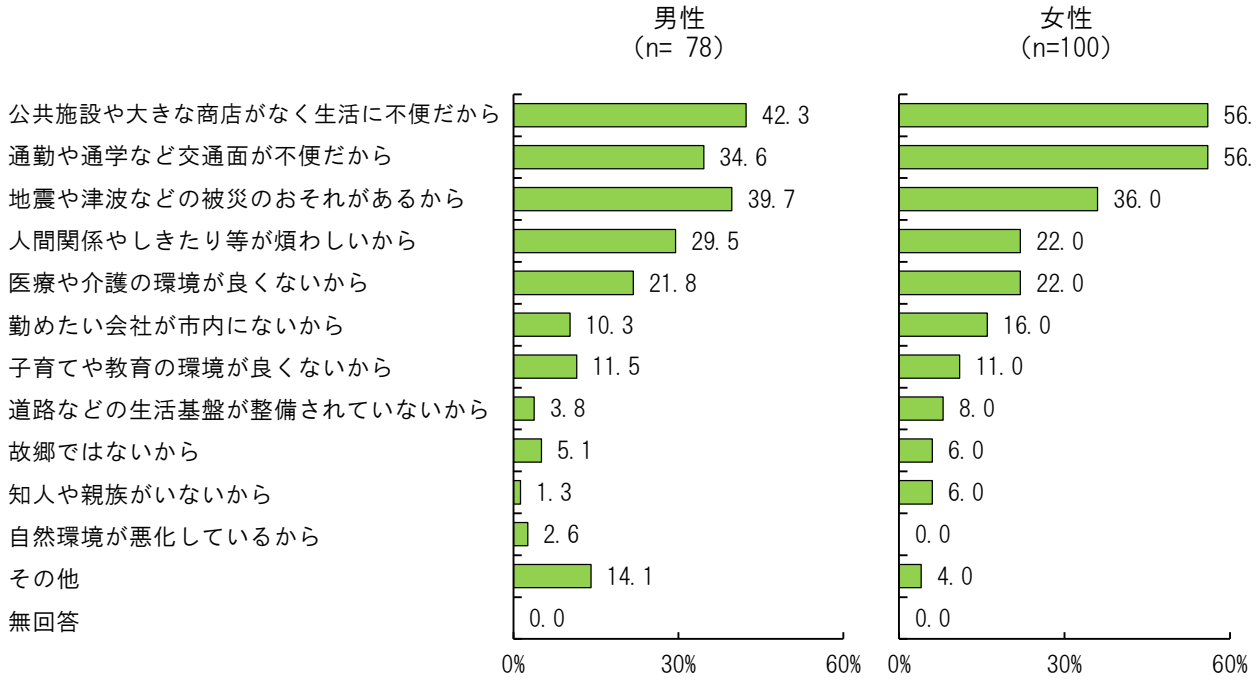
問２　他の場所へ移りたい理由を、次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。



他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が 50.8%と最も多く、次いで「通勤や通学など交通面が不便だから」が 45.5%、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が 38.1%などとなっています。

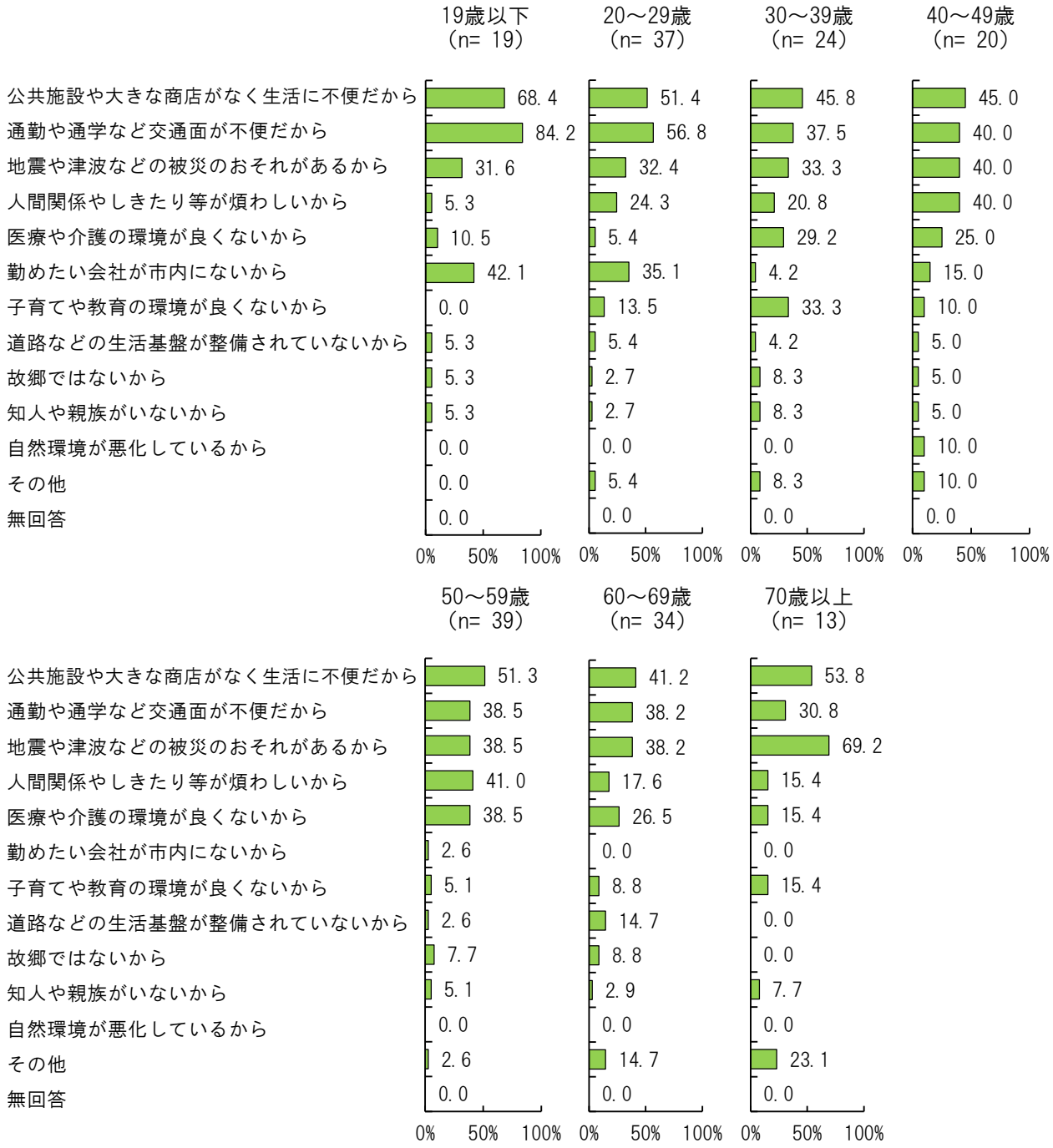
昨年度と比較すると、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が 5.0 ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が 29.5%と女性より多くなっています。女性は「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」「通勤や通学など交通面が不便だから」「勤めたい会社が市内にないから」が男性より多くなっています。

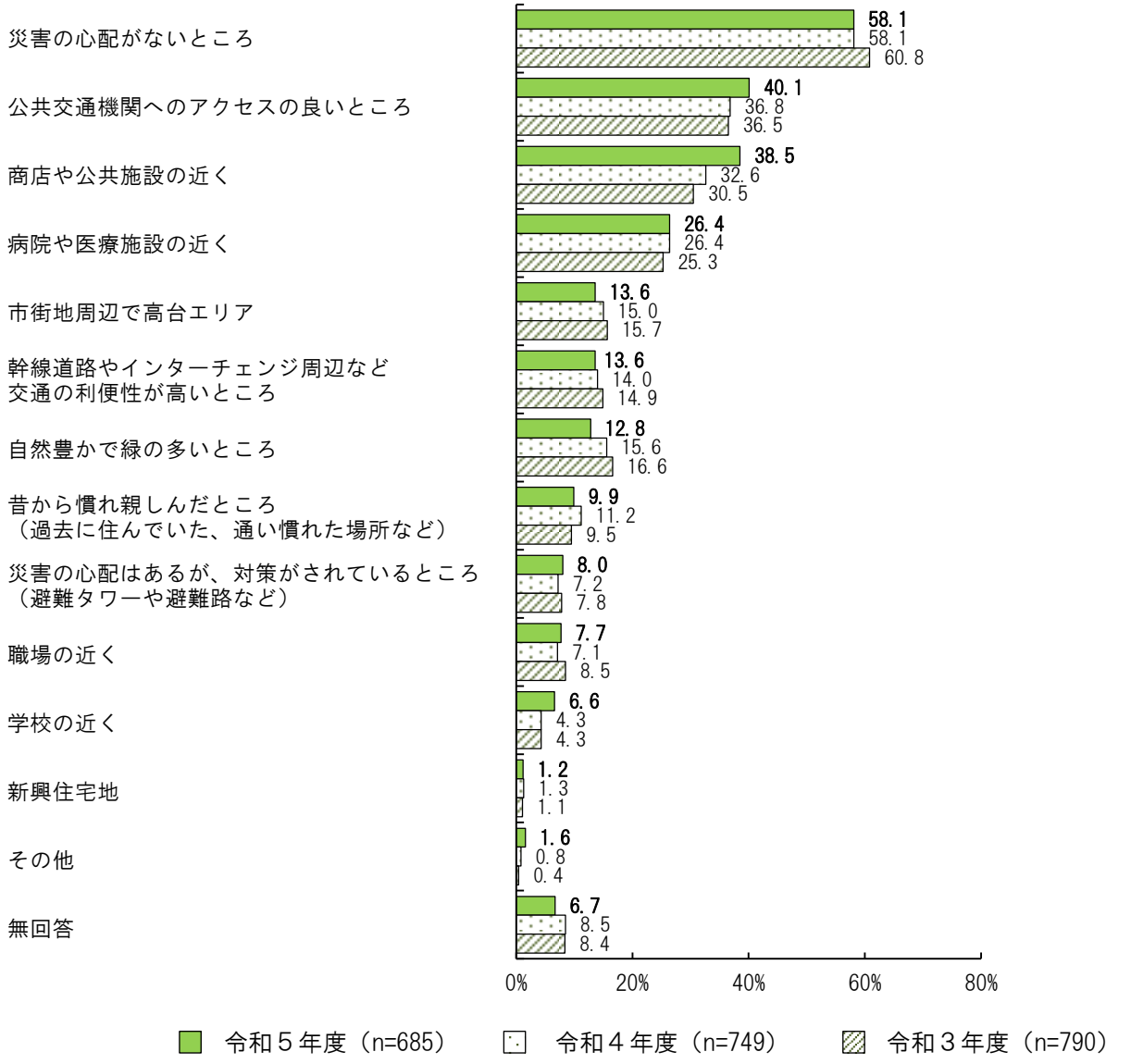
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：20～29 歳は「通勤や通学など交通面が不便だから」「勤めたい会社が市内にないから」が他の年代に比べて多く、「医療や介護の環境が良くないから」が 5.4%と少なくなっています。30～39 歳は「子育てや教育の環境が良くないから」が 33.3%と多くなっています。また、40～49 歳は「自然環境が悪化しているから」が 10.0%と多くなっています。50～59 歳は「医療や介護の環境が良くないから」が 38.5%と多くなっています。さらに、60～69 歳は「道路などの生活基盤が整備されていないから」が 14.7%と多くなっています。

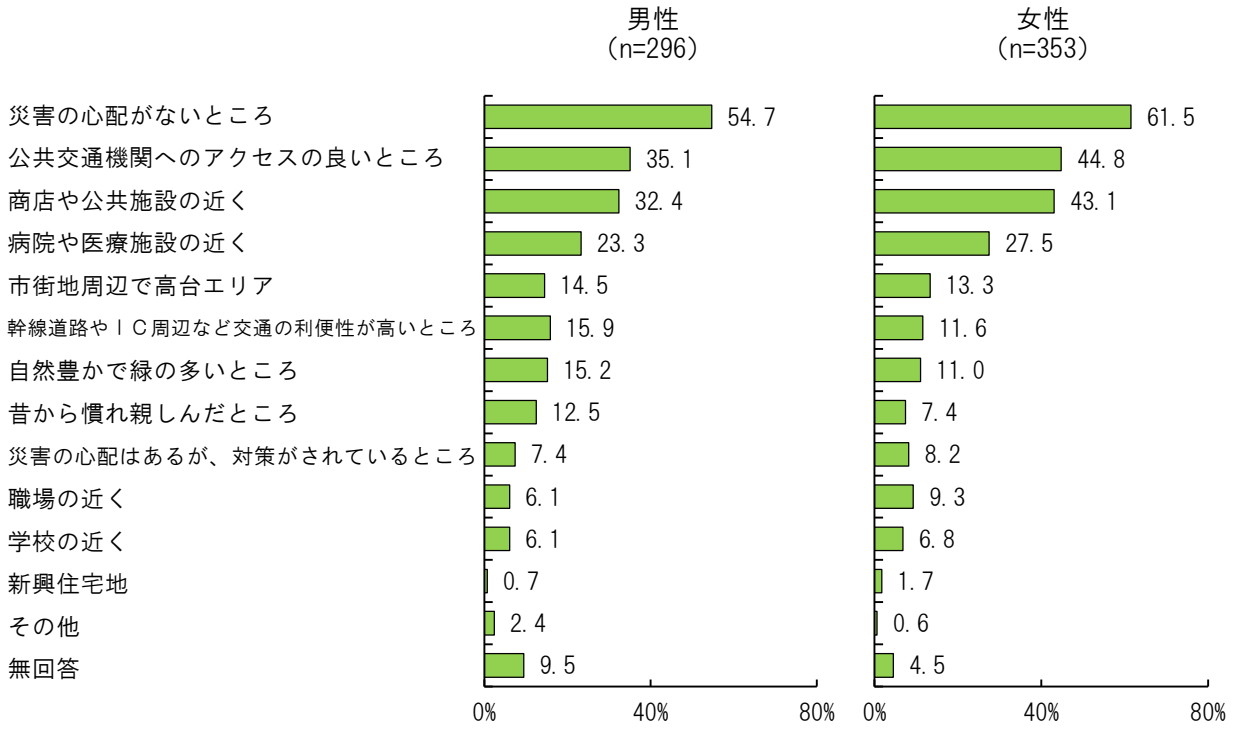
（３）市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか

問３　市内で転居するとしたら、どのような場所を重視しますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。
※問１で「市内の他の場所へ移りたい」と答えなかった方も、市内で転居するという仮定でお答えください。



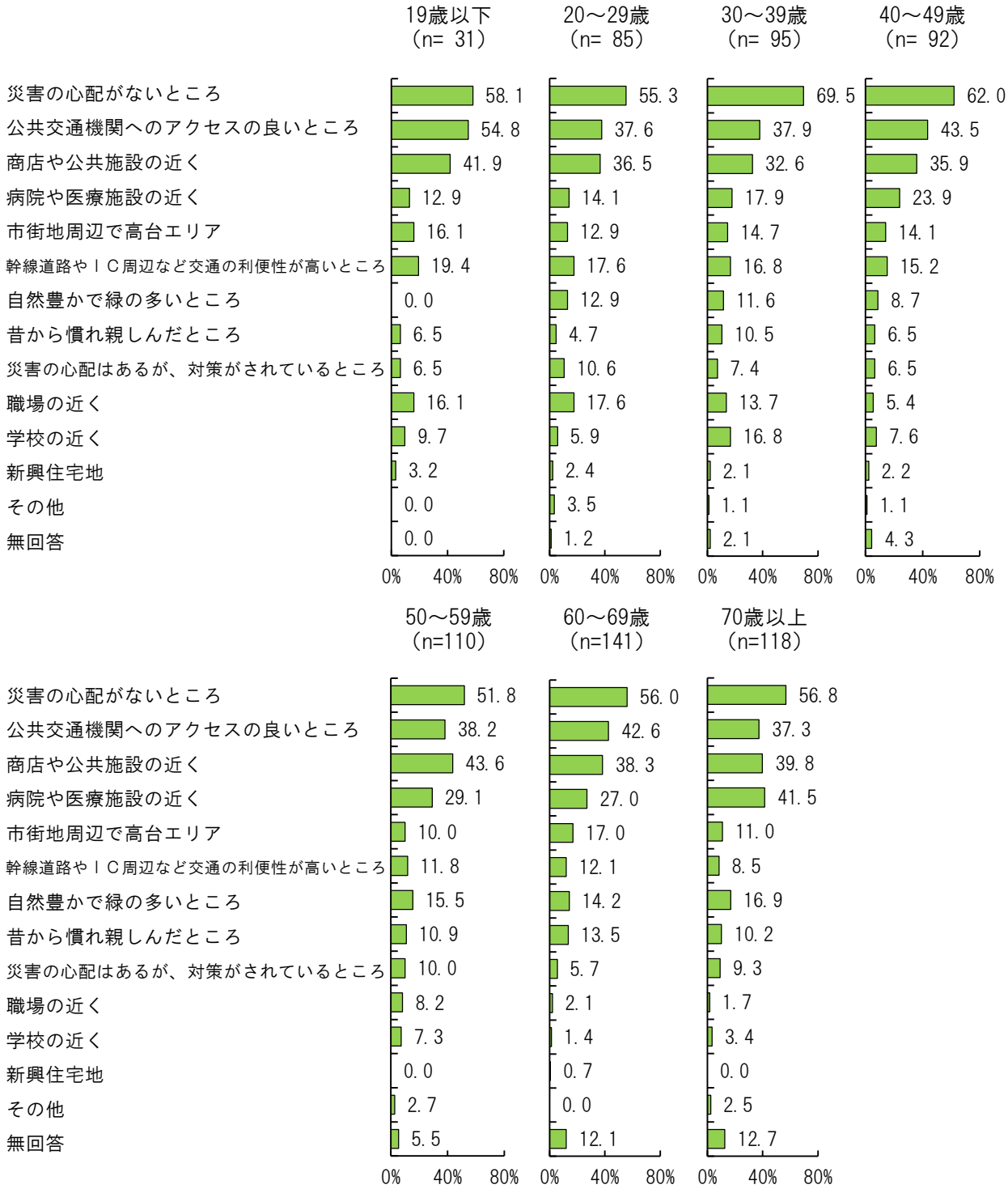
市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するかについては、「災害の心配がないところ」が58.1%と最も多く、次いで「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が 40.1%、「商店や公共施設の近く」が 38.5%などとなっています。
昨年度と比較すると、「商店や公共施設の近く」が 5.9 ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性　別】: 男性は「昔から慣れ親しんだところ（過去に住んでいた、通い慣れた場所など）」が 12.5%と女性より多くなっています。女性は「災害の心配がないところ」「公共交通機関へのアクセスの良いところ」「商店や公共施設の近く」が男性より多くなっています。

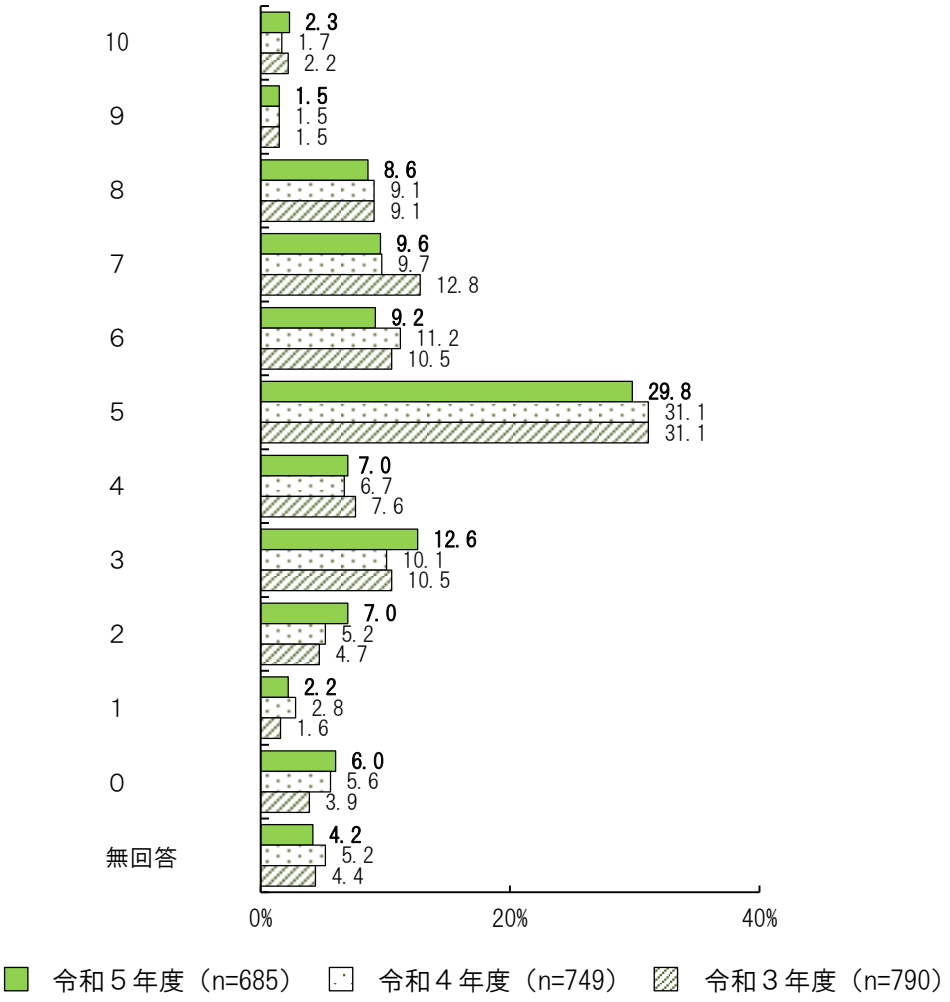
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19 歳以下は「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が 54.8%と他の年代に比べて多く、「自然豊かで緑の多いところ」と回答した人はいませんでした。30～39 歳は「災害の心配がないところ」「学校の近く」が多くなっています。また、70 歳以上は「病院や医療施設の近く」が 41.5%と多くなっています。

（４）牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか

問４　あなたは、牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいありますか？最も強く思う場合を 10、まったく思わない場合を０として、あてはまるものに１つ○印をつけてください。

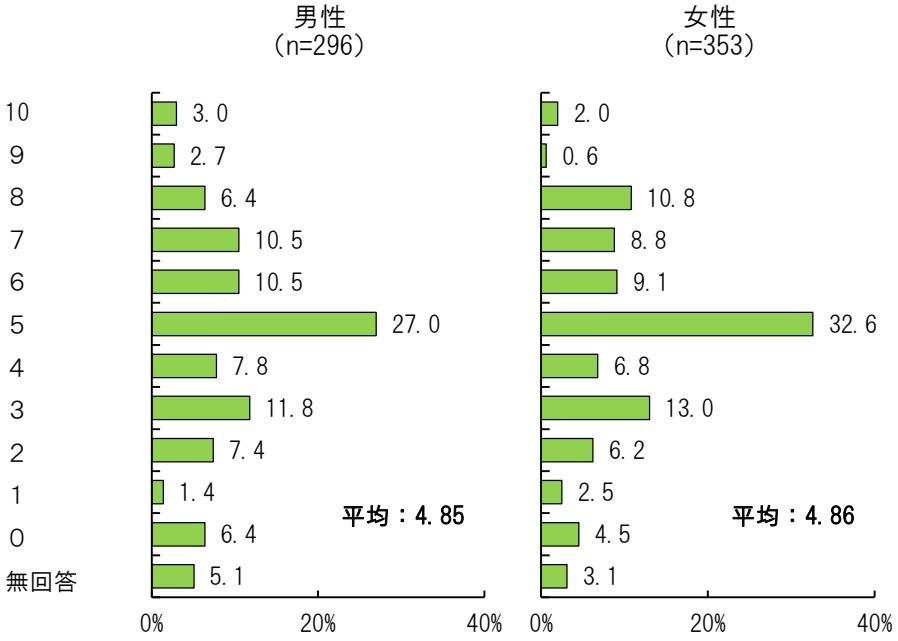


	令和５年度	令和４年度	令和３年度
平　均	4.79	4.90	5.12

牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるかについては、「５」が 29.8%と最も多く、次いで「３」が 12.6%、「７」が 9.6%などとなっています。平均値は 4.79 となっています。

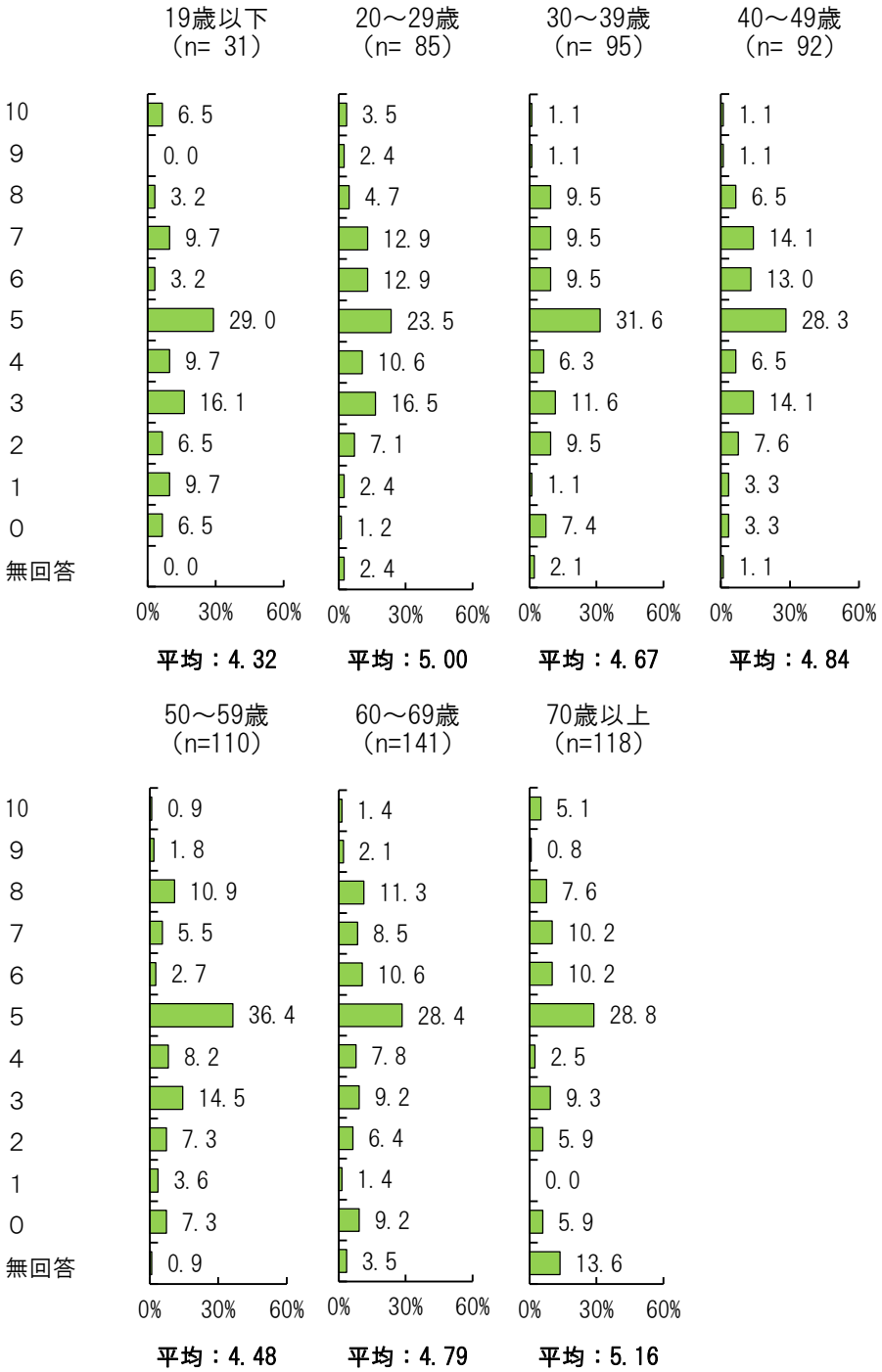
昨年度と比較すると、大きな変化はみられませんが、平均値が年々下がっています。

クロス集計（性別）



【性　別】：女性は「３」が 32.6%と男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

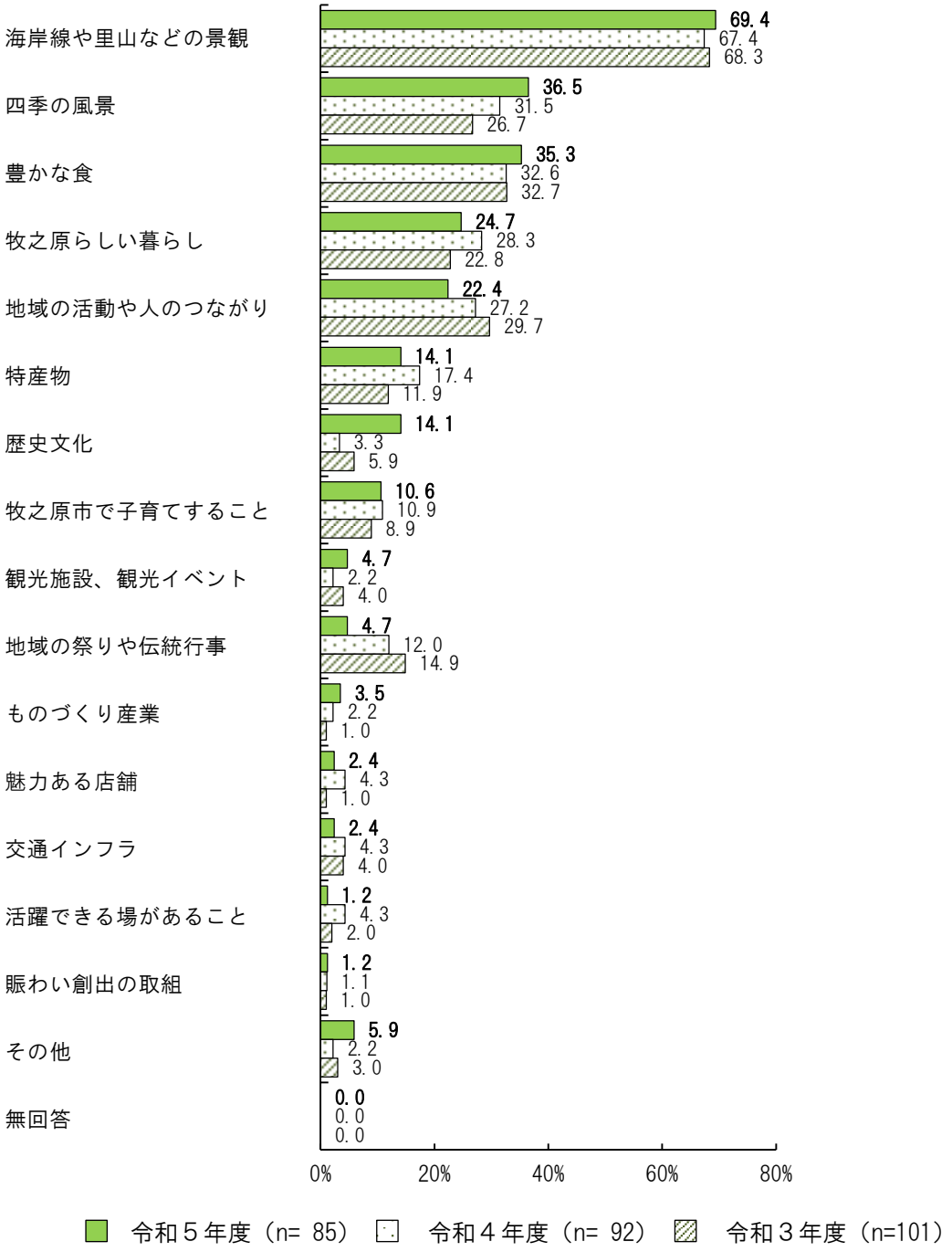


【年齢別】：19 歳以下は「１」が 9.7%と他の年代に比べて多くなっています。平均値は、70 歳以上の 5.16 が最も高く、19 歳以下の 4.32 が最も低くなっています。

（５）牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由

問４で「10」「９」「８」と答えた方のみ

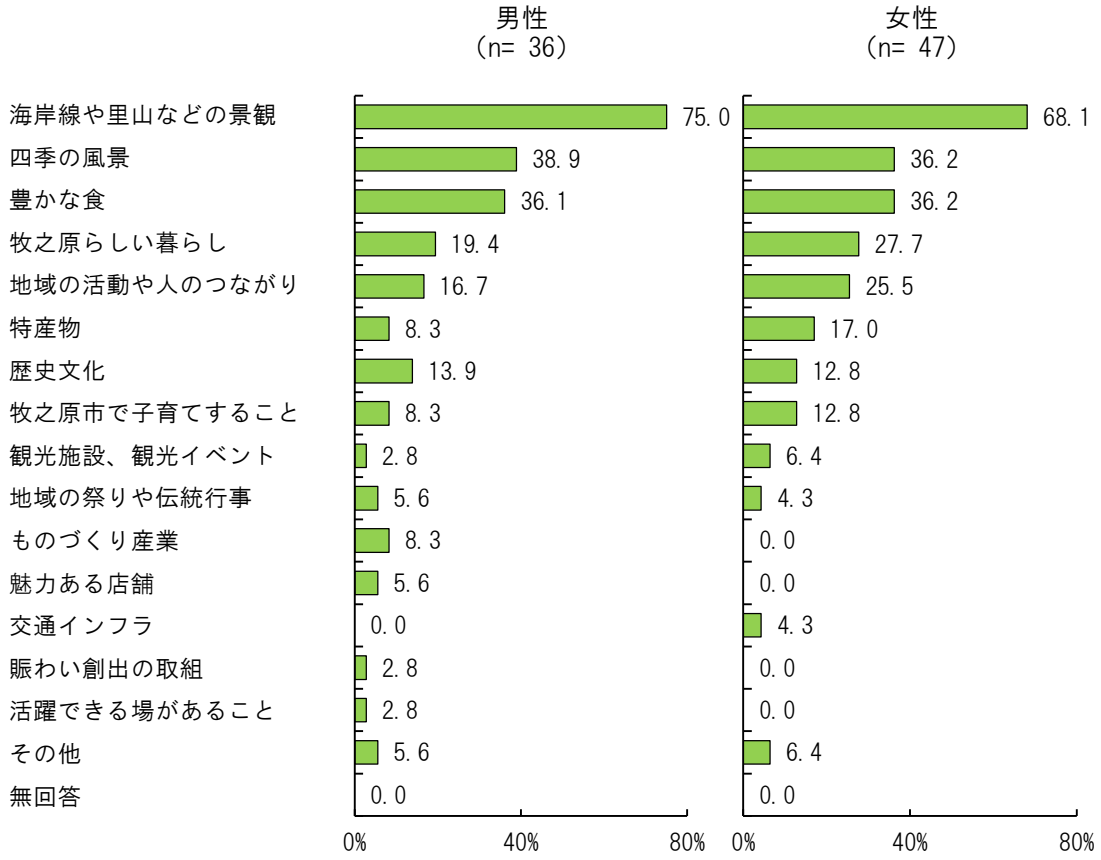
問５　牧之原市をおすすめしたい理由を、次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。



牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由は、「海岸線や里山などの景観」が 69.4%と最も多く、次いで「四季の風景」が 36.5%、「豊かな食」が 35.3%などとなっています。

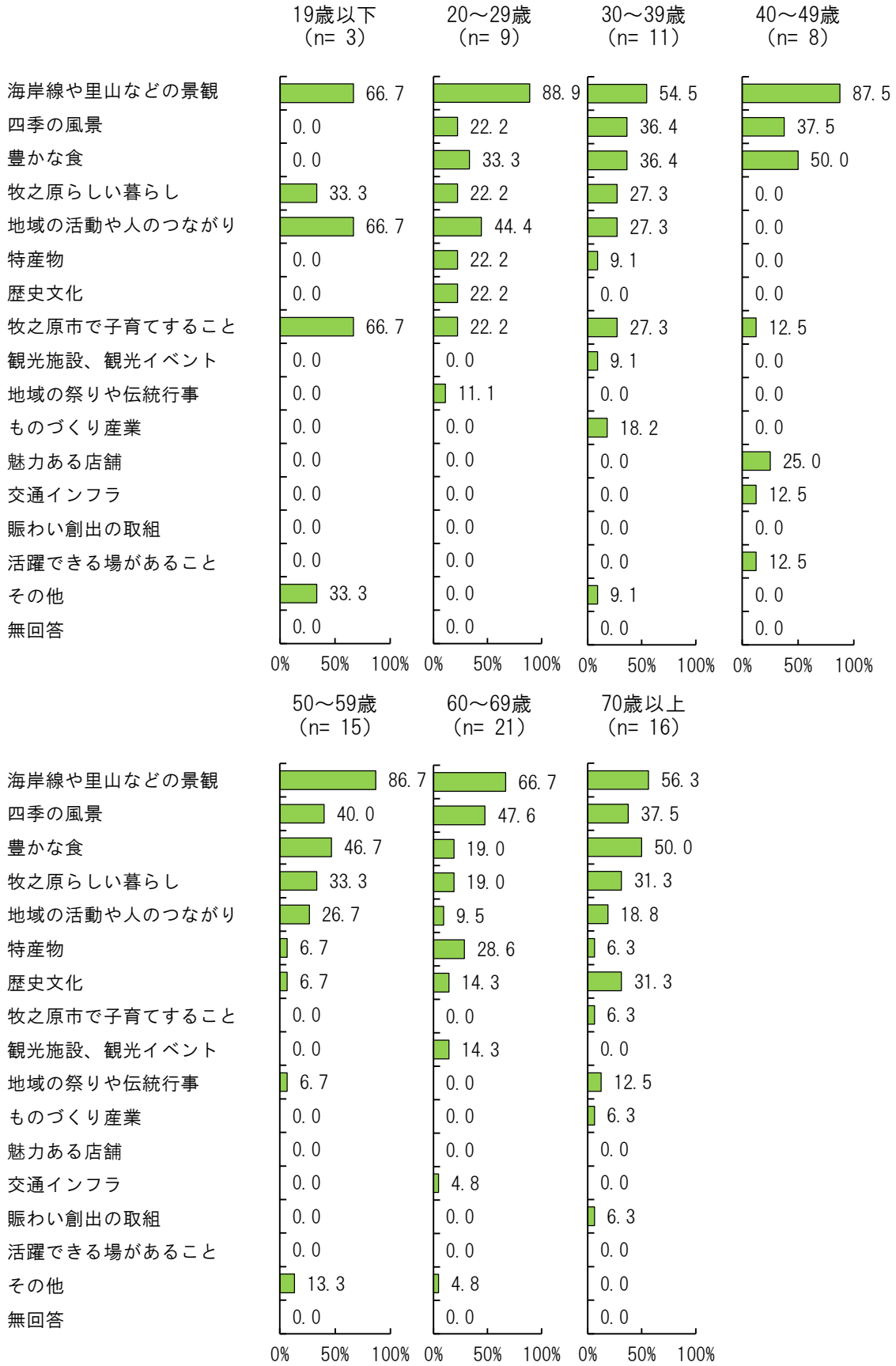
昨年度と比較すると、「四季の風景」「歴史文化」が 5.0 ポイント以上増加し、「地域の祭りや伝統行事」が 7.3 ポイント減少しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「海岸線や里山などの景観」「ものづくり産業」「魅力ある店舗」が女性より多くなっています。女性は「牧之原らしい暮らし」「地域の活動や人のつながり」「特産物」が男性より多くなっています。
【年齢別】：回答者数が少なく比較できないため、割愛します。

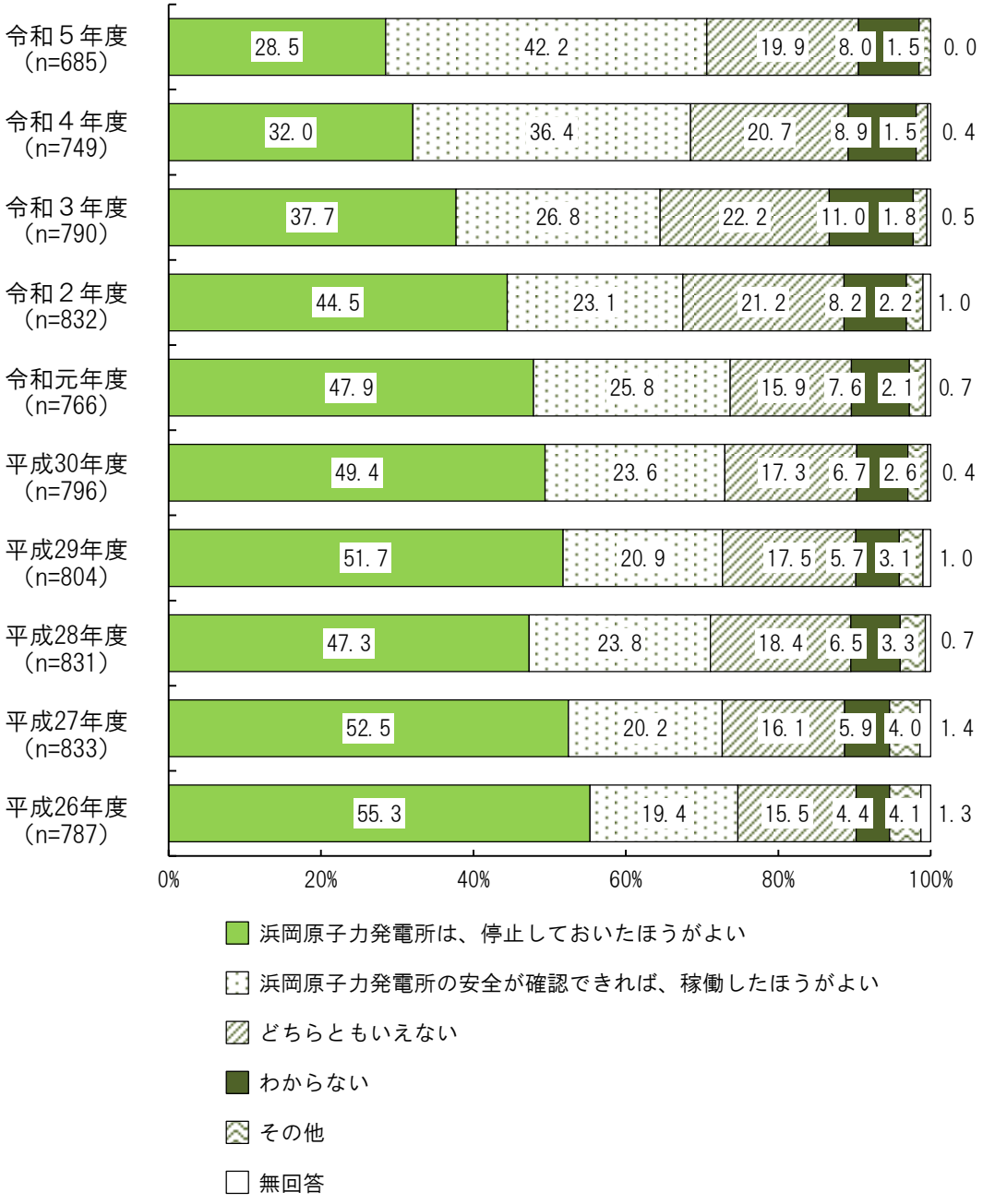
クロス集計（年齢別）


19歳以下（n= 3）
20～29歳（n= 9）
30～39歳（n= 11）
40～49歳（n= 8）
海岸線や里山などの景観 66.7 88.9 54.5 87.5
四季の風景 0.0 22.2 36.4 37.5
豊かな食 0.0 33.3 36.4 50.0
牧之原らしい暮らし 33.3 22.2 27.3 0.0
地域の活動や人のつながり 66.7 44.4 27.3 0.0
特産物 0.0 22.2 9.1 0.0
歴史文化 0.0 22.2 0.0 0.0
牧之原市で子育てすること 66.7 22.2 27.3 12.5
観光施設、観光イベント 0.0 0.0 9.1 0.0
地域の祭りや伝統行事 0.0 11.1 0.0 0.0
ものづくり産業 0.0 0.0 18.2 0.0
魅力ある店舗 0.0 0.0 0.0 25.0
交通インフラ 0.0 0.0 0.0 12.5
賑わい創出の取組 0.0 0.0 0.0 0.0
活躍できる場があること 0.0 0.0 0.0 12.5
その他 33.3 0.0 9.1 0.0
無回答 0.0 0.0 0.0 0.0
0% 50% 100%
50～59歳（n= 15）
60～69歳（n= 21）
70歳以上（n= 16）
海岸線や里山などの景観 86.7 66.7 56.3
四季の風景 40.0 47.6 37.5
豊かな食 46.7 19.0 50.0
牧之原らしい暮らし 33.3 19.0 31.3
地域の活動や人のつながり 26.7 9.5 18.8
特産物 6.7 28.6 6.3
歴史文化 6.7 14.3 31.3
牧之原市で子育てすること 0.0 0.0 6.3
観光施設、観光イベント 0.0 14.3 0.0
地域の祭りや伝統行事 6.7 0.0 12.5
ものづくり産業 0.0 0.0 6.3
魅力ある店舗 0.0 0.0 0.0
交通インフラ 0.0 4.8 0.0
賑わい創出の取組 0.0 0.0 6.3
活躍できる場があること 0.0 0.0 0.0
その他 13.3 4.8 0.0
無回答 0.0 0.0 0.0
0% 50% 100%

②原子力発電について

（６）浜岡原子力発電所の今後についての考え

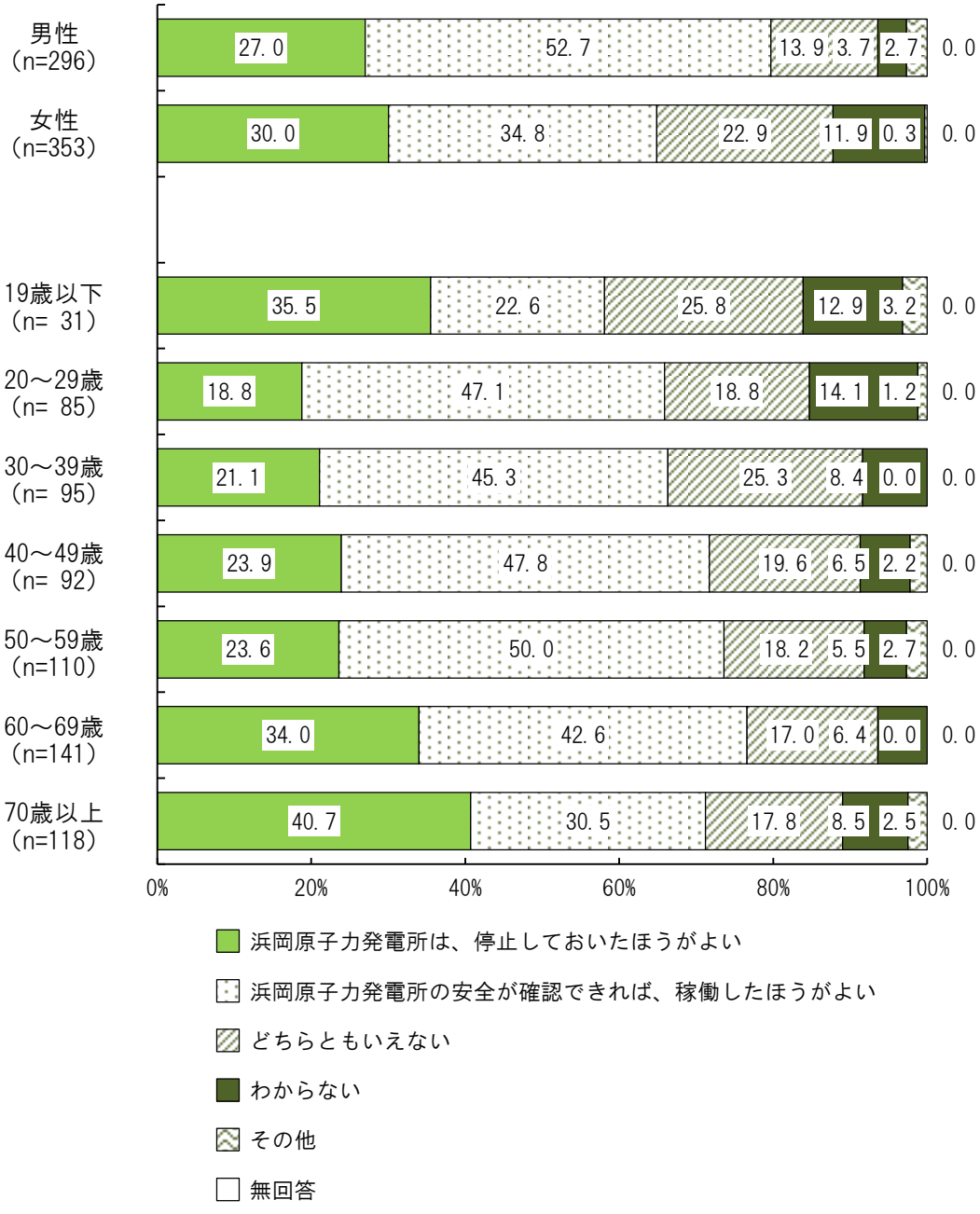
問６　あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。



浜岡原子力発電所の今後についての考えは、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 42.2%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が 28.5%、「どちらともいえない」が 19.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 5.8 ポイント増加しています。

クロス集計（性別・年齢別）

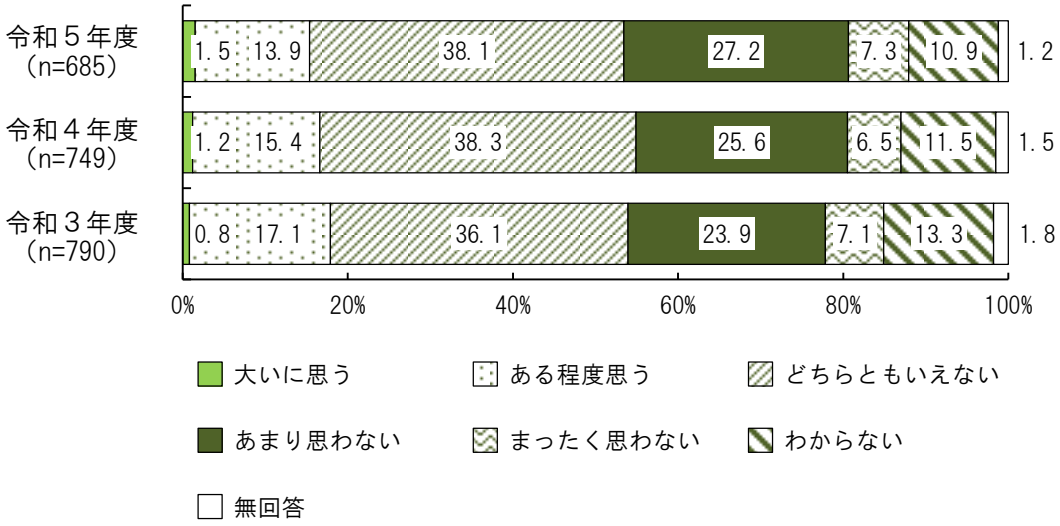


【性　別】：男性は「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 52.7%と女性より多くなっています。女性は「どちらともいえない」「わからない」が男性より多くなっています。
【年齢別】：19 歳以下は「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 22.6%と他の年代に比べて少なくなっています。70 歳以上は「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が 40.7%と多くなっています。

③女性にやさしいまちについて

（７）牧之原市は女性が暮らしやすいまちか

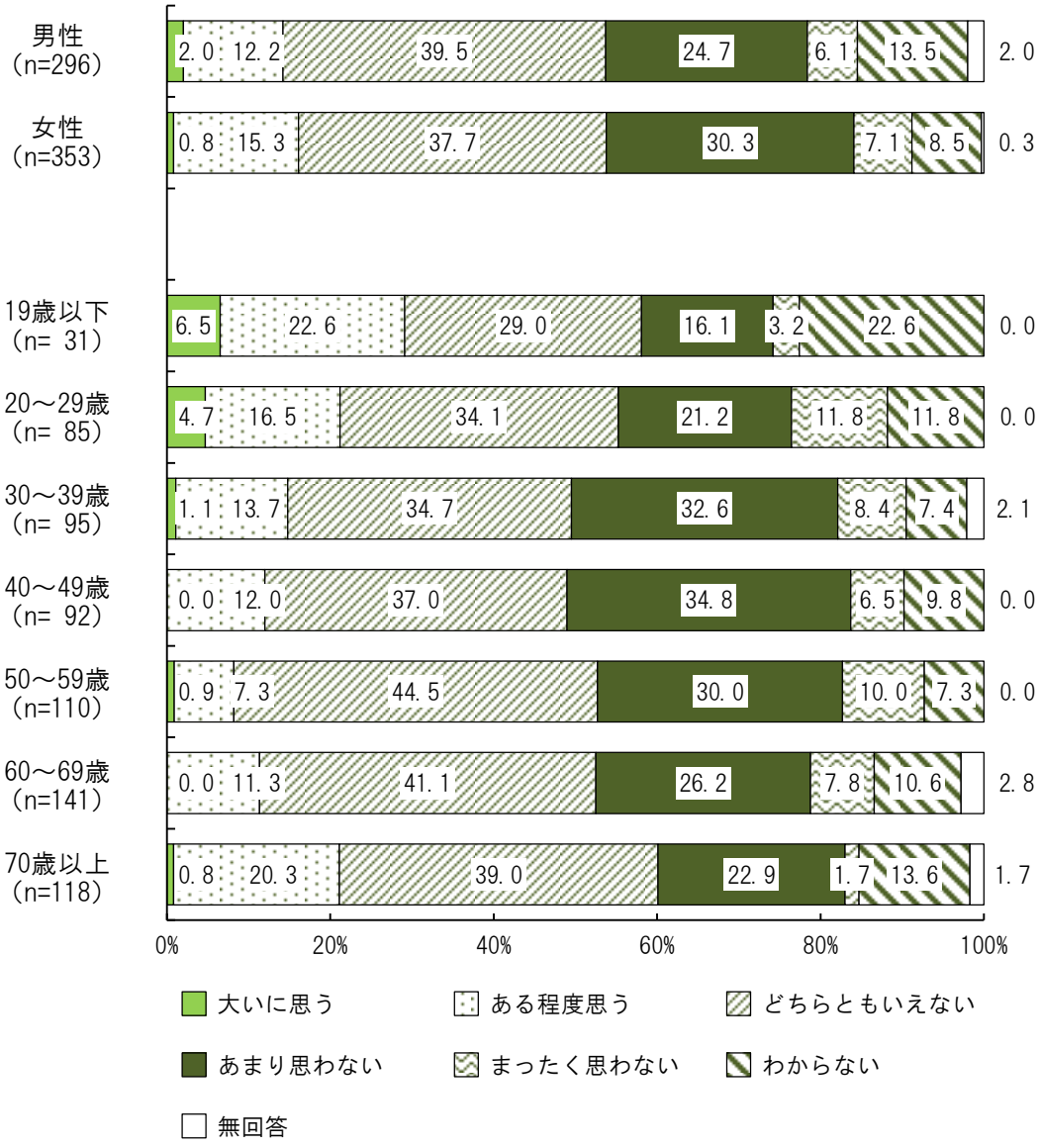
問７　あなたは、牧之原市は女性が暮らしやすいまちだと思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。



牧之原市は女性が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が 38.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」が 27.2%、「ある程度思う」が 13.9%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 15.3%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 34.5%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

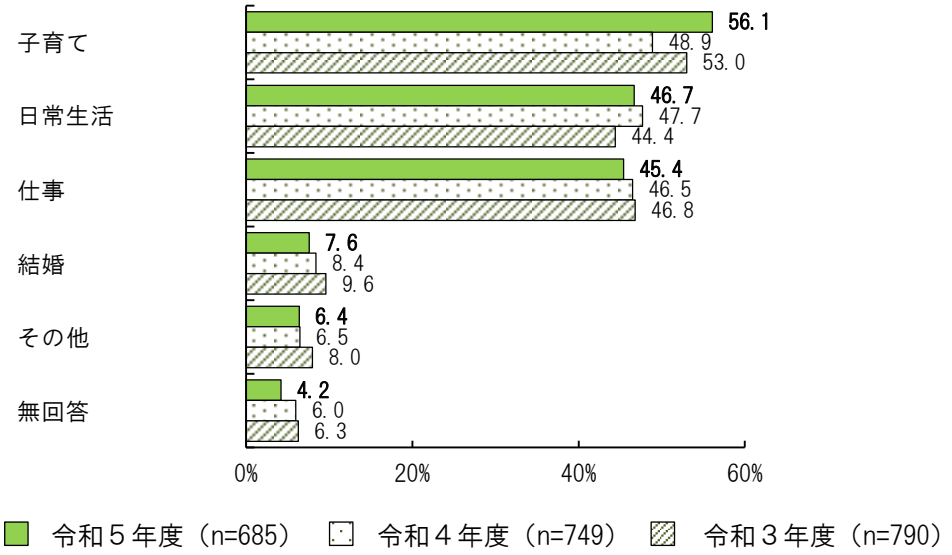
クロス集計（性別・年齢別）



【性　別】：男性は「わからない」が 13.5%と女性より多くなっています。女性は「あまり思わない」が 30.3%と男性より多くなっています。また、『思わない』は女性が 37.4%と男性より多くなっています。
【年齢別】：19 歳以下は「わからない」が 22.6%と他の年代に比べて多く、「どちらともいえない」「あまり思わない」が少なくなっています。また、『思う』は 19 歳以下が 29.0%と多くなっています。

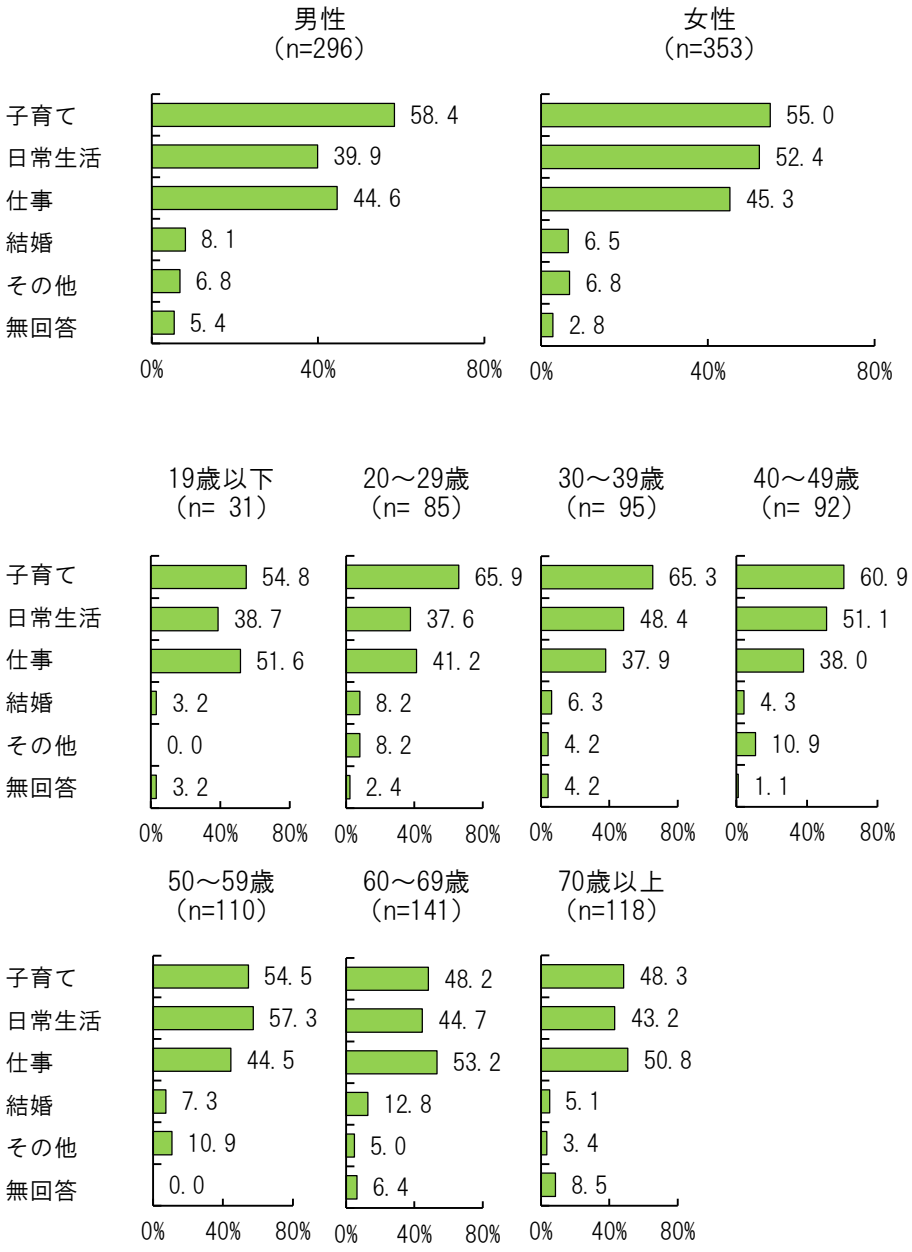
（８）女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

問８　あなたは、女性にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？次の中から２つ以内で選んで○印をつけてください。



女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「子育て」が 56.1%と最も多く、次いで「日常生活」が 46.7%、「仕事」が 45.4%などとなっています。
昨年度と比較すると、「子育て」が 7.2 ポイント増加しています。

クロス集計（性別・年齢別）

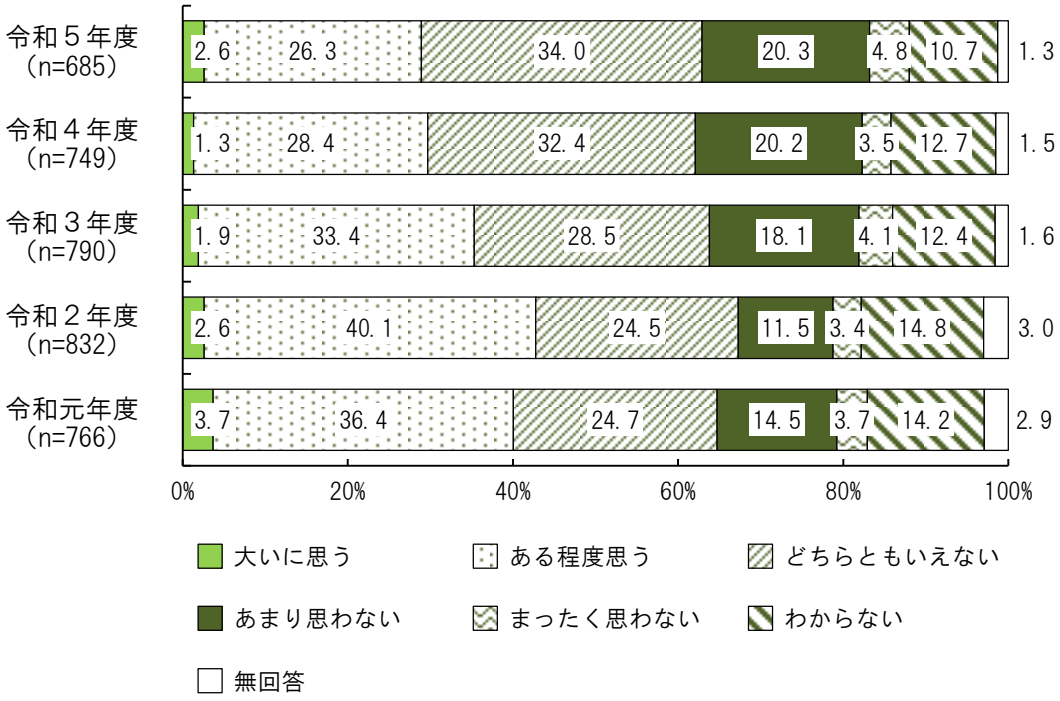


【性　別】：女性は「日常生活」が 52.4%と男性より多くなっています。
【年齢別】：50～59 歳は「日常生活」が 57.3%と他の年代に比べて多くなっています。

④子育て・教育環境について

（９）牧之原市は子どもを育てやすい環境か

問９　あなたは、牧之原市が子どもを育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。

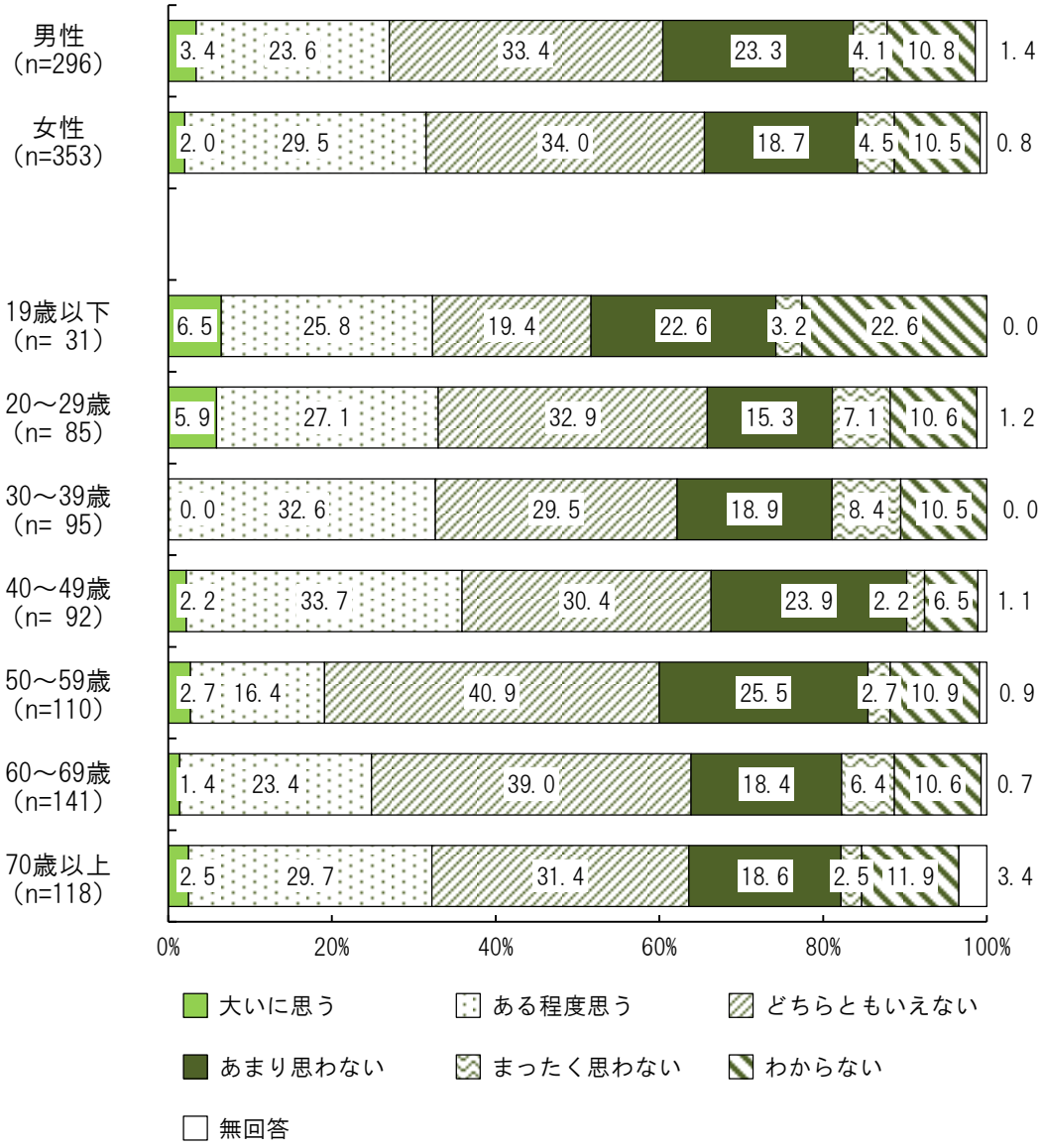


※令和３年度以前は「あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？」という設問文でした。

牧之原市は子どもを育てやすい環境かについては、「どちらともいえない」が 34.0%と最も多く、次いで「ある程度思う」が 26.3%、「あまり思わない」が 20.3%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 28.9%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 25.1%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

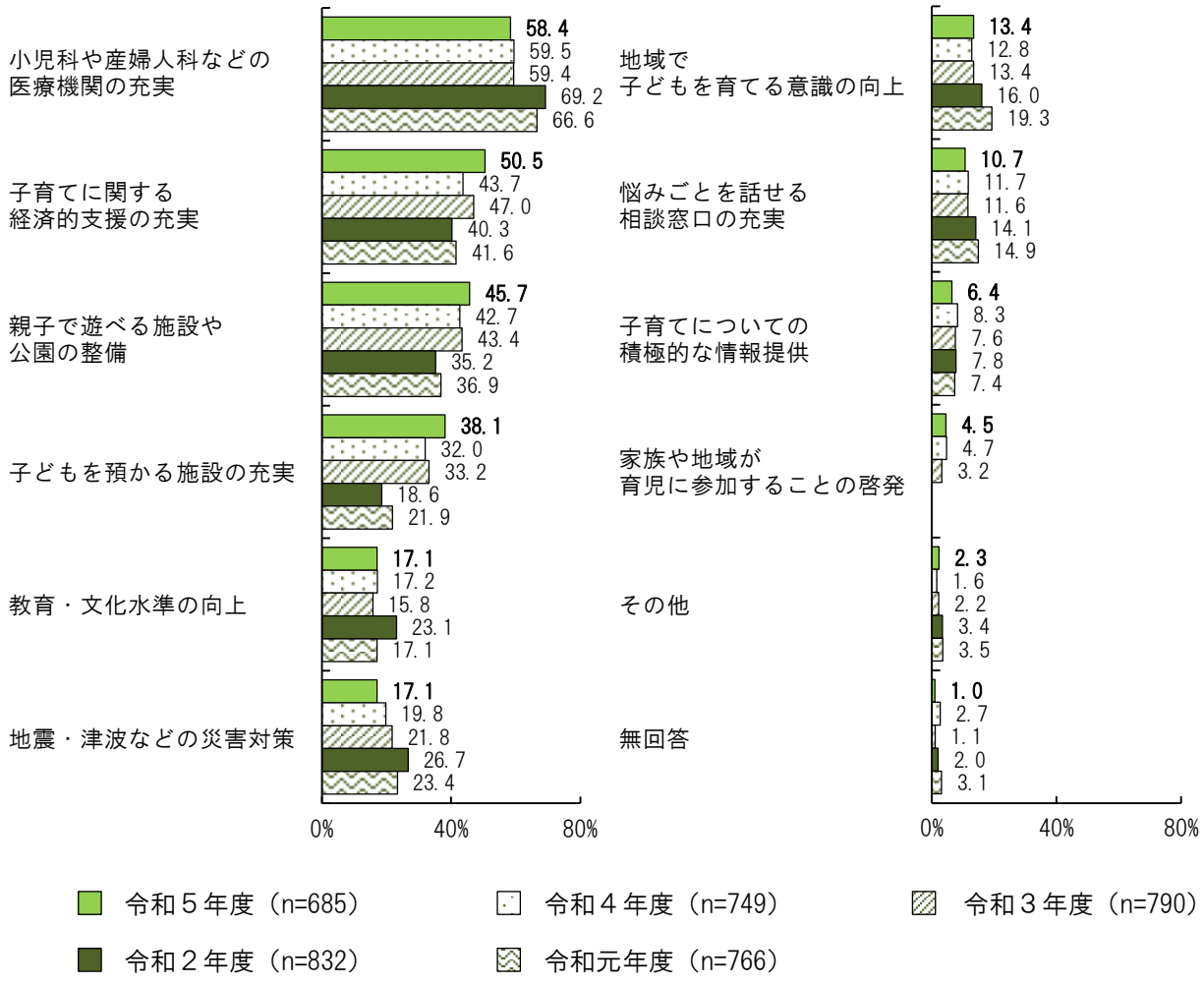
クロス集計（性別・年齢別）



【性　別】：女性は「ある程度思う」が 29.5%と男性より多くなっています。
【年齢別】：19 歳以下は「わからない」が 22.6%と他の年代に比べて多く、「どちらともいえない」が 19.4%と少なくなっています。50～59 歳は「ある程度思う」が 16.4%と少なくなっています。また、『思う』は 50～59 歳が 19.1%と少なくなっています。

(10) 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組

問10　あなたは、子どもを育てやすい環境にするため、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

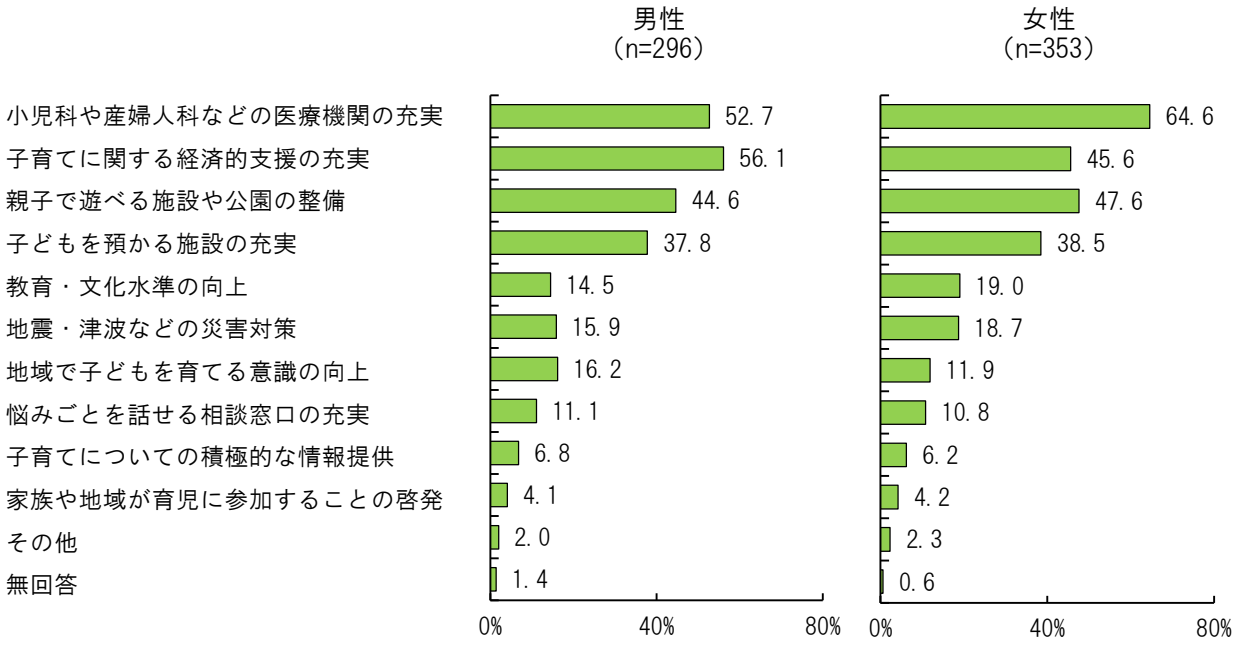


※「家族や地域が育児に参加することの啓発」は令和３年度に追加された選択肢です。

子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が 58.4%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が 50.5%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が 45.7%などとなっています。

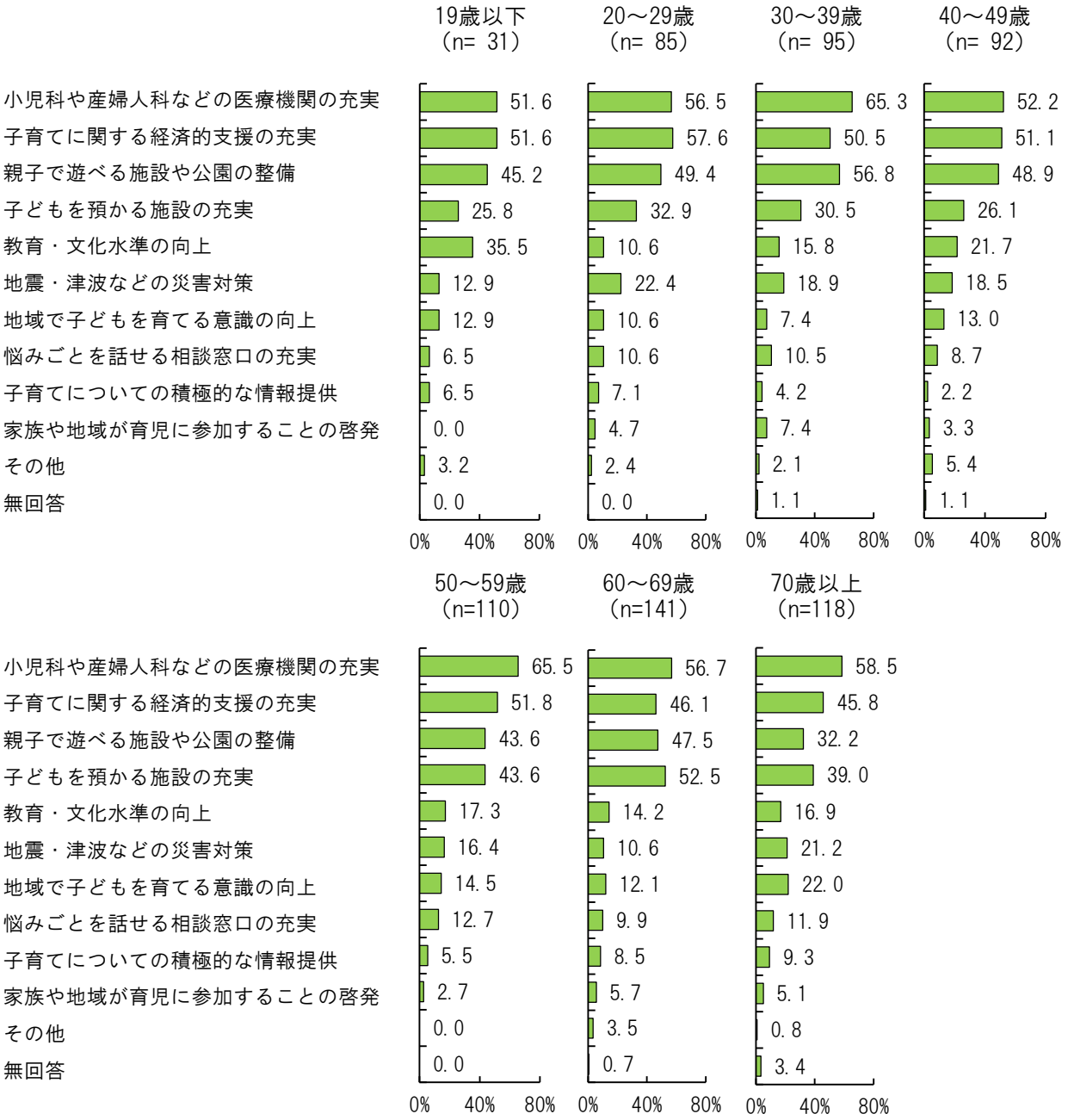
昨年度と比較すると、「子育てに関する経済的支援の充実」「子どもを預かる施設の充実」が 6.0 ポイント以上増加しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「子育てに関する経済的支援の充実」が 56.1%と女性より多くなっています。女性は「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が 64.6%と男性より多くなっています。

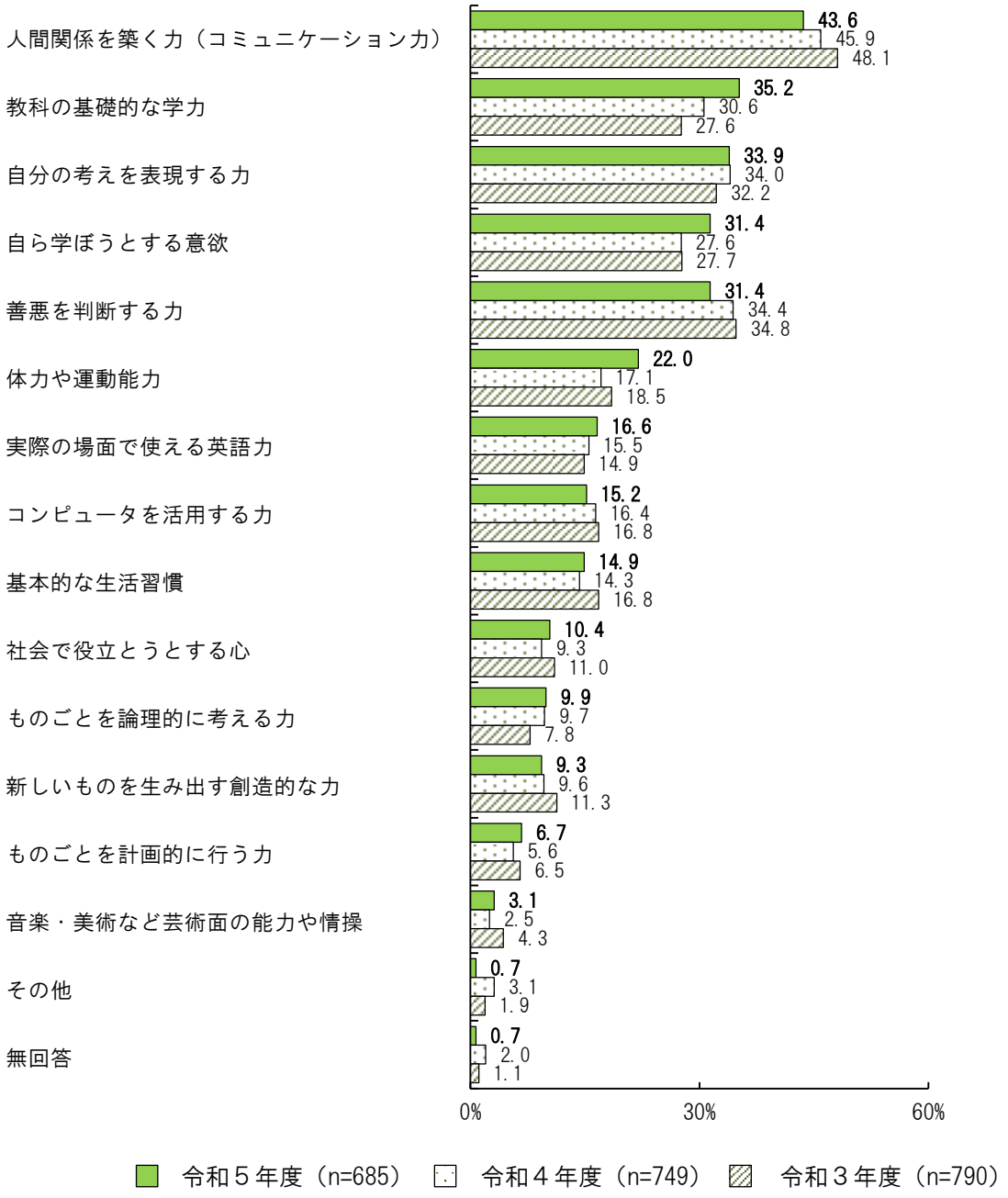
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19 歳以下は「教育・文化水準の向上」が 35.5%と他の年代に比べて多くなっています。20～29 歳は「子育てに関する経済的支援の充実」が 57.6%と多くなっています。また、30～39 歳は「親子で遊べる施設や公園の整備」が 56.8%と多くなっています。60～69 歳は「子どもを預かる施設の充実」が 52.5%と多くなっています。さらに、70 歳以上は「地域で子どもを育てる意識の向上」が 22.0%と多く、「親子で遊べる施設や公園の整備」が 32.2%と少なくなっています。

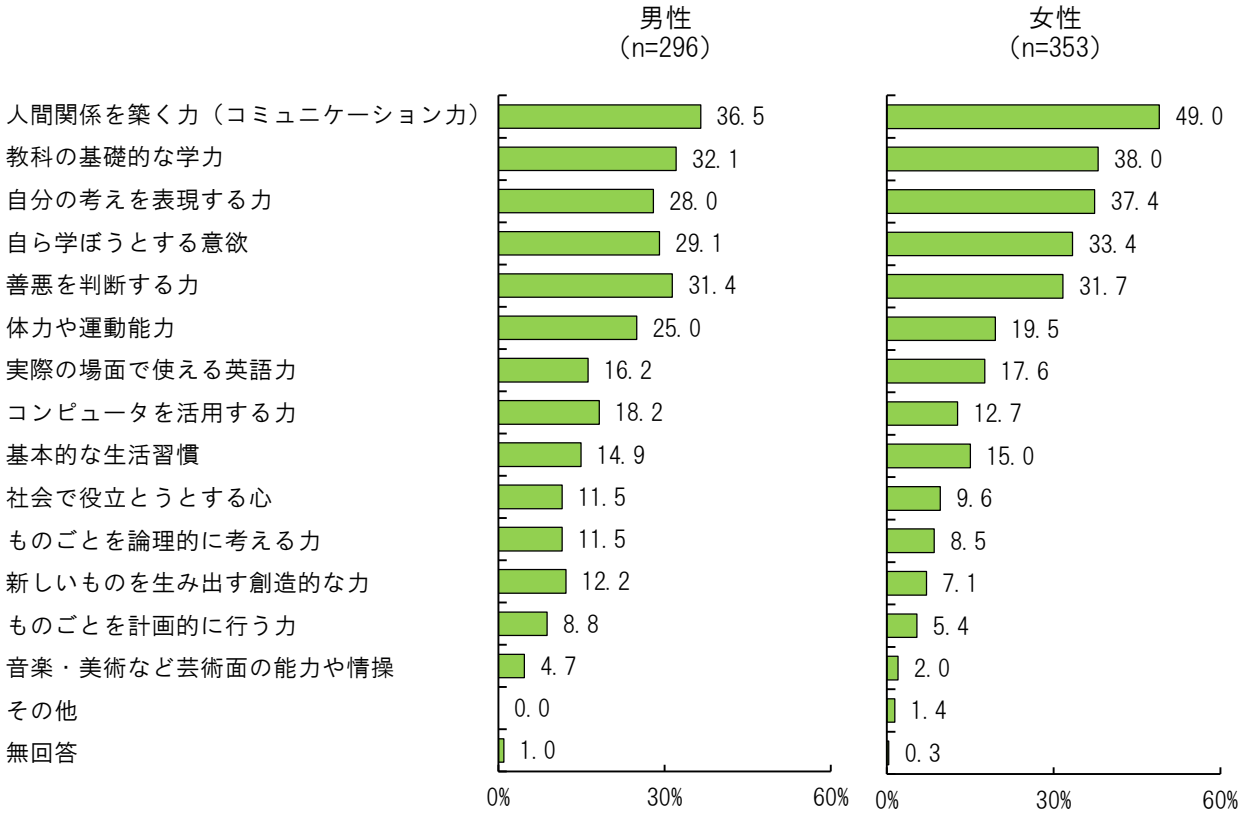
(11) 学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力

問11　あなたは、学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。



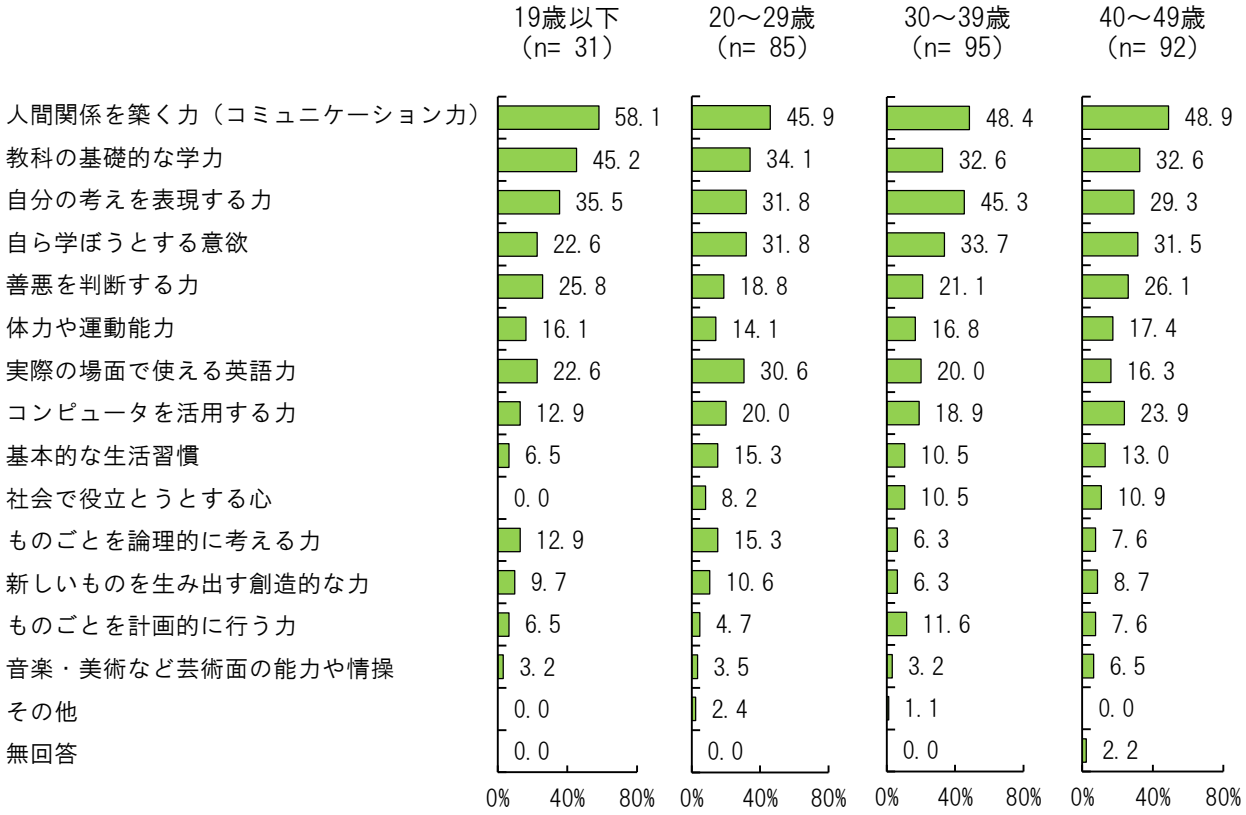
学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が 43.6%と最も多く、次いで「教科の基礎的な学力」が 35.2%、「自分の考えを表現する力」が 33.9%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

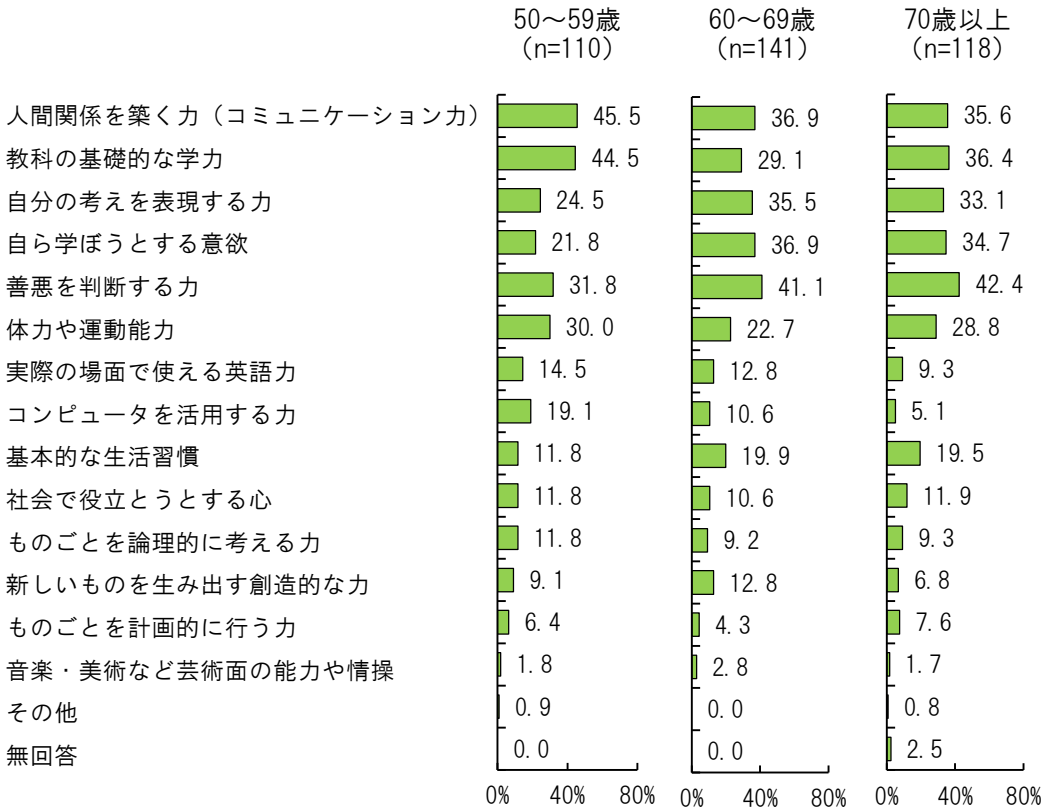
クロス集計（性別）



【性　別】: 男性は「体力や運動能力」「コンピュータを活用する力」「新しいものを生み出す創造的な力」が女性より多くなっています。女性は「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」「教科の基礎的な学力」「自分の考えを表現する力」が男性より多くなっています。
【年齢別】: 19 歳以下は「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が 58.1％と他の年代に比べて多く、「社会で役立とうとする心」と回答した人はいませんでした。20～29 歳は「実際の場面で使える英語力」が 30.6％と多くなっています。また、30～39 歳は「自分の考えを表現する力」が 45.3％と多くなっています。さらに、70 歳以上は「コンピュータを活用する力」が 5.1％と少なくなっています。

クロス集計（年齢別）

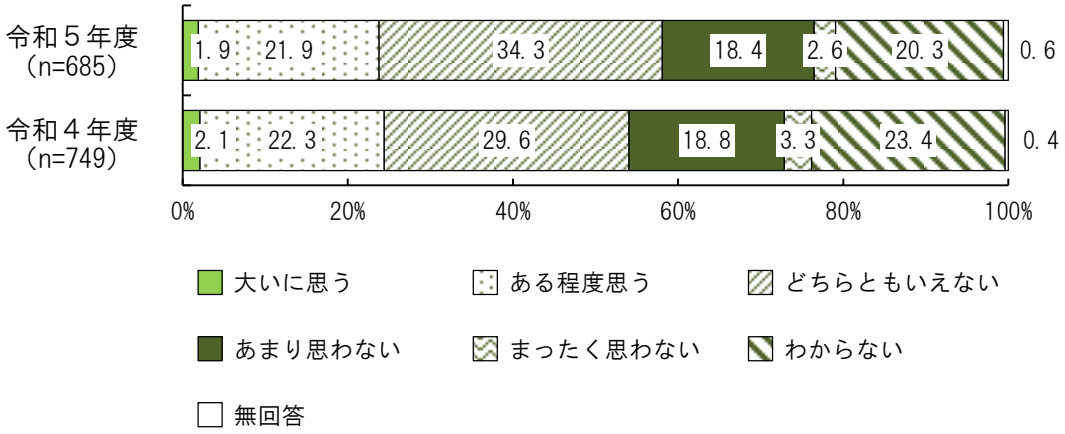

19歳以下（n= 31）
20～29歳（n= 85）
30～39歳（n= 95）
40～49歳（n= 92）
人間関係を築く力（コミュニケーション力） 58.1 45.9 48.4 48.9
教科の基礎的な学力 45.2 34.1 32.6 32.6
自分の考えを表現する力 35.5 31.8 45.3 29.3
自ら学ぼうとする意欲 22.6 31.8 33.7 31.5
善悪を判断する力 25.8 18.8 21.1 26.1
体力や運動能力 16.1 14.1 16.8 17.4
実際の場面で使える英語力 22.6 30.6 20.0 16.3
コンピュータを活用する力 12.9 20.0 18.9 23.9
基本的な生活習慣 6.5 15.3 10.5 13.0
社会で役立とうとする心 0.0 8.2 10.5 10.9
ものごとを論理的に考える力 12.9 15.3 6.3 7.6
新しいものを生み出す創造的な力 9.7 10.6 6.3 8.7
ものごとを計画的に行う力 6.5 4.7 11.6 7.6
音楽・美術など芸術面の能力や情操 3.2 3.5 3.2 6.5
その他 0.0 2.4 1.1 0.0
無回答 0.0 0.0 0.0 2.2
0% 40% 80%


50～59歳（n=110）
60～69歳（n=141）
70歳以上（n=118）
人間関係を築く力（コミュニケーション力） 45.5 36.9 35.6
教科の基礎的な学力 44.5 29.1 36.4
自分の考えを表現する力 24.5 35.5 33.1
自ら学ぼうとする意欲 21.8 36.9 34.7
善悪を判断する力 31.8 41.1 42.4
体力や運動能力 30.0 22.7 28.8
実際の場面で使える英語力 14.5 12.8 9.3
コンピュータを活用する力 19.1 10.6 5.1
基本的な生活習慣 11.8 19.9 19.5
社会で役立とうとする心 11.8 10.6 11.9
ものごとを論理的に考える力 11.8 9.2 9.3
新しいものを生み出す創造的な力 9.1 12.8 6.8
ものごとを計画的に行う力 6.4 4.3 7.6
音楽・美術など芸術面の能力や情操 1.8 2.8 1.7
その他 0.9 0.0 0.8
無回答 0.0 0.0 2.5
0% 40% 80%

⑤多文化共生について

（12）牧之原市は外国籍住民が暮らしやすいまちか

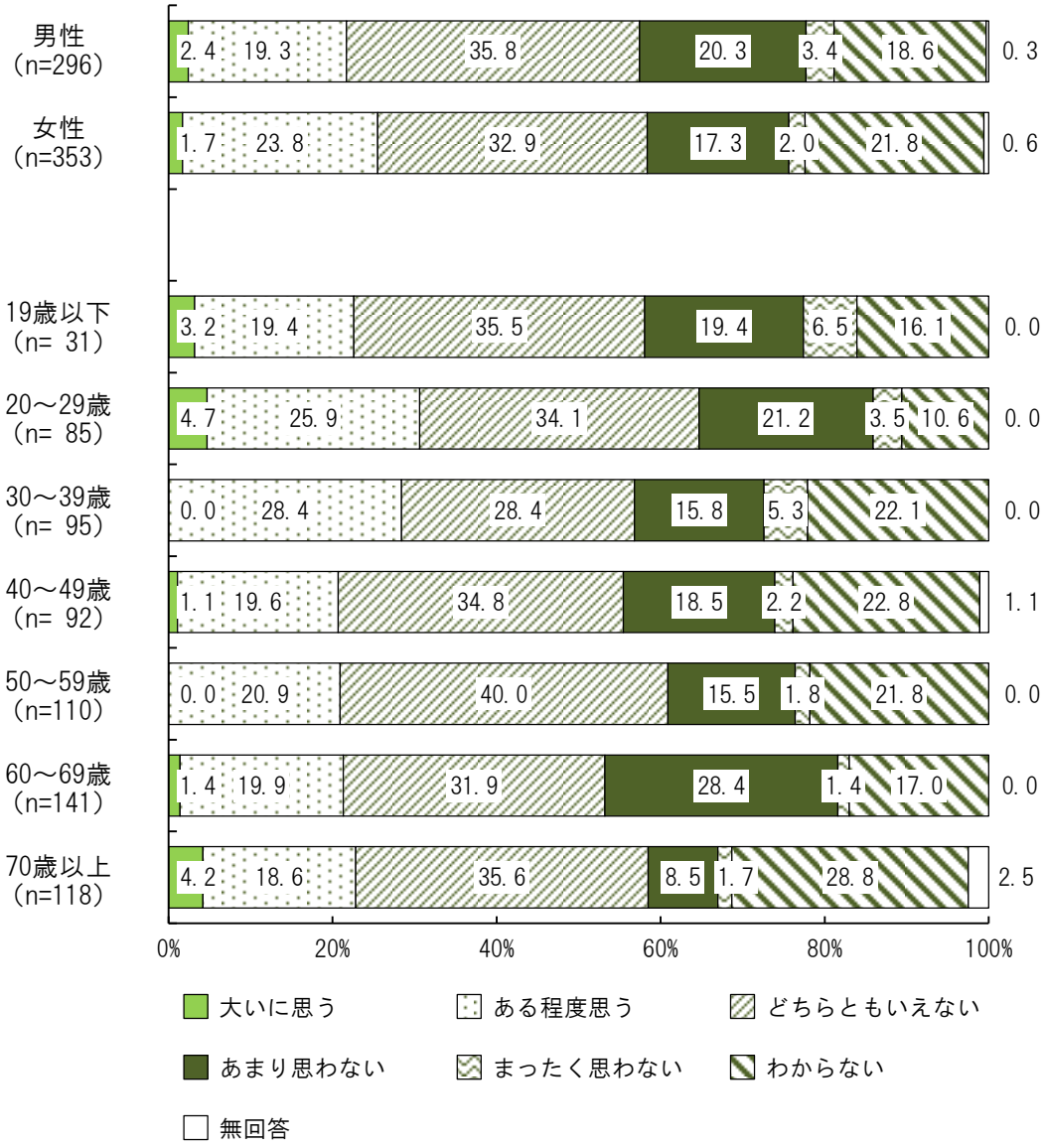
問12　あなたは、牧之原市は外国籍住民が暮らしやすいまちだと思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。



牧之原市は外国籍住民が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が 34.3%と最も多く、次いで「わからない」が 20.3%、「ある程度思う」が 21.9%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 23.8%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 21.0%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

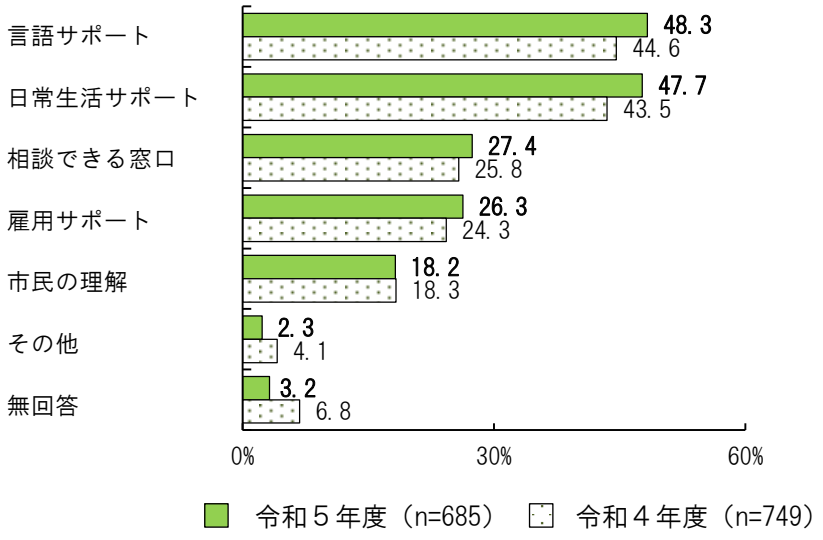
クロス集計（性別・年齢別）



【性　別】：大きな差異はみられません。
【年齢別】：20～29 歳は「わからない」が 10.6%と他の年代に比べて少なくなっています。60～69 歳は「あまり思わない」が 28.4%と多くなっています。70 歳以上は「わからない」が 28.8%と多く、「あまり思わない」が 8.5%と少なくなっています。また、『思わない』は 70 歳以上が 10.2%と少なくなっています。

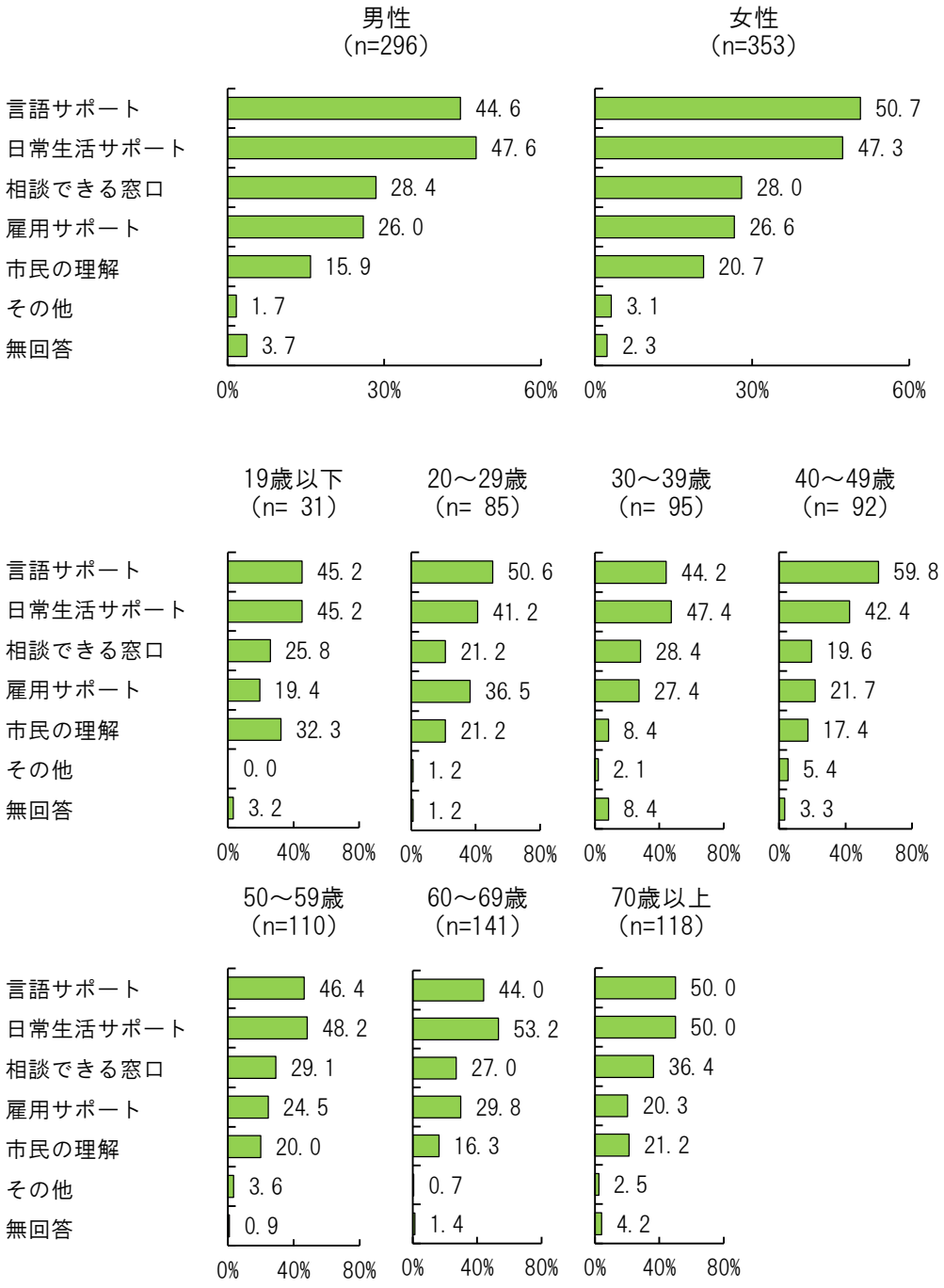
(13) 外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

問13　あなたは、外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？次の中から２つ以内で選んで○印をつけてください。



外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「言語サポート」が 48.3%と最も多く、次いで「日常生活サポート」が 47.7%、「相談できる窓口」が 27.4%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

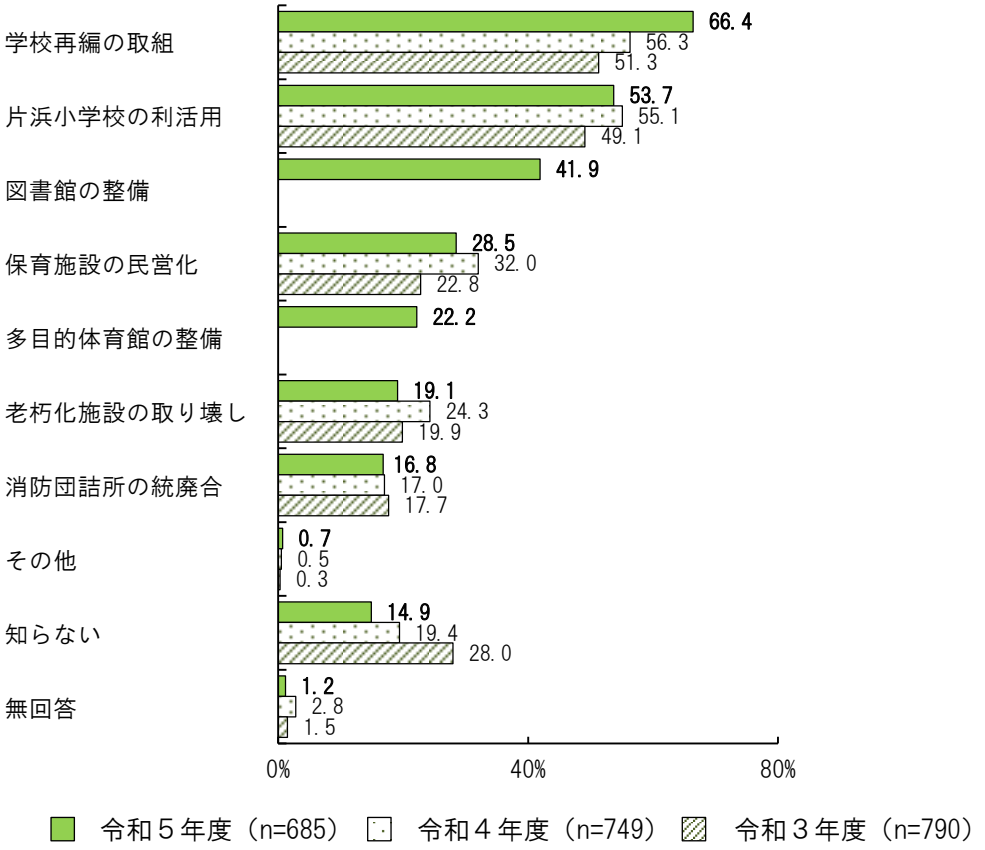


【性　別】：女性は「言語サポート」が 50.7%と男性より多くなっています。
【年齢別】：19 歳以下は「市民の理解」が 32.3%と他の年代に比べて多くなっています。20～29 歳は「雇用サポート」が 36.5%と多くなっています。また、30～39 歳は「市民の理解」が 8.4%と少なくなっています。40～49 歳は「言語サポート」が 59.8%と多くなっています。さらに、70 歳以上は「相談できる窓口」が 36.4%と多くなっています。

⑥公共施設の最適化について

（14）市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの

問14　牧之原市では、「公共施設の最適化」に対応するための取組を行っています。あなたは、市のどのような取組を知っていますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

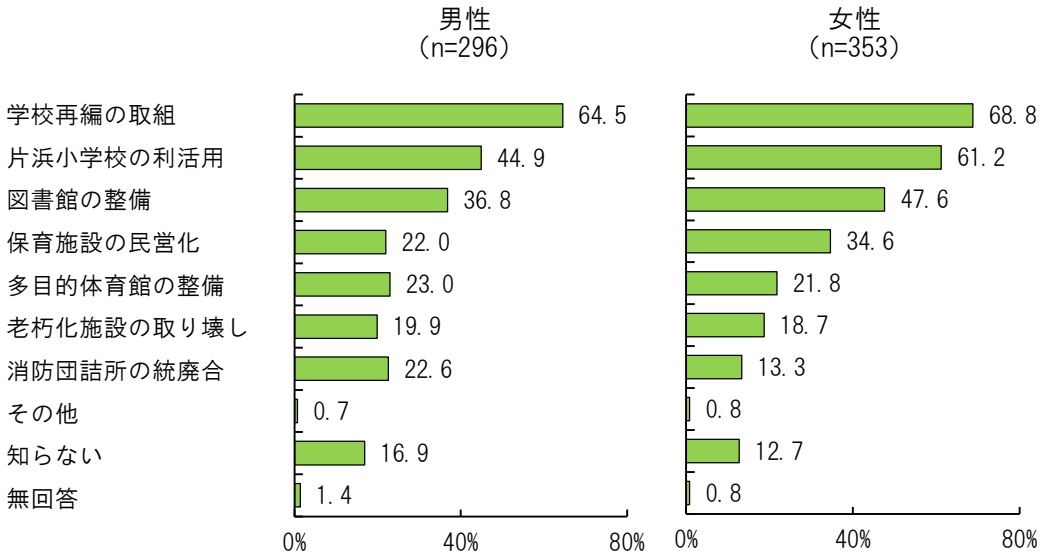


※「図書館の整備」と「多目的体育館の整備」は令和５年度に追加された選択肢です。

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているものは、「学校再編の取組」が 66.4%と最も多く、次いで「片浜小学校の利活用」が 53.7%、「図書館の整備」が 41.9%などとなっています。

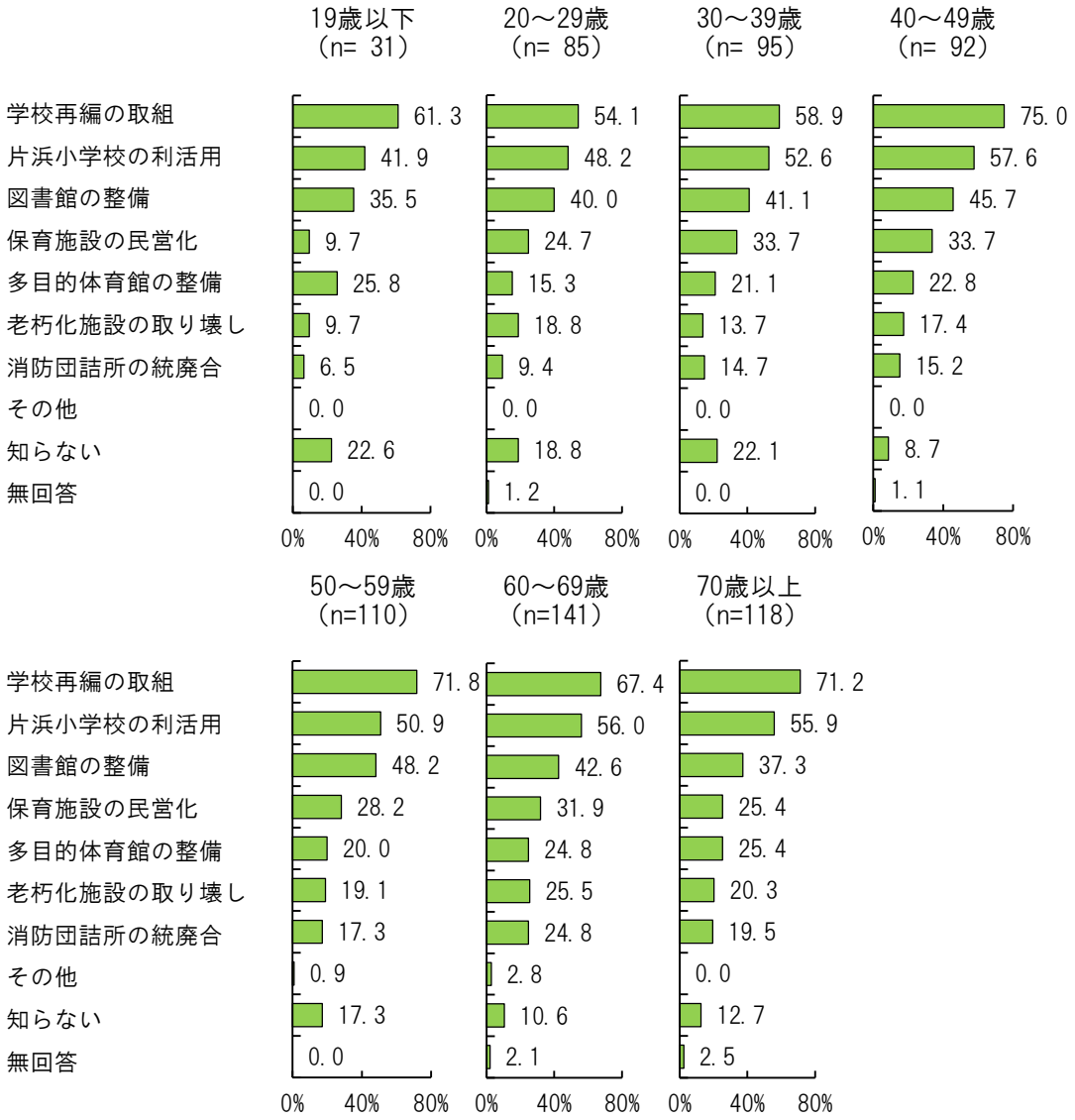
昨年度と比較すると、「学校再編の取組」が 10.1 ポイント増加し、「老朽化施設の取り壊し」が 5.2 ポイント減少しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「消防団詰所の統廃合」が 22.6％と女性より多くなっています。女性は「片浜小学校の利活用」「図書館の整備」「保育施設の民営化」が男性より多くなっています。

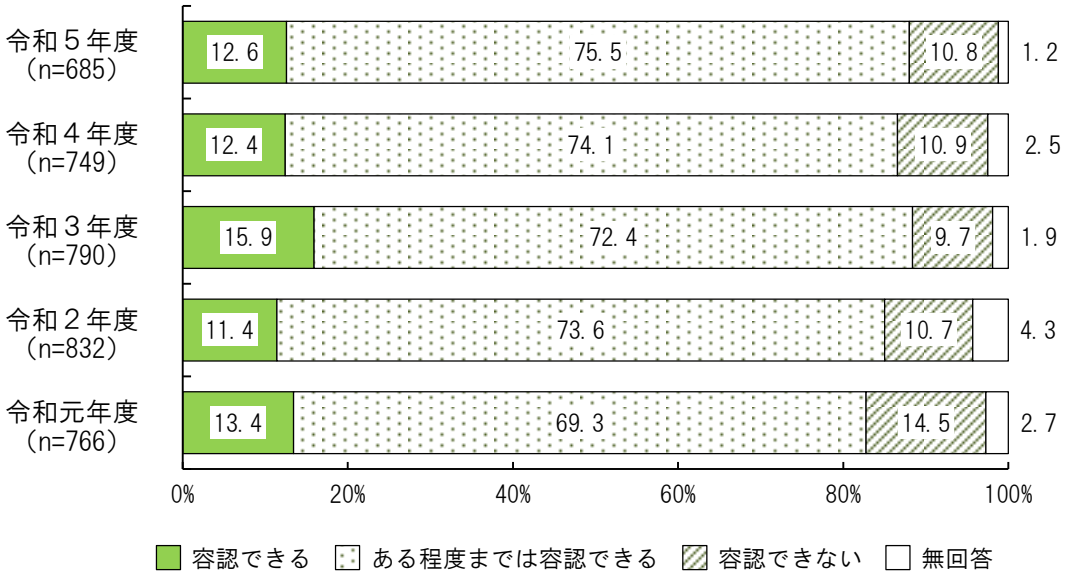
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19 歳以下は「片浜小学校の利活用」「保育施設民営化」が他の年代に比べて少なくなっています。60～69 歳は「老朽化施設の取り壊し」「消防団詰所の統廃合」が多くなっています。

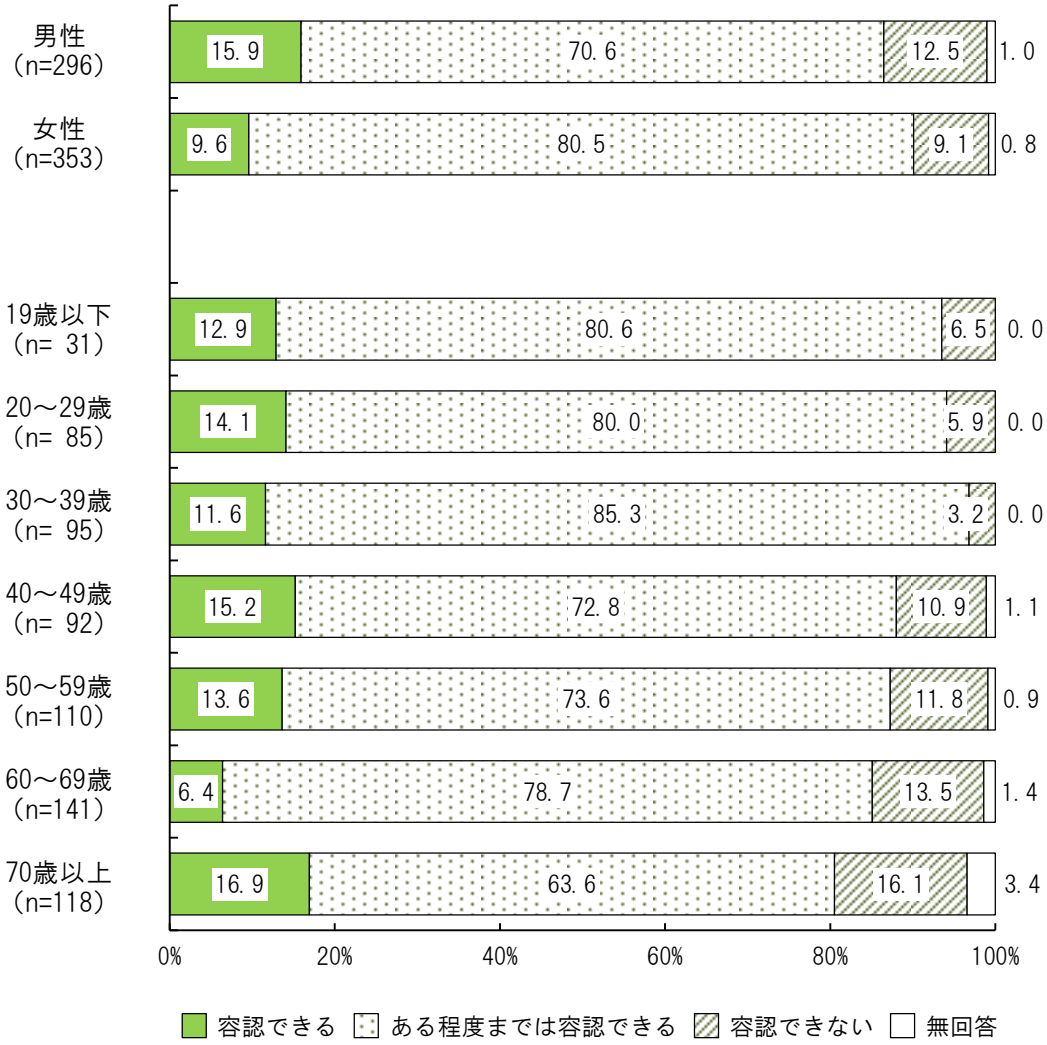
(15)「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

問 15　「公共施設の最適化」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合もあります。あなたは、このことに対してどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が 75.5%と最も多く、次いで「容認できる」が 12.6%、「容認できない」が 10.8%となっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

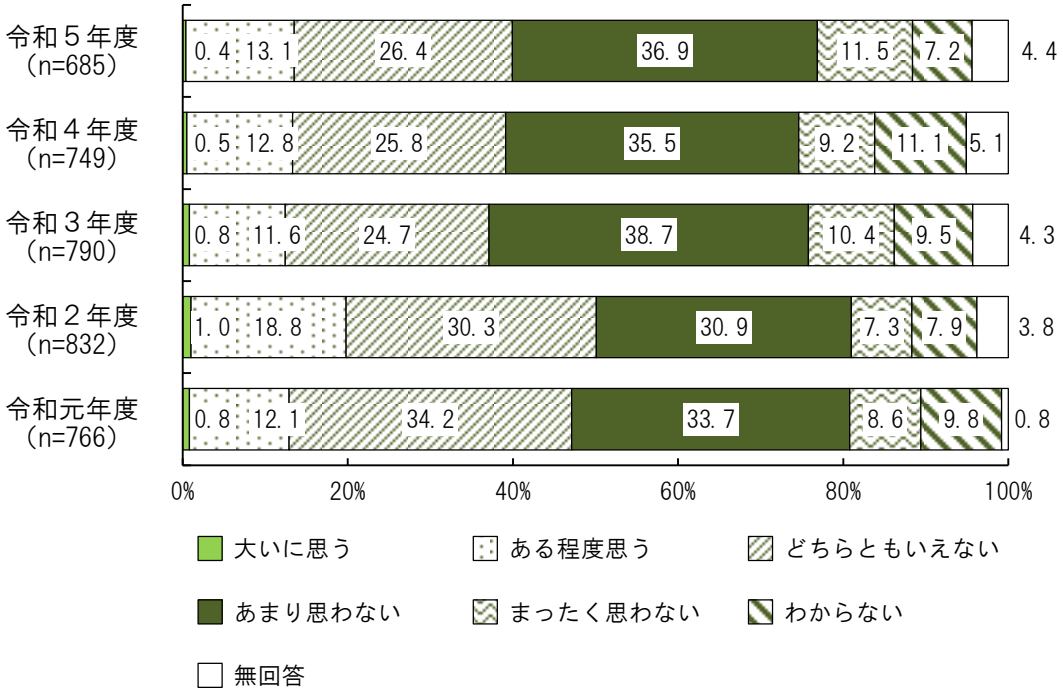


【性　別】：男性は「容認できる」が 15.9%と女性より多くなっています。女性は「ある程度までは容認できる」が 80.5%と男性より多くなっています。
【年齢別】：60～69 歳は「容認できる」が 6.4%と他の年代に比べて少なくなっています。70 歳以上は「ある程度までは容認できる」が 63.6%と少なくなっています。

⑦産業・雇用について

(16) 市の産業を全体的に見て活力があると思うか

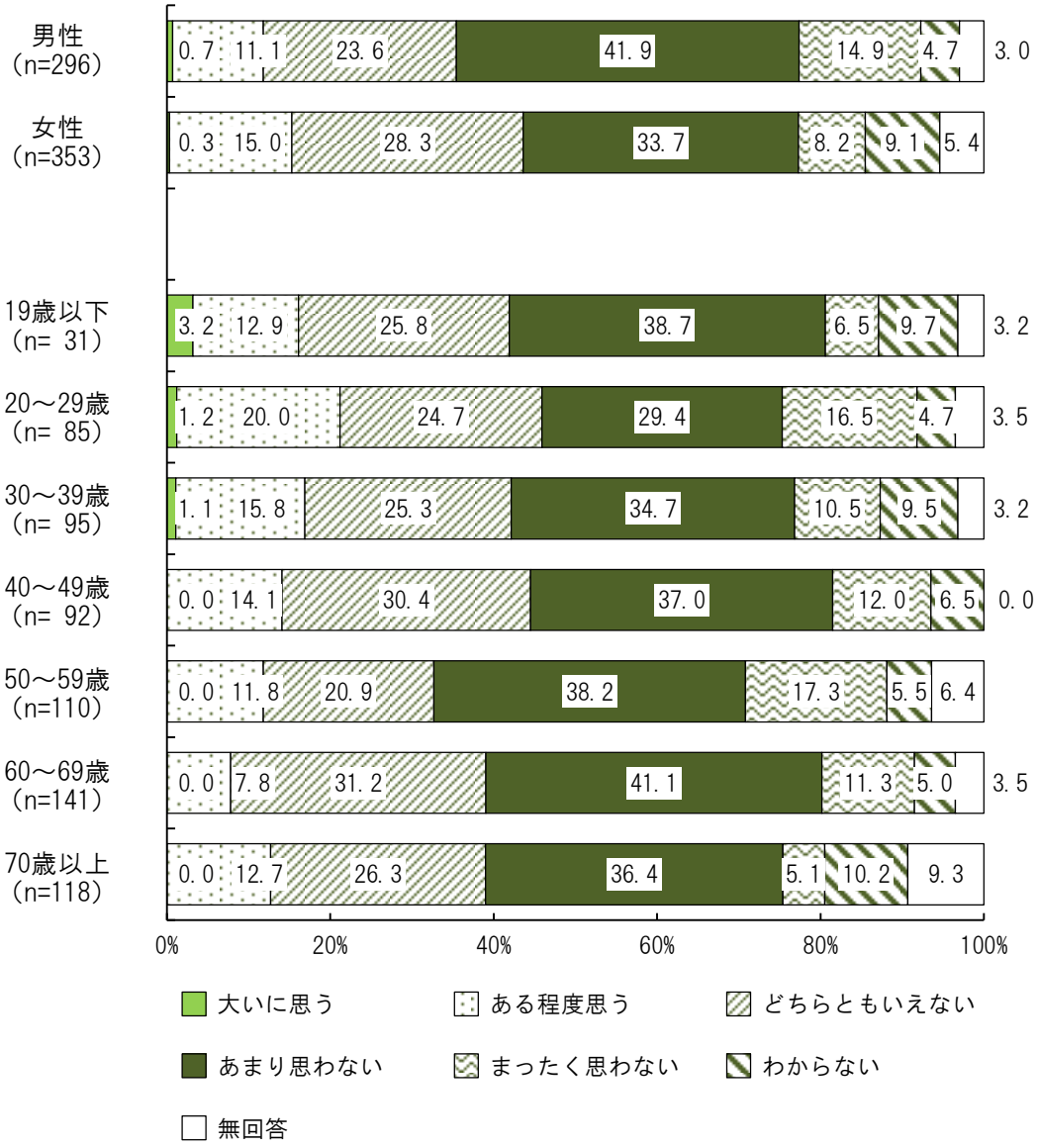
問 16　あなたは、市の産業を全体的に見て、活力(元気)があると思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。



市の産業を全体的に見て活力があると思うかについては、「あまり思わない」が 36.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 26.4%、「ある程度思う」が 13.1%などとなっています。また、『思う』(「大いに思う」＋「ある程度思う」) は 13.6%、『思わない』(「あまり思わない」＋「まったく思わない」) は 48.5%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

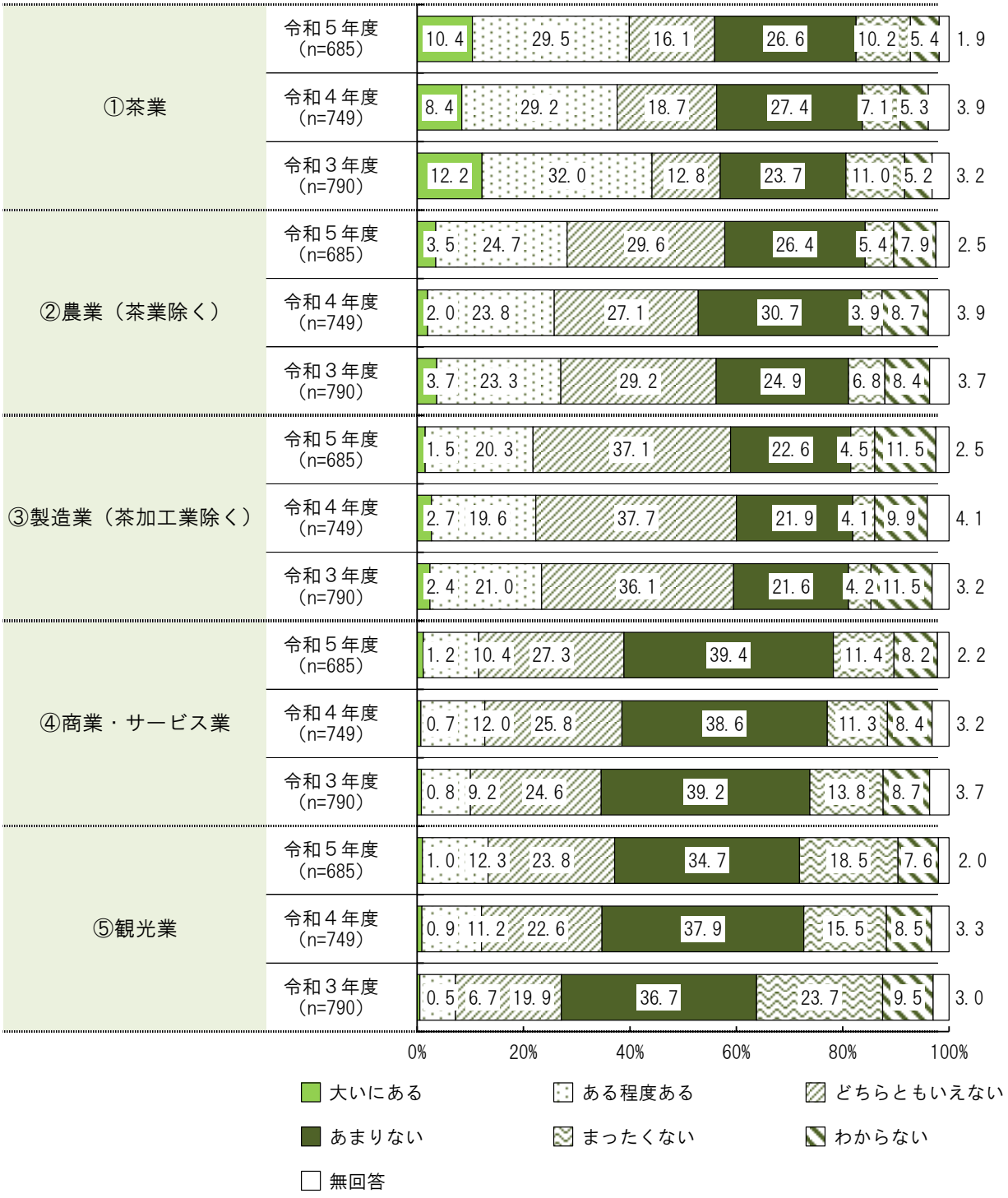
クロス集計（性別・年齢別）



【性　別】：男性は「あまり思わない」「まったく思わない」が女性より多くなっています。また、『思わない』は男性が 56.8％と女性より多くなっています。
【年齢別】：20～29 歳は「あまり思わない」が 29.4％と他の年代に比べて少なくなっています。

(17) 牧之原市の産業に活力があると思うか

問17　あなたは、市の産業に活力があると思いますか？各産業に１つずつ○印をつけてください。

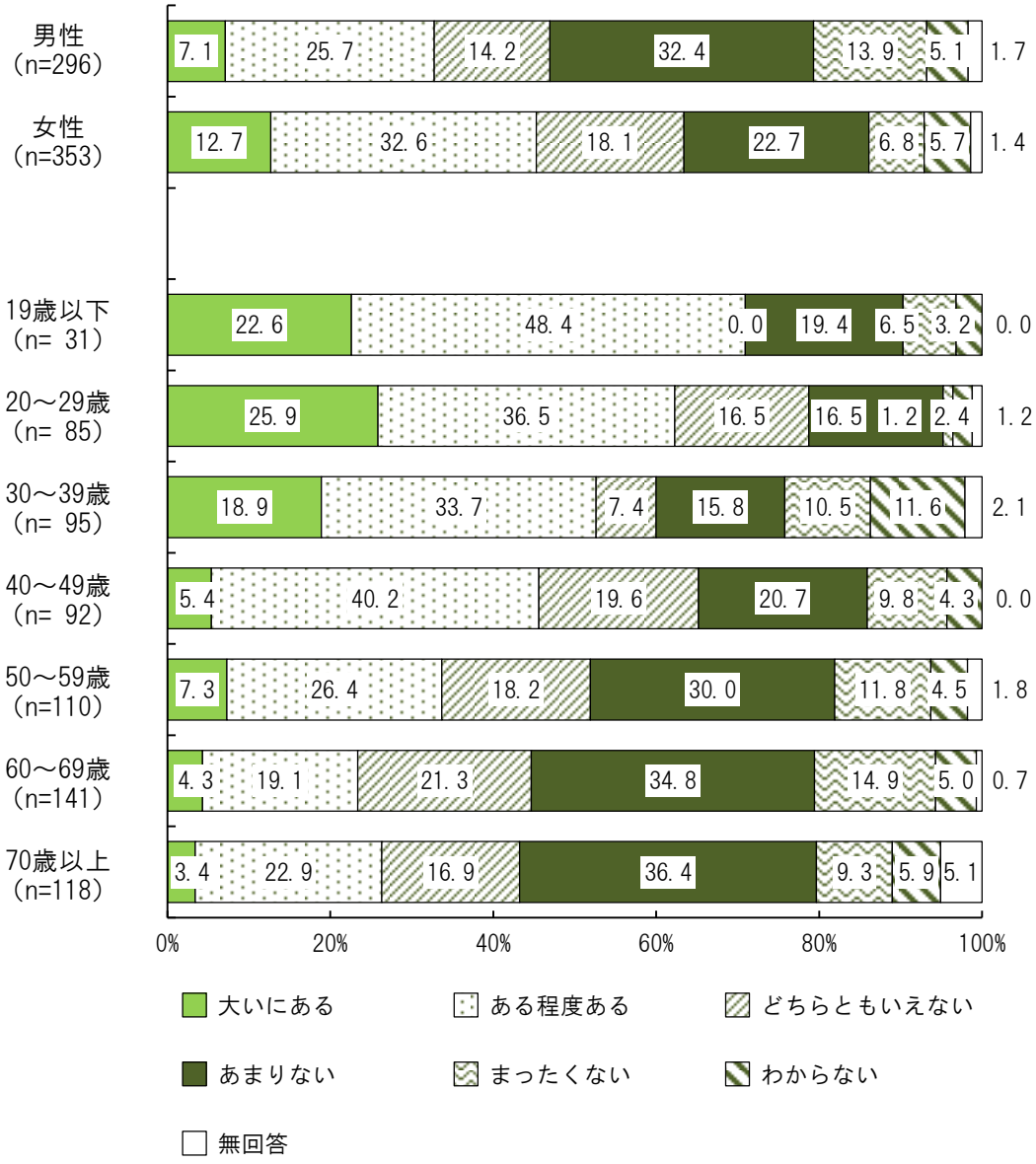


牧之原市のどの産業に活力があると思うかについては、「大いにある」が≪①茶業≫において 10.4%と最も多く、『ある』（「大いにある」＋「ある程度ある」）は 39.9%となっています。一方、「まったくない」が≪⑤観光業≫において 18.5%と最も多く、『ない』（「あまりない」＋「まったくない」）は 53.3%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

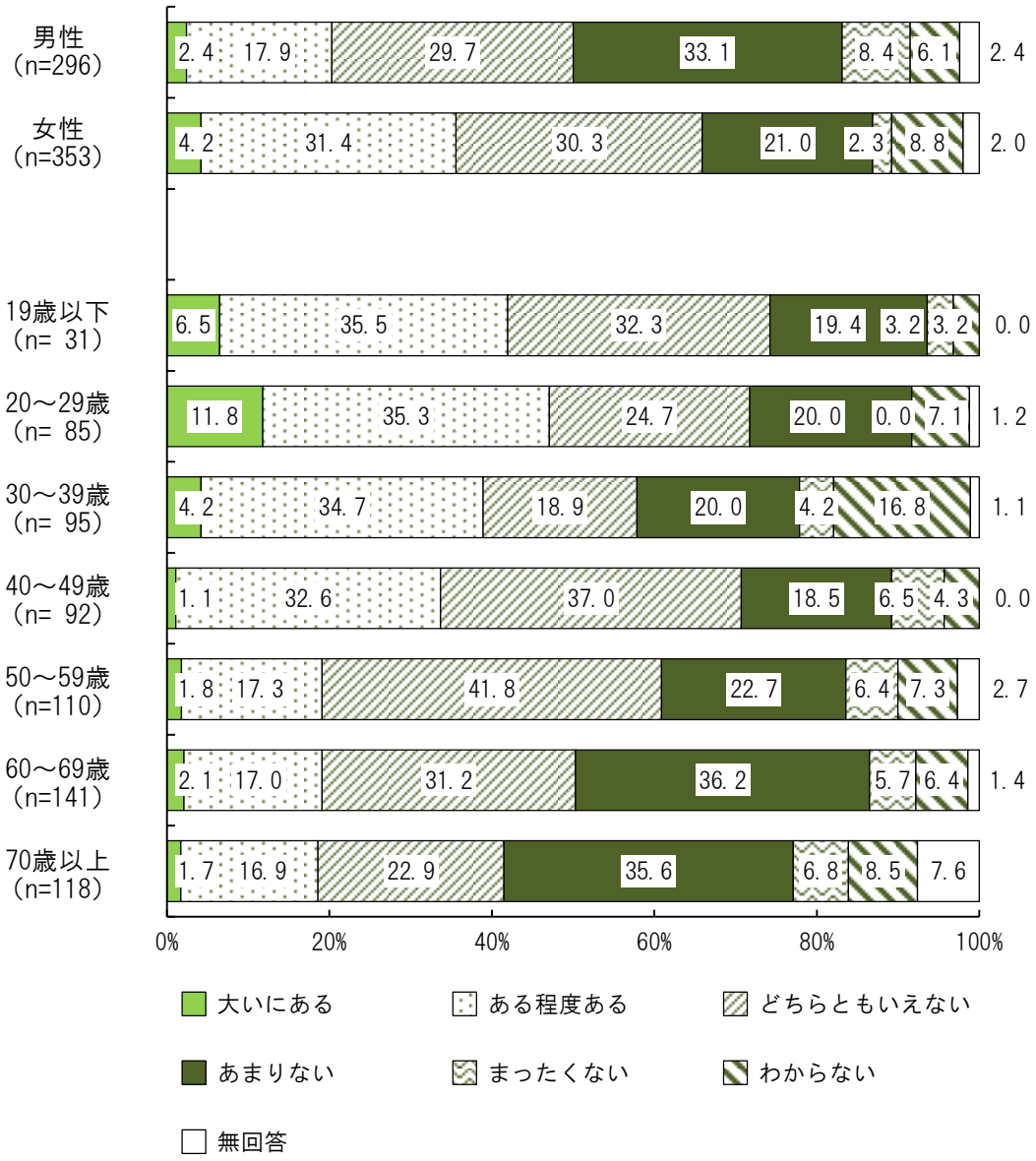
クロス集計（性別・年齢別）

≪①茶業≫



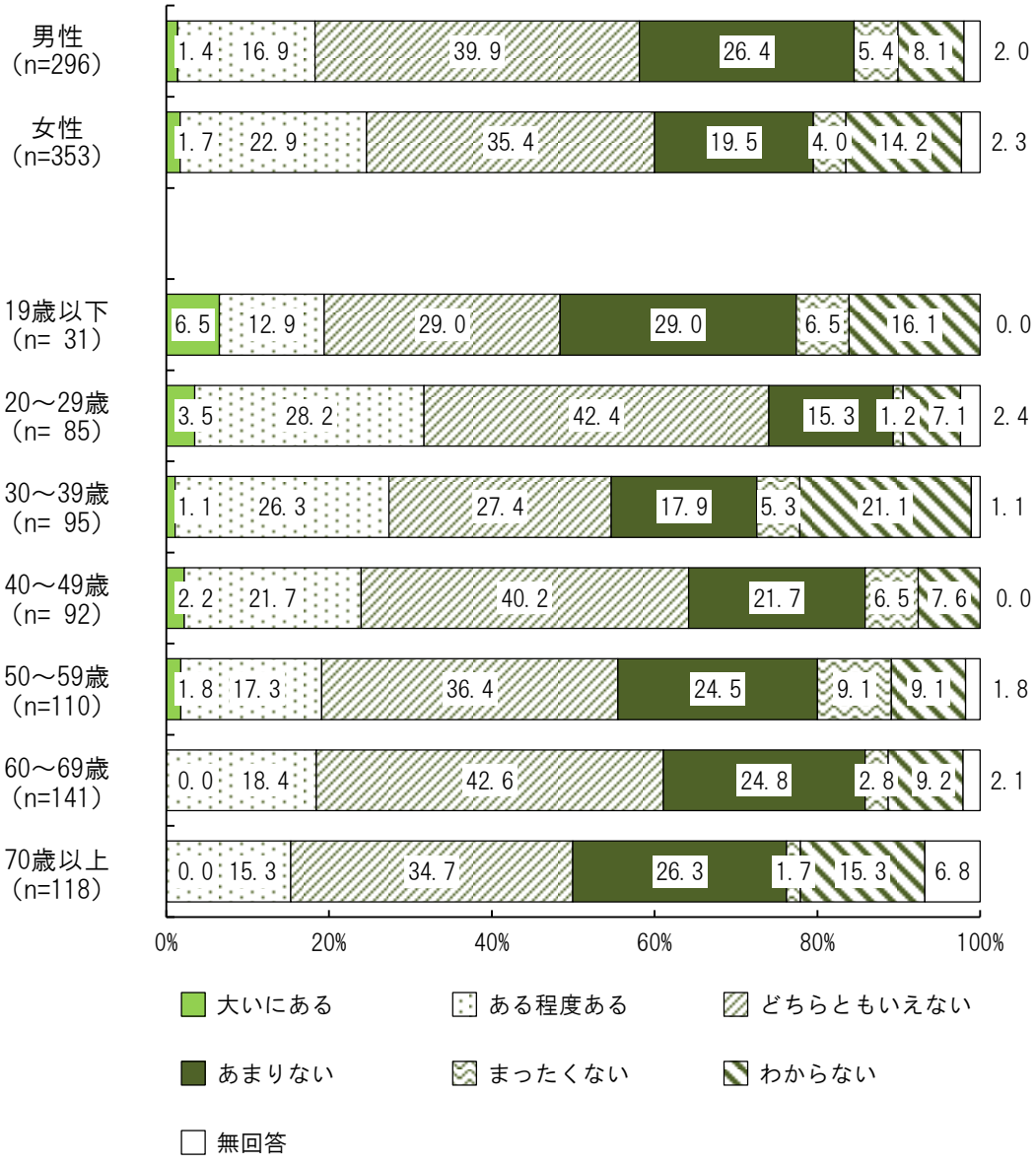
【性　別】：男性は「あまりない」「まったくない」が女性より多くなっています。女性は「大いにある」「ある程度ある」が男性より多くなっています。また、『ない』は男性が 46.3%と女性より多くなっています。
【年齢別】：19 歳以下は「ある程度ある」が 48.4%と他の年代に比べて多く、「どちらともいえない」と回答した人はいませんでした。20～29 歳は「まったくない」が 1.2%と少なくなっています。30～39 歳は「わからない」が 11.6%と多くなっています。また、『ある』は 19 歳以下が 71.0%と多く、『ない』は 20～29 歳が 17.6%と少なくなっています。

≪②農業（茶業除く）≫



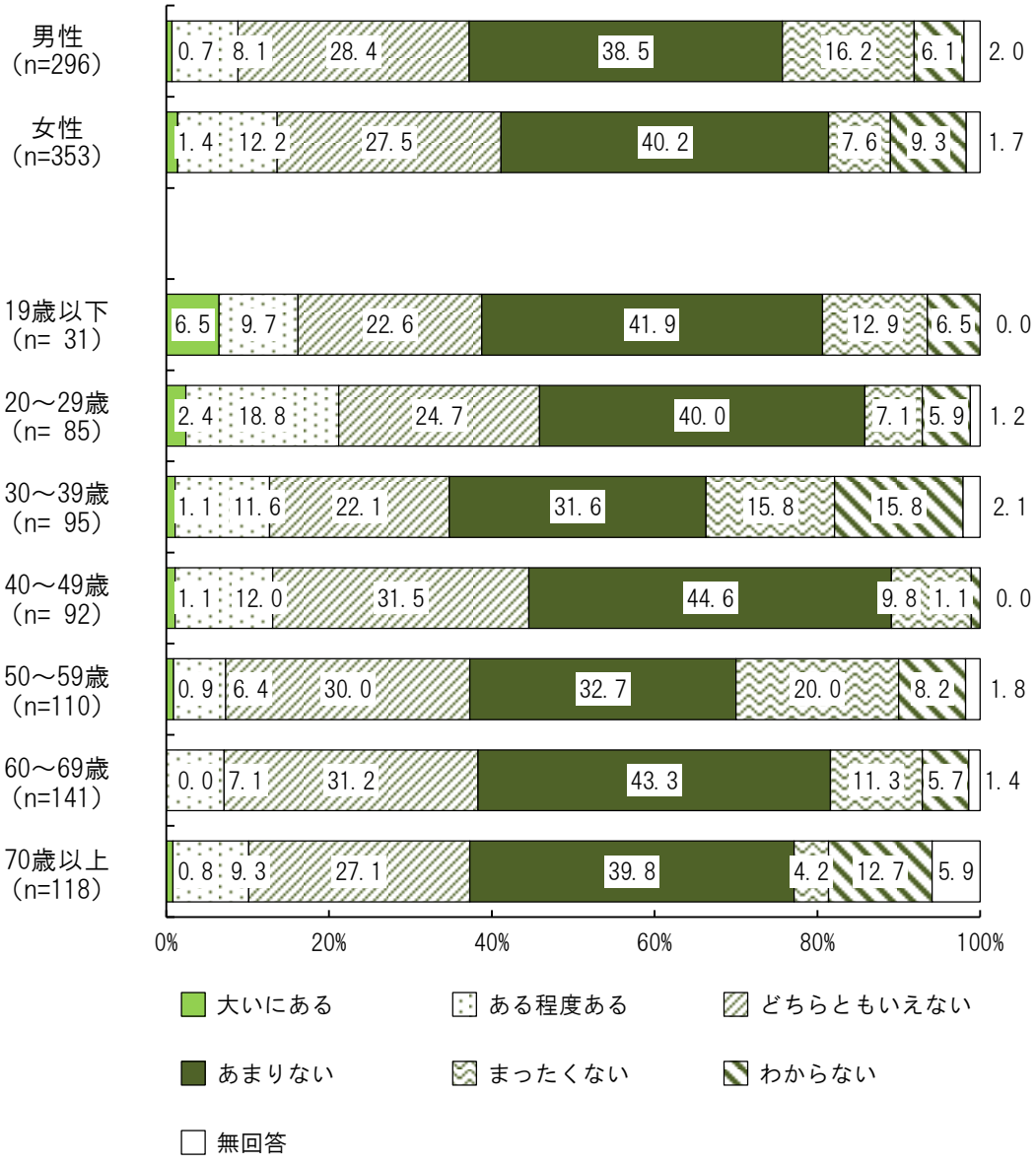
【性　別】: 男性は「あまりない」「まったくない」が女性より多くなっています。女性は「ある程度ある」が 31.4%と男性より多くなっています。また、『ない』は男性が 41.6%と女性より多くなっています。
【年齢別】: 20～29 歳は「大いにある」が 11.8%と他の年代に比べて多くなっています。30～39 歳は「わからない」が 16.8%と多くなっています。また、『ある』は 20～29 歳が 47.1%と多くなっています。

≪③製造業（茶加工業除く）≫



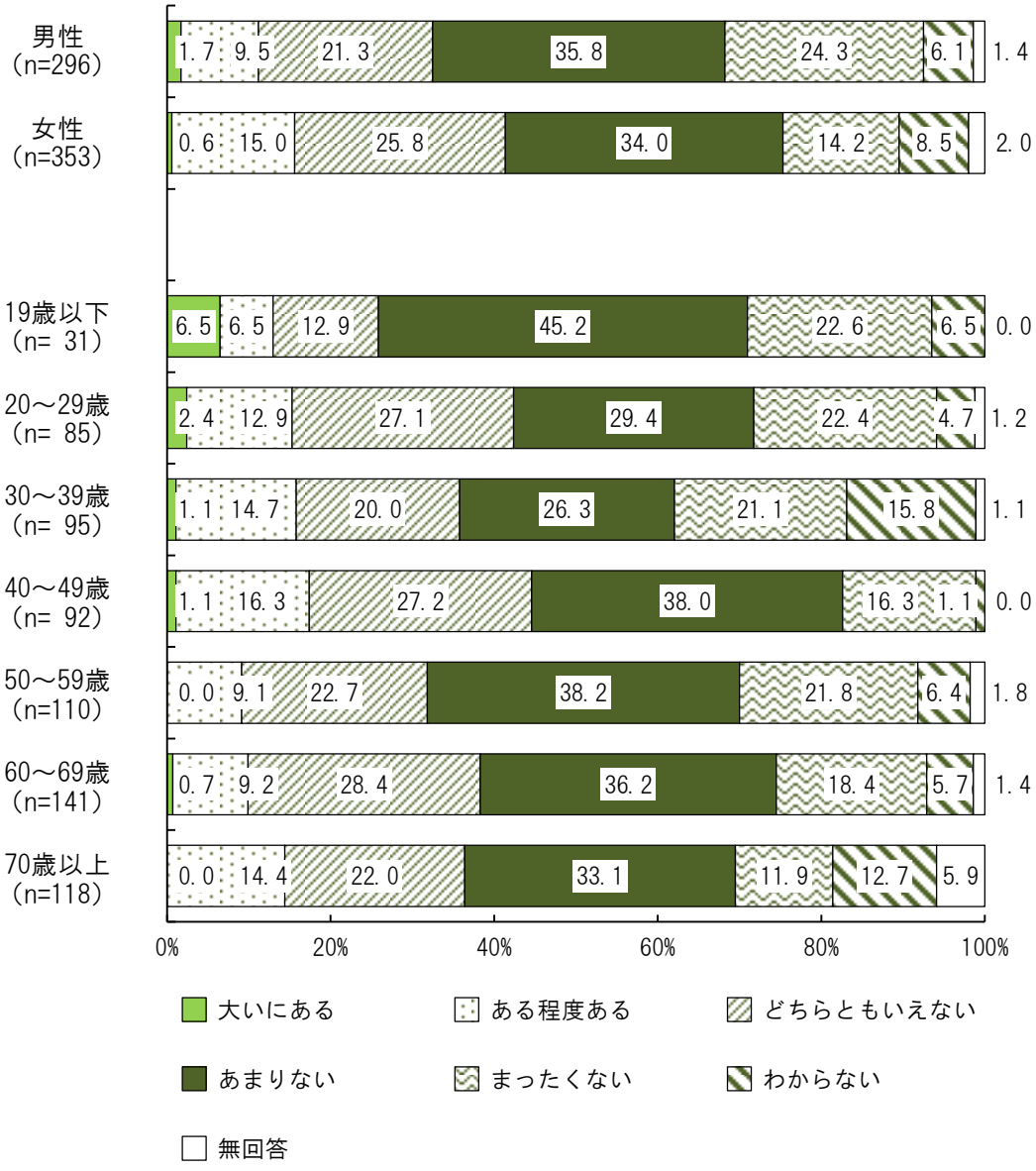
【性　別】：男性は「あまりない」が 26.4%と女性より多くなっています。女性は「ある程度ある」「わからない」が男性より多くなっています。また、『ない』は男性が 31.8%と女性より多くなっています。
【年齢別】：30～39 歳は「わからない」が 21.1%と他の年代に比べて多くなっています。また、『ない』は 20～29 歳が 16.5%と少なくなっています。

≪④商業・サービス業≫



【性　別】：男性は「まったくない」が 16.2%と女性より多くなっています。また、『ない』は男性が 54.7%と女性より多くなっています。
【年齢別】：20～29 歳は「ある程度ある」が 18.8%と他の年代に比べて多くなっています。また、『ある』は 20～29 歳が 21.2%と多くなっています。

≪⑤観光業≫

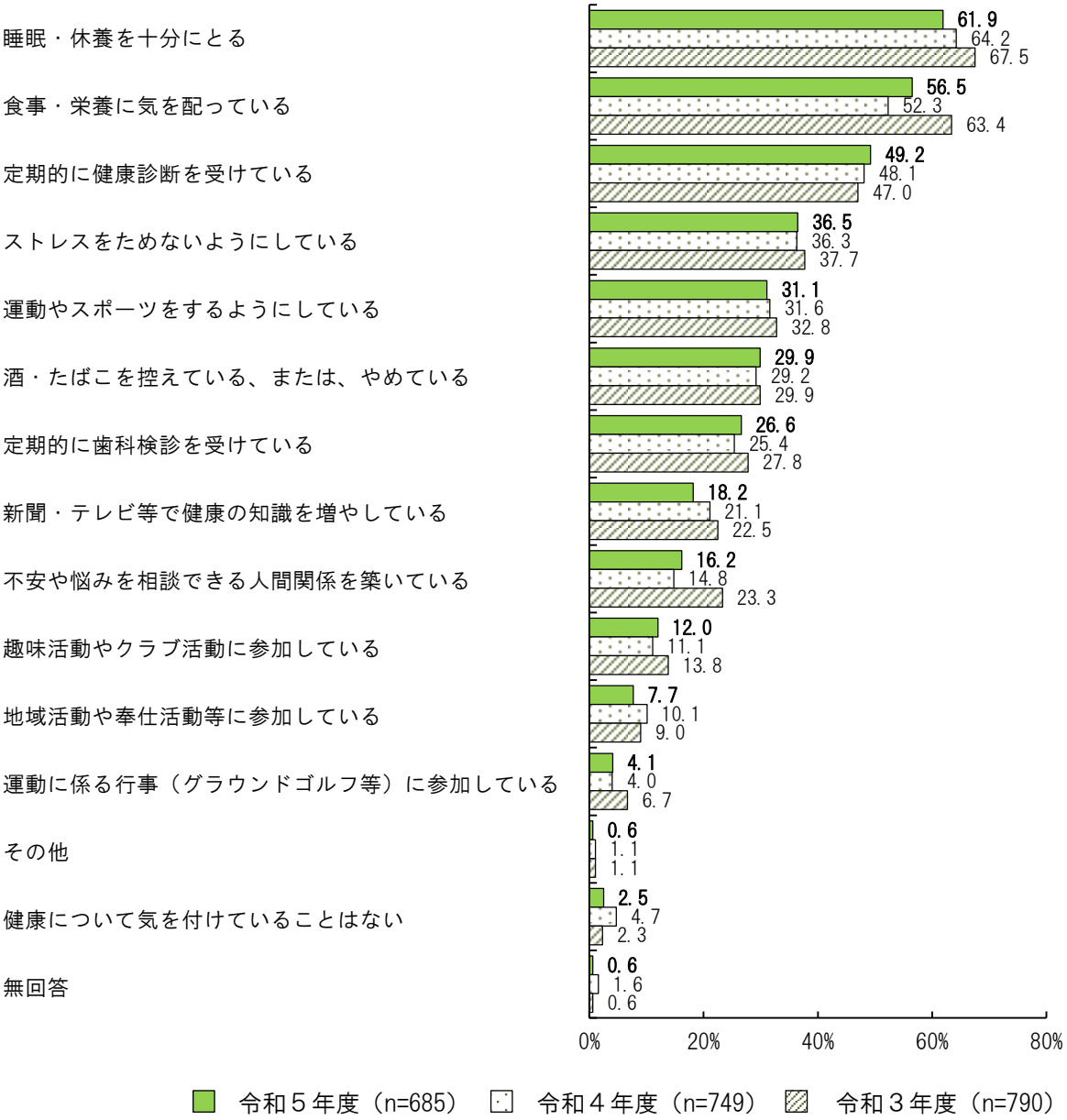


【性　別】：男性は「まったくない」が 24.3%と女性より多くなっています。女性は「ある程度ある」が 15.0%と男性より多くなっています。また、『ない』は男性が 60.1%と女性より多くなっています。
【年齢別】：19 歳以下は「あまりない」が 45.2%と他の年代に比べて多く、「どちらともいえない」が 12.9%と少なくなっています。また、『ない』は 19 歳以下が 67.7%と多くなっています。

⑧健康寿命について

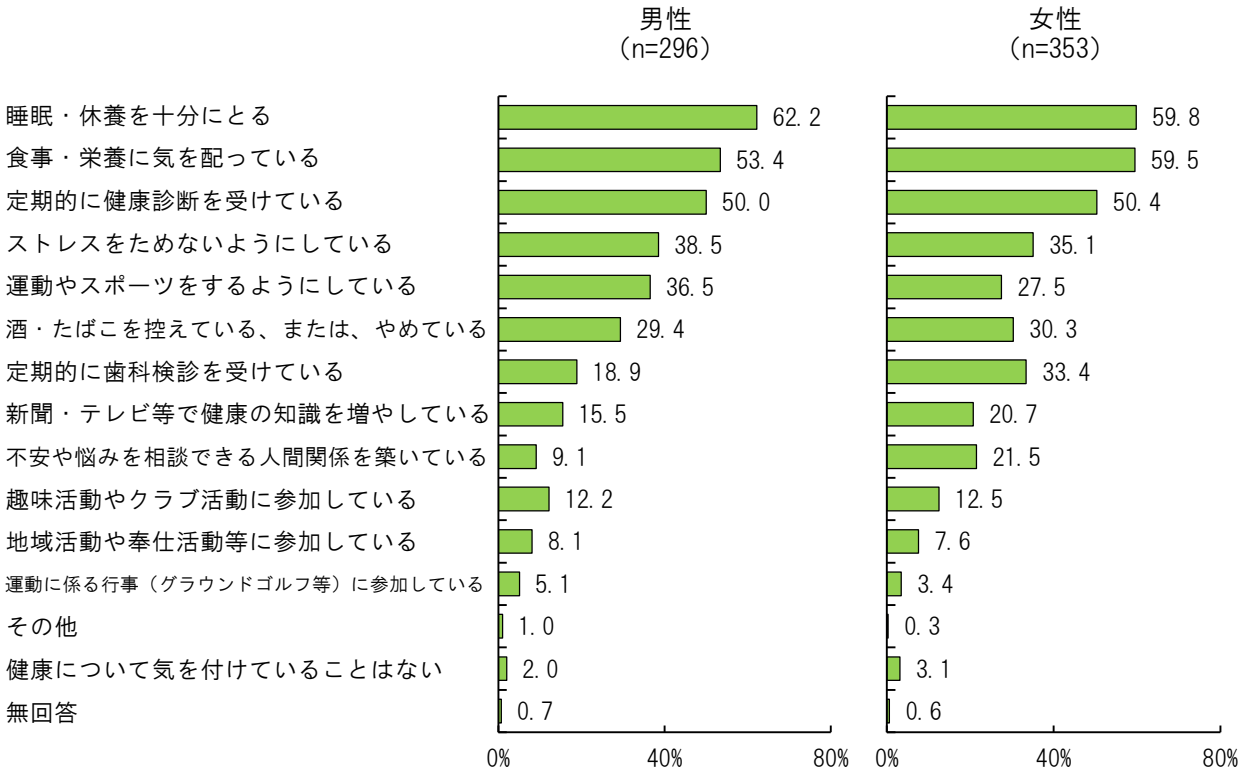
（18）健康について気を付けていること

問18　あなたが、健康について気を付けていることは何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



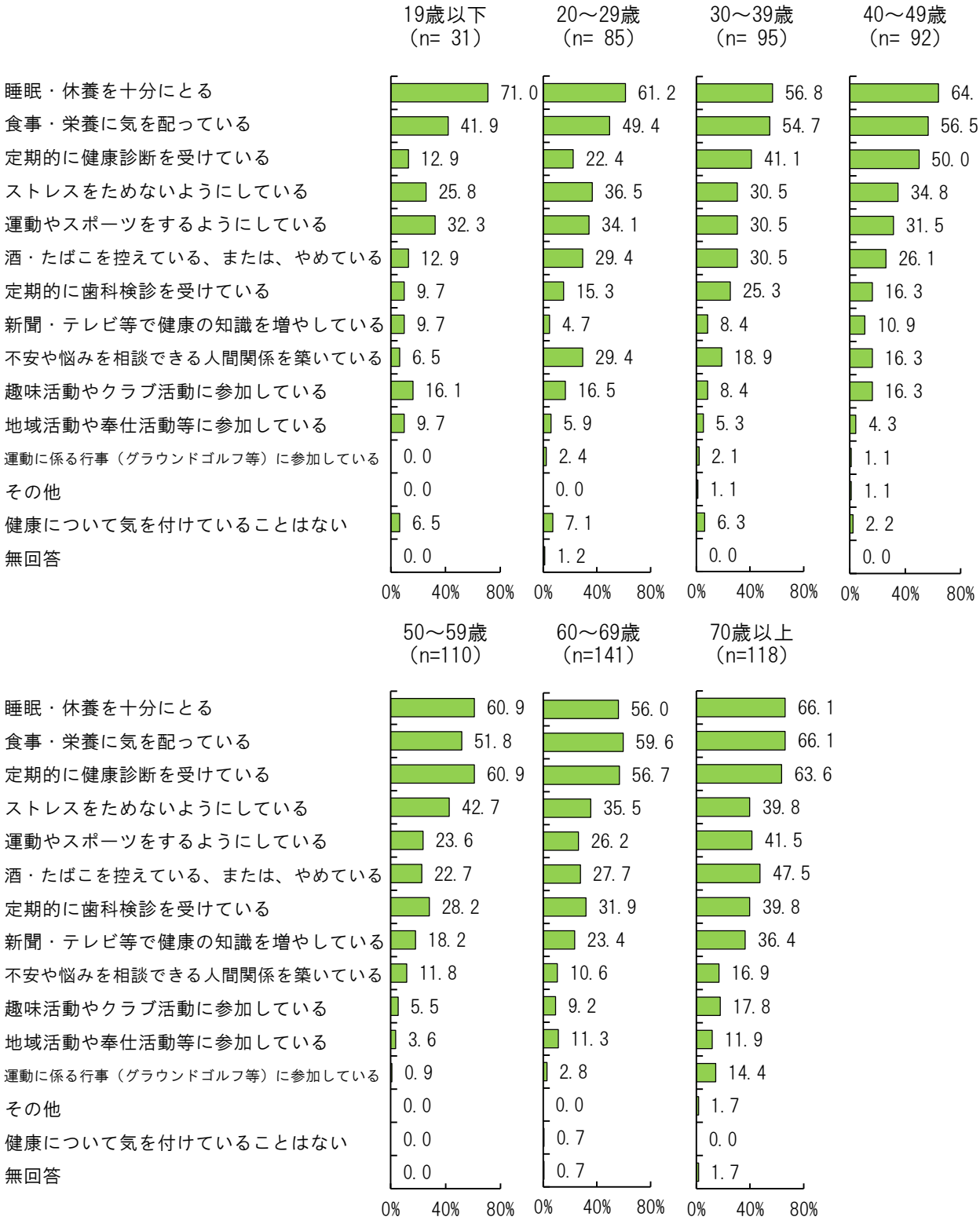
健康について気を付けていることは、「睡眠・休養を十分にとる」が 61.9%と最も多く、次いで「食事・栄養に気を配っている」が 56.5%、「定期的に健康診断を受けている」が 49.2%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「運動やスポーツをするようにしている」が 36.5%と女性より多くなっています。女性は「食事・栄養に気を配っている」「定期的に歯科検診を受けている」「新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている」「不安や悩みを相談できる人間関係を築いている」が男性より多くなっています。

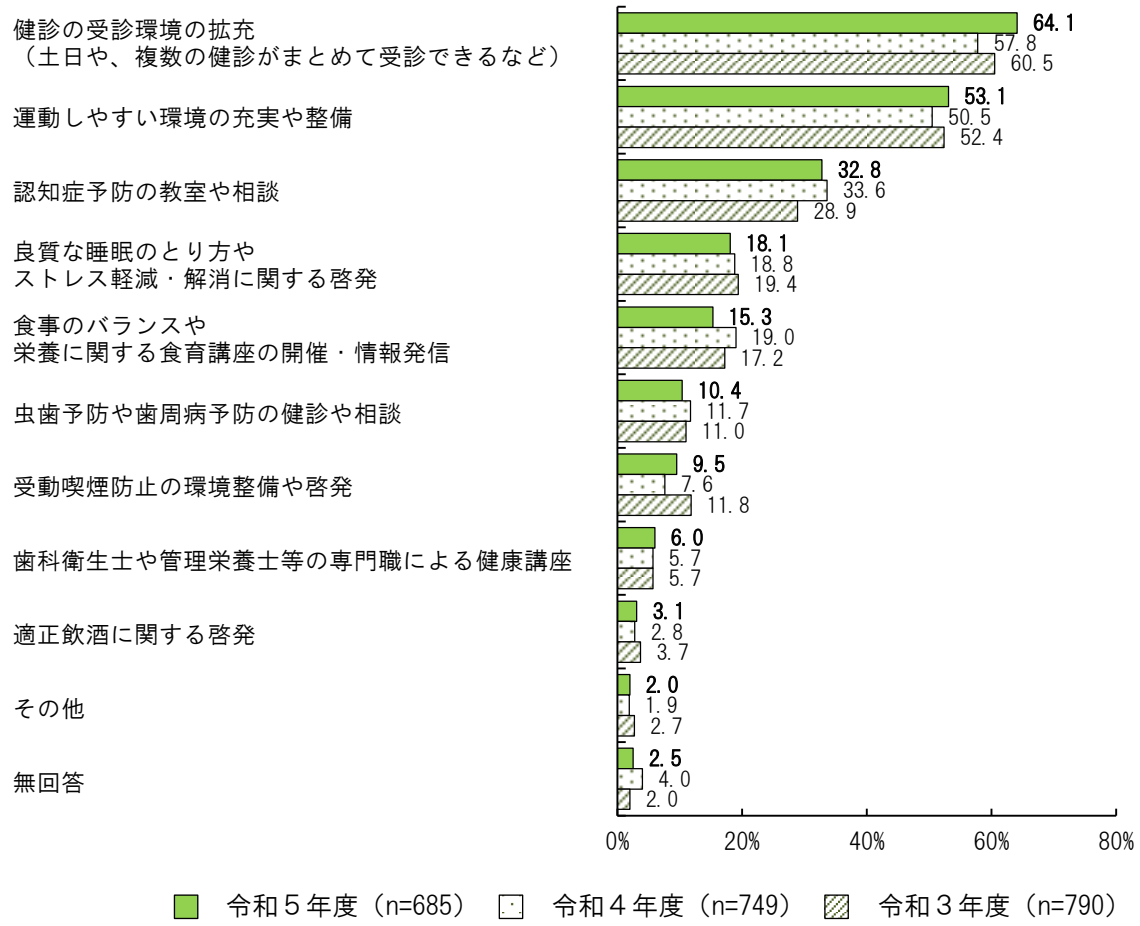
クロス集計（年齢別）


19歳以下（n= 31）
20～29歳（n= 85）
30～39歳（n= 95）
40～49歳（n= 92）
睡眠・休養を十分にとる 71.0 61.2 56.8 64.1
食事・栄養に気を配っている 41.9 49.4 54.7 56.5
定期的に健康診断を受けている 12.9 22.4 41.1 50.0
ストレスをためないようにしている 25.8 36.5 30.5 34.8
運動やスポーツをするようにしている 32.3 34.1 30.5 31.5
酒・たばこを控えている、または、やめている 12.9 29.4 30.5 26.1
定期的に歯科検診を受けている 9.7 15.3 25.3 16.3
新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている 9.7 4.7 8.4 10.9
不安や悩みを相談できる人間関係を築いている 6.5 29.4 18.9 16.3
趣味活動やクラブ活動に参加している 16.1 16.5 8.4 16.3
地域活動や奉仕活動等に参加している 9.7 5.9 5.3 4.3
運動に係る行事（グラウンドゴルフ等）に参加している 0.0 2.4 2.1 1.1
その他 0.0 0.0 1.1 1.1
健康について気を付けていることはない 6.5 7.1 6.3 2.2
無回答 0.0 1.2 0.0 0.0
0% 40% 80%
50～59歳（n=110）
60～69歳（n=141）
70歳以上（n=118）
睡眠・休養を十分にとる 60.9 56.0 66.1
食事・栄養に気を配っている 51.8 59.6 66.1
定期的に健康診断を受けている 60.9 56.7 63.6
ストレスをためないようにしている 42.7 35.5 39.8
運動やスポーツをするようにしている 23.6 26.2 41.5
酒・たばこを控えている、または、やめている 22.7 27.7 47.5
定期的に歯科検診を受けている 28.2 31.9 39.8
新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている 18.2 23.4 36.4
不安や悩みを相談できる人間関係を築いている 11.8 10.6 16.9
趣味活動やクラブ活動に参加している 5.5 9.2 17.8
地域活動や奉仕活動等に参加している 3.6 11.3 11.9
運動に係る行事（グラウンドゴルフ等）に参加している 0.9 2.8 14.4
その他 0.0 0.0 1.7
健康について気を付けていることはない 0.0 0.7 0.0
無回答 0.0 0.7 1.7
0% 40% 80%

【年齢別】: 19 歳以下は「睡眠・休養を十分にとる」が 71.0%と他の年代に比べて多く、「食事・栄養に気を配っている」「定期的に健康診断を受けている」「酒・たばこを控えている、または、やめている」「定期的に歯科検診を受けている」が少なくなっています。20～29 歳は「不安や悩みを相談できる人間関係を築いている」が 29.4%と多くなっています。また、70 歳以上は「食事・栄養に気を配っている」「運動やスポーツをするようにしている」「酒・たばこを控えている、または、やめている」「定期的に歯科検診を受けている」「新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている」「運動に係る行事（グラウンドゴルフ等）に参加している」が多くなっています。

(19) 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組

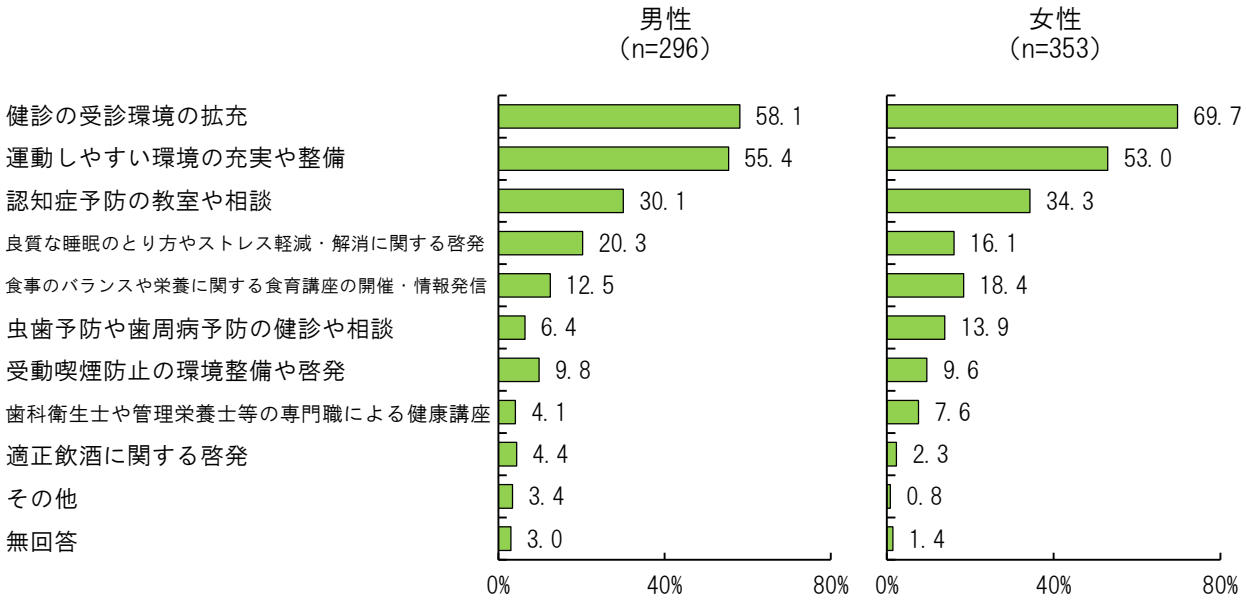
問 19　健康寿命を伸ばすために、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。



健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組は、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど)」が 64.1%と最も多く、次いで「運動しやすい環境の充実や整備」が 53.1%、「認知症予防の教室や相談」が 32.8%などとなっています。

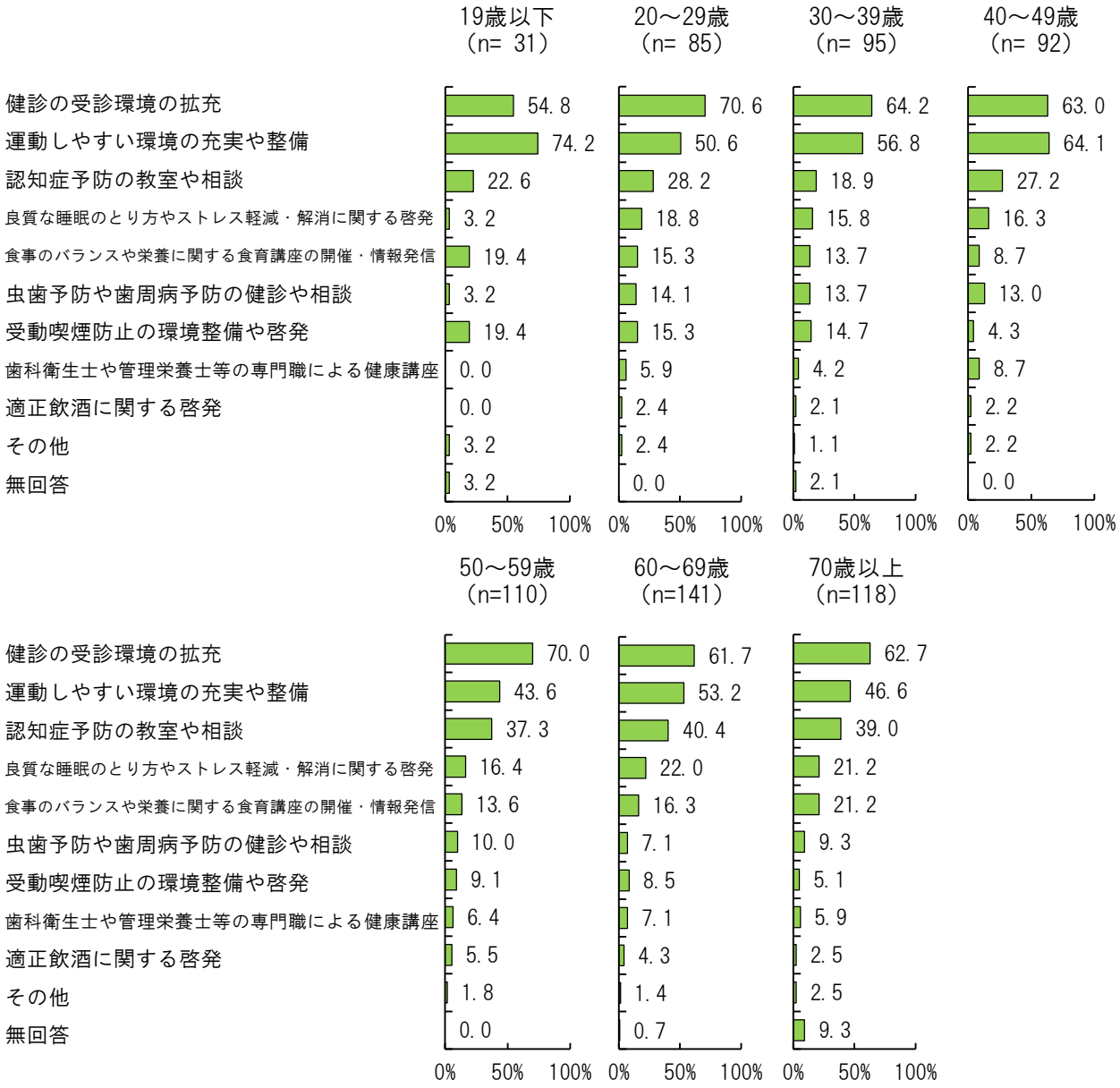
昨年度と比較すると、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど)」が 6.3 ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：女性は「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど)」「食事のバランスや栄養に関する食育講座の開催・情報発信」「虫歯予防や歯周病予防の健診や相談」が男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

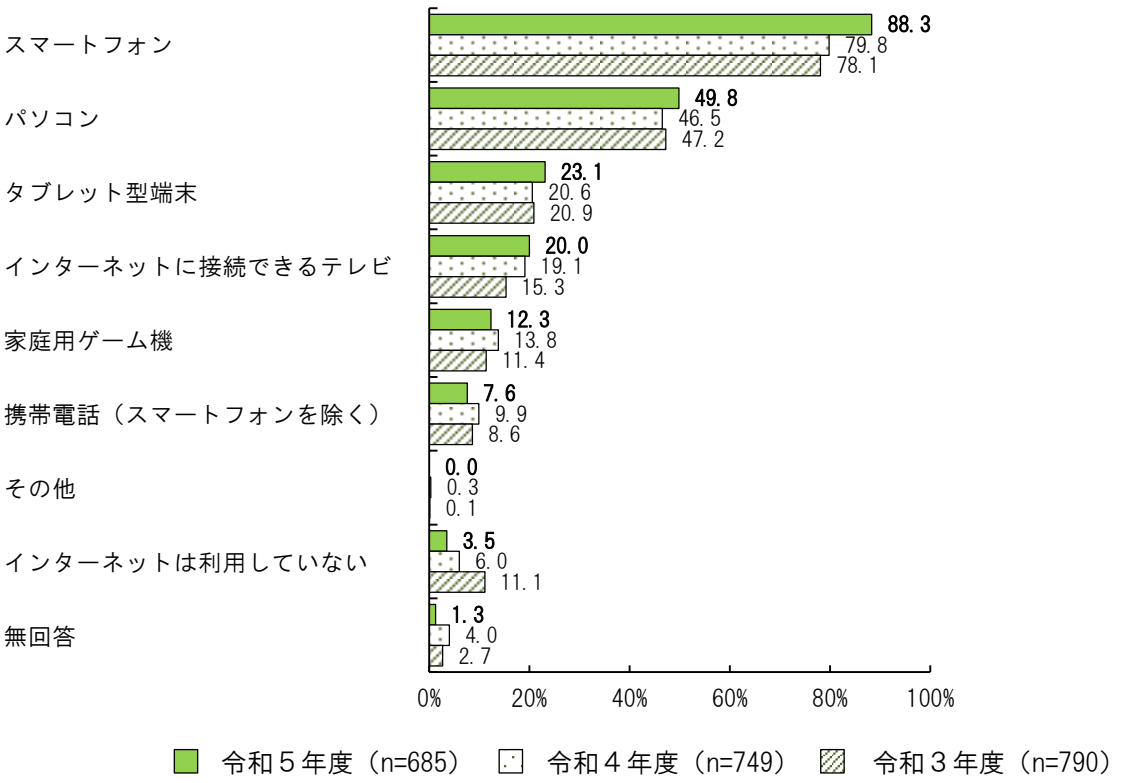


【年齢別】：19 歳以下は「運動しやすい環境の充実や整備」が 74.2%と他の年代に比べて多く、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど)」「良質な睡眠のとり方やストレス軽減・解消に関する啓発」が少なくなっています。

⑨行政サービスのデジタル化について

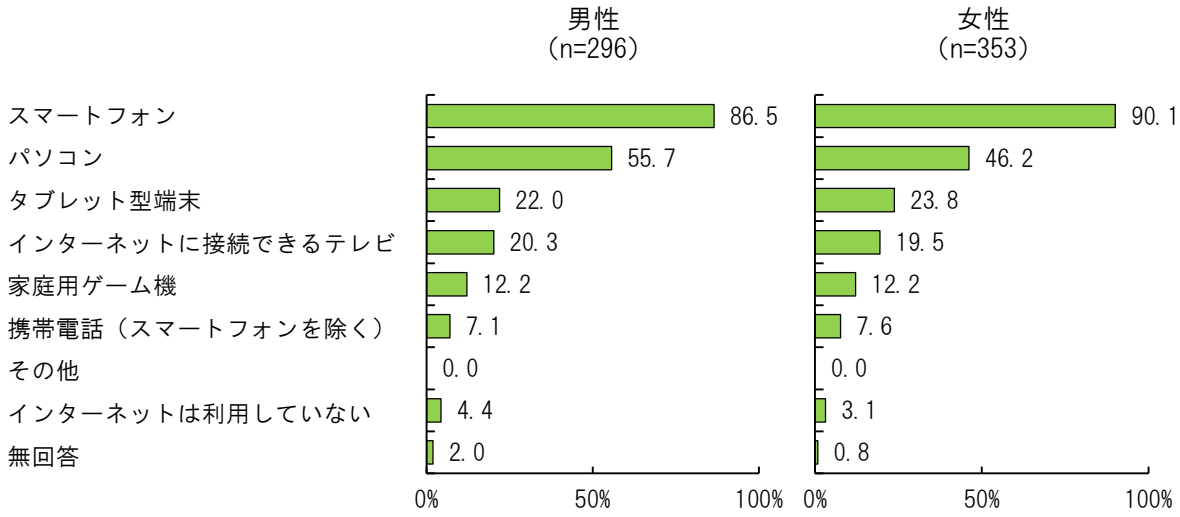
（20）個人でインターネットを利用している端末

問20　あなたが現在、個人でインターネットを利用している端末は何ですか？あてはまるもの全てに〇印をつけてください。



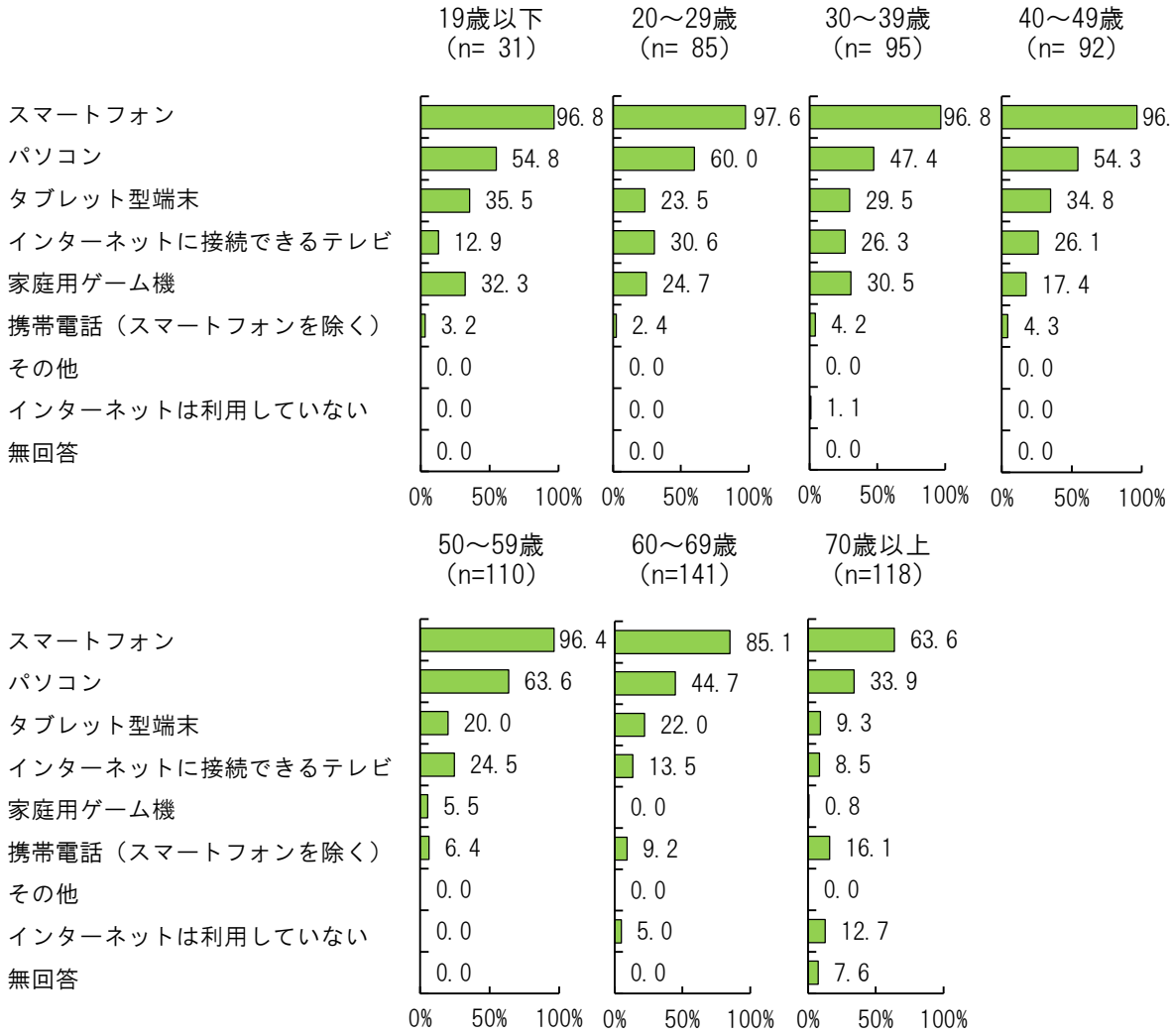
個人でインターネットを利用している端末は、「スマートフォン」が 88.3%と最も多く、次いで「パソコン」が 49.8%、「タブレット型端末」が 23.1%などとなっています。
昨年度と比較すると、「スマートフォン」が 8.5 ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「パソコン」が 55.7%と女性より多くなっています。

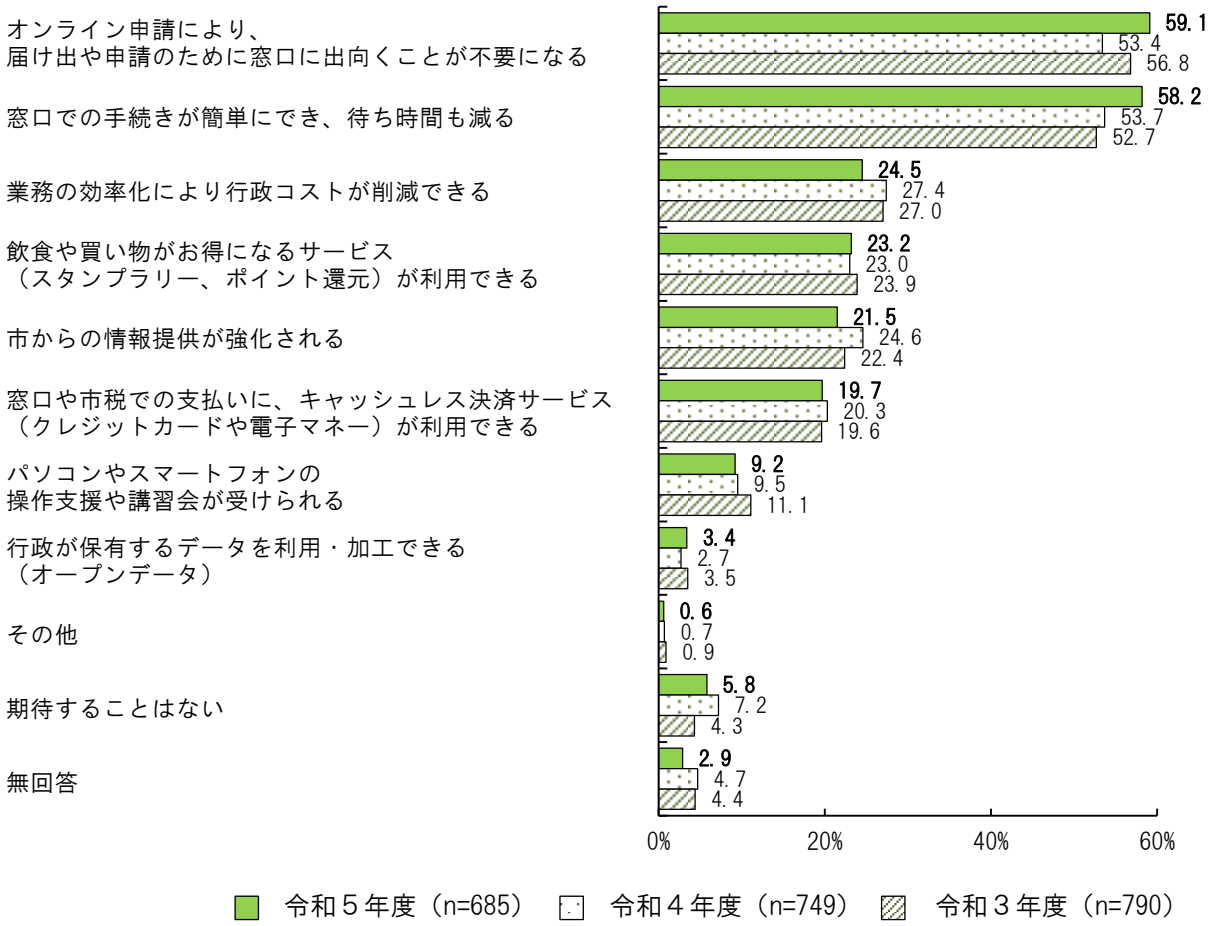
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：70 歳以上は「携帯電話（スマートフォンを除く）」「インターネットは利用していない」が他の年代に比べて多く、「スマートフォン」「パソコン」「タブレット型端末」が少なくなっています。

(21) デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること

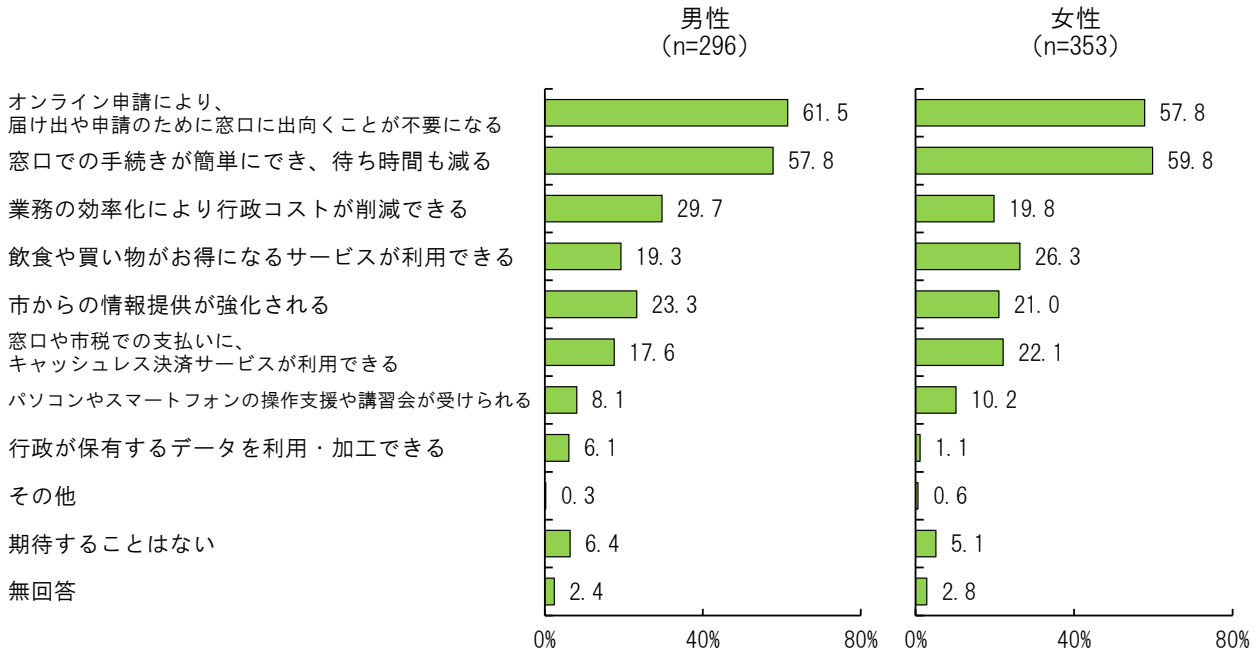
問 21　デジタル技術の導入によって、どのような行政サービスの利便性向上に期待しますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。



デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待することは、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が 59.1%と最も多く、次いで「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が 58.2%、「業務の効率化により行政コストが削減できる」が 24.5%などとなっています。

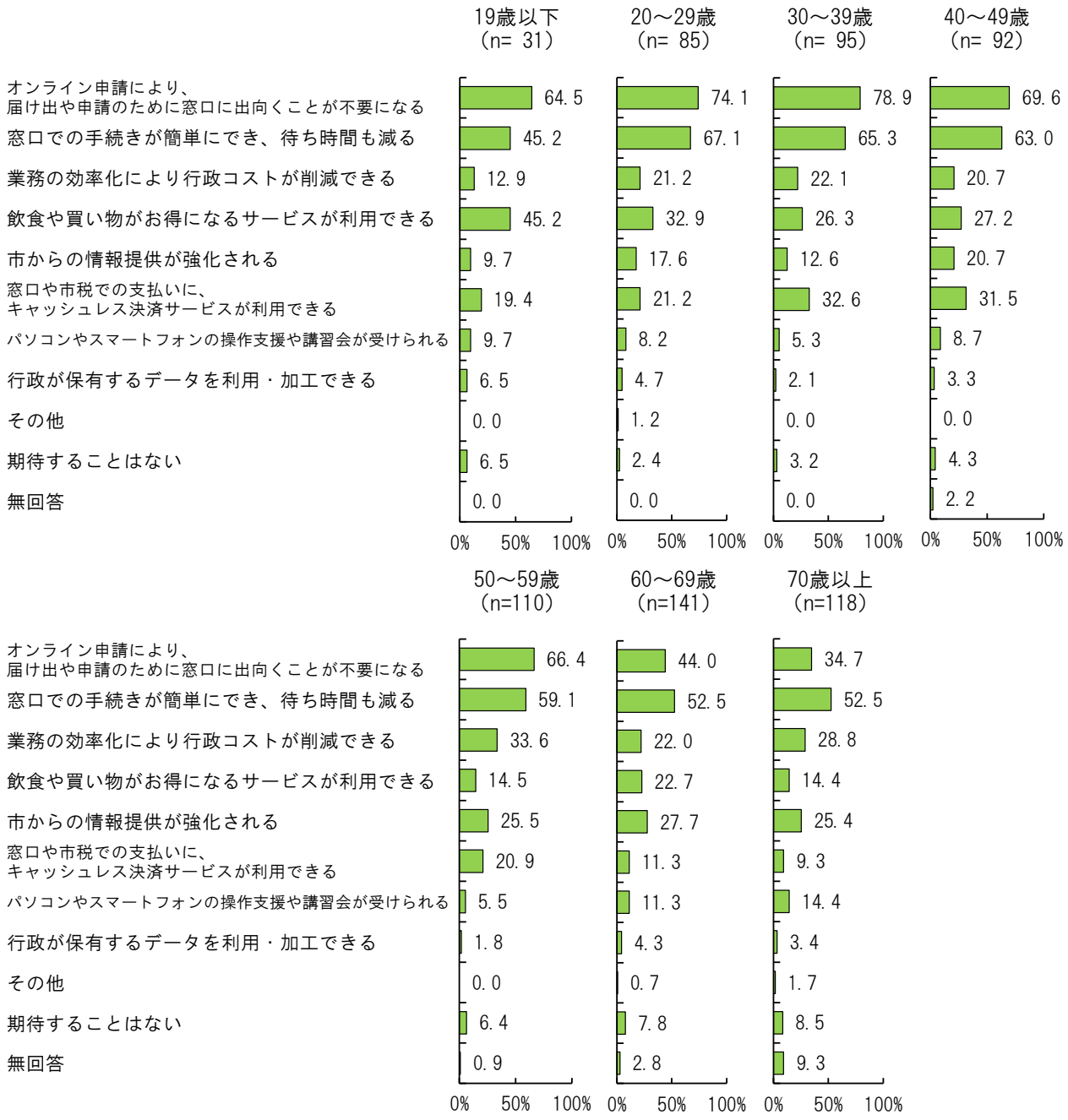
昨年度と比較すると、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が 5.7 ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「業務の効率化により行政コストが削減できる」「行政が保有するデータを利用・加工できる（オープンデータ）」が女性より多くなっています。女性は「飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる」が 26.3%と男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

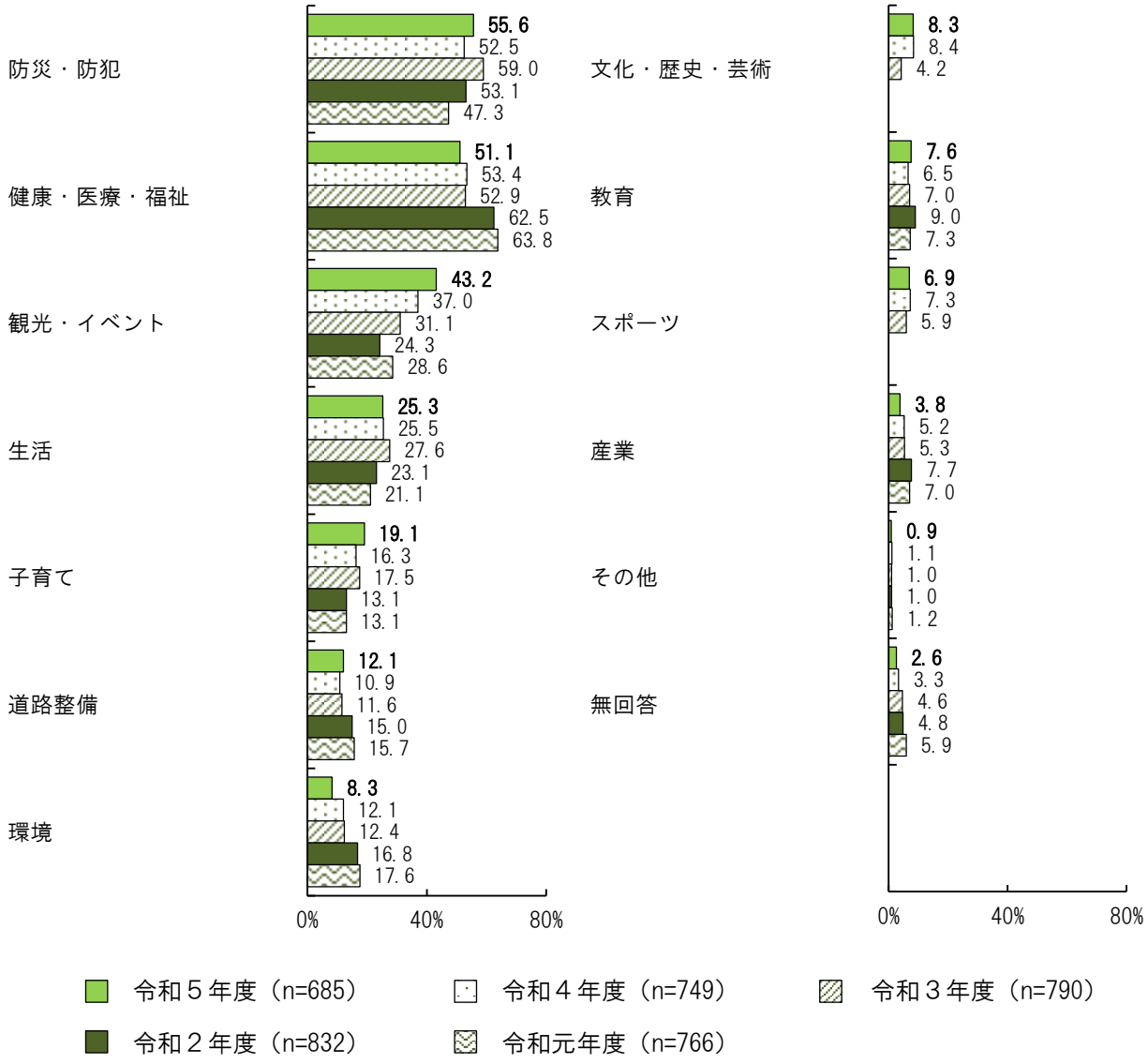


【年齢別】：19 歳以下は「飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる」が 45.2%と他の年代に比べて多く、「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」「業務の効率化により行政コストが削減できる」が少なくなっています。70 歳以上は「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が 34.7%と少なくなっています。

⑩市からの情報発信について

(22) 市から得たい情報

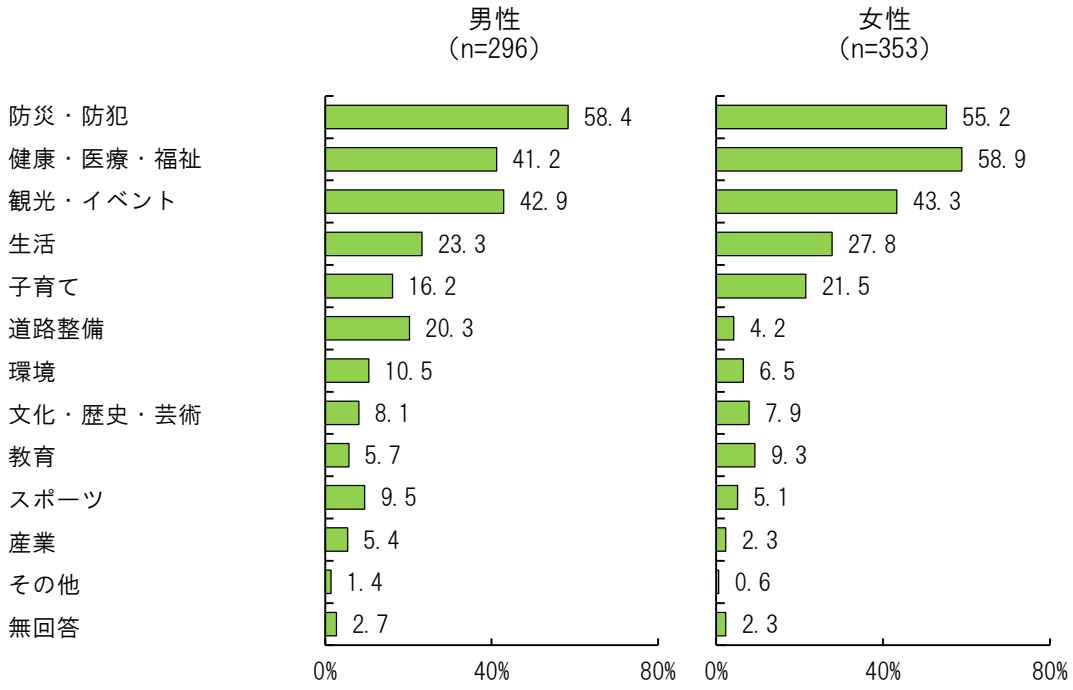
問 22　あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。



※「スポーツ」「文化・歴史・芸術」は、令和３年度は「スポーツ」「文化・歴史」、令和２年度以前は「スポーツ・文化・歴史」と掲載していました。

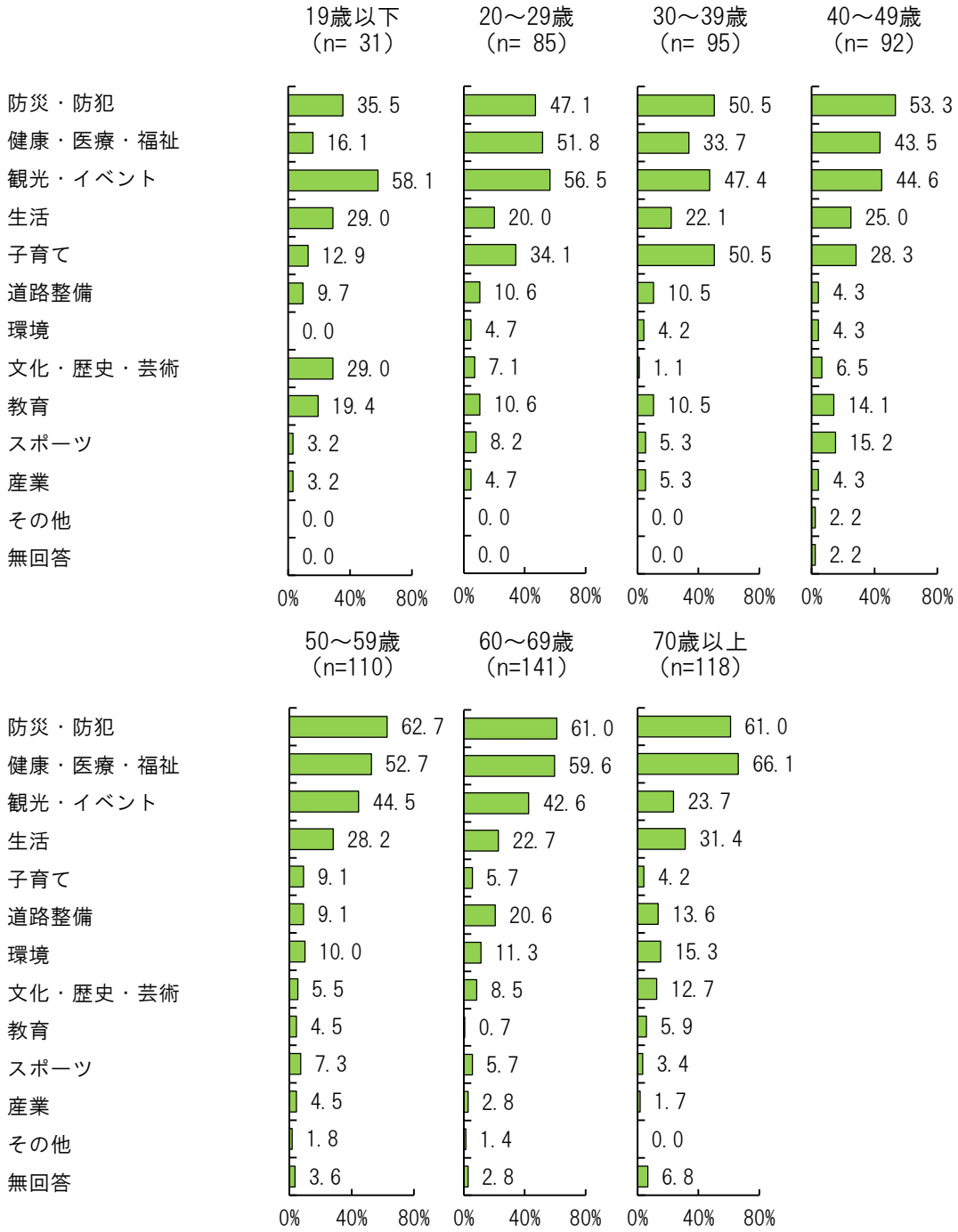
市から得たい情報は、「防災・防犯」が 55.6%と最も多く、次いで「健康・医療・福祉」が 51.1%、「観光・イベント」が 43.2%などとなっています。
昨年度と比較すると、「観光・イベント」が 6.2 ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「道路整備」が 20.3%と女性より多くなっています。女性は「健康・医療・福祉」「子育て」が男性より多くなっています。

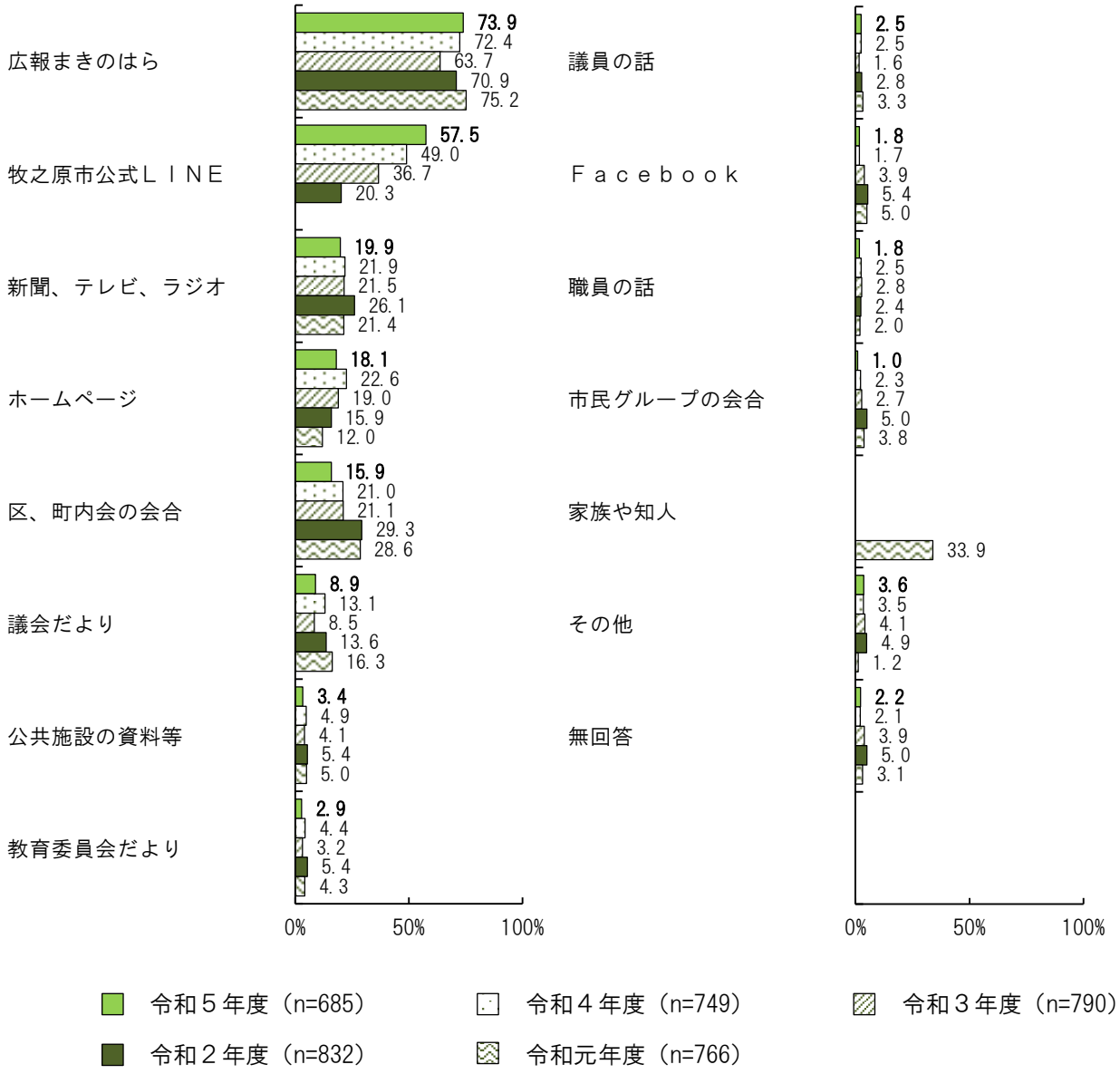
クロス集計（年齢別）



【年齢別】: 19 歳以下は「文化・歴史・芸術」「教育」が他の年代に比べて多く、「防災・防犯」「健康・医療・福祉」が少なくなっています。30～39 歳は「子育て」が 50.5%と多くなっています。また、40～49 歳は「スポーツ」が 15.2%と多くなっています。60～69 歳は「道路整備」が 20.6%と多くなっています。さらに、70 歳以上は「健康・医療・福祉」が 66.1%と多く、「観光・イベント」が 23.7%と少なくなっています。

(23) 市からの情報を得る媒体

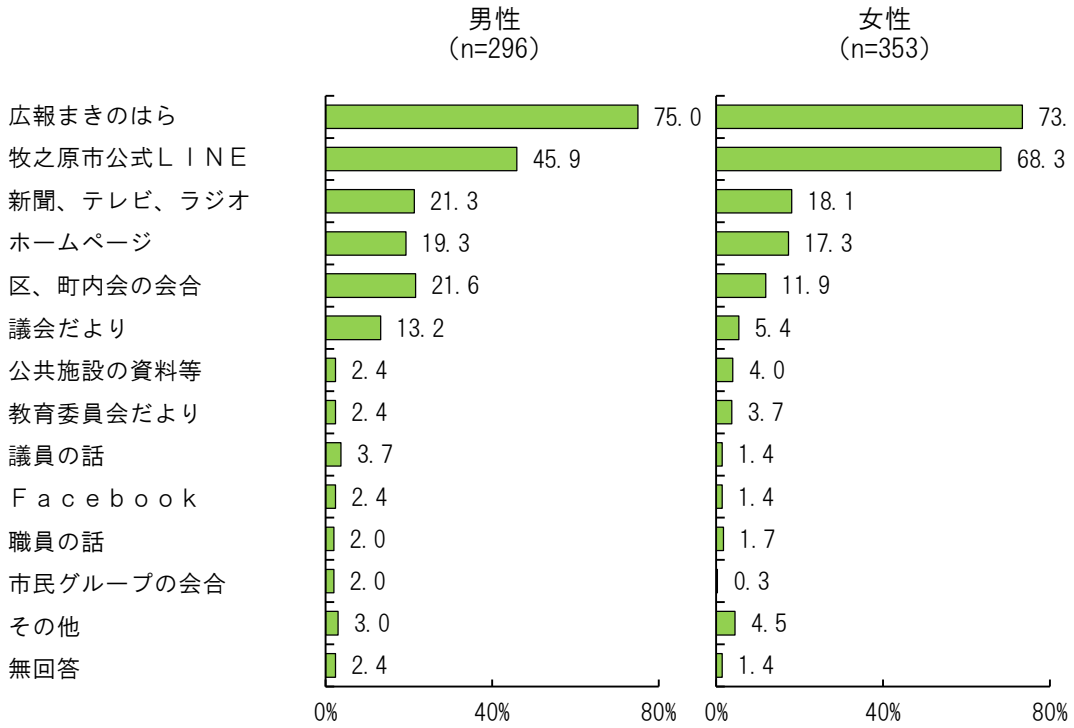
問 23　あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



※「牧之原市公式ＬＩＮＥ」は令和２年度に追加された選択肢です。また、「家族や知人」は、令和元年度以前の選択肢です。

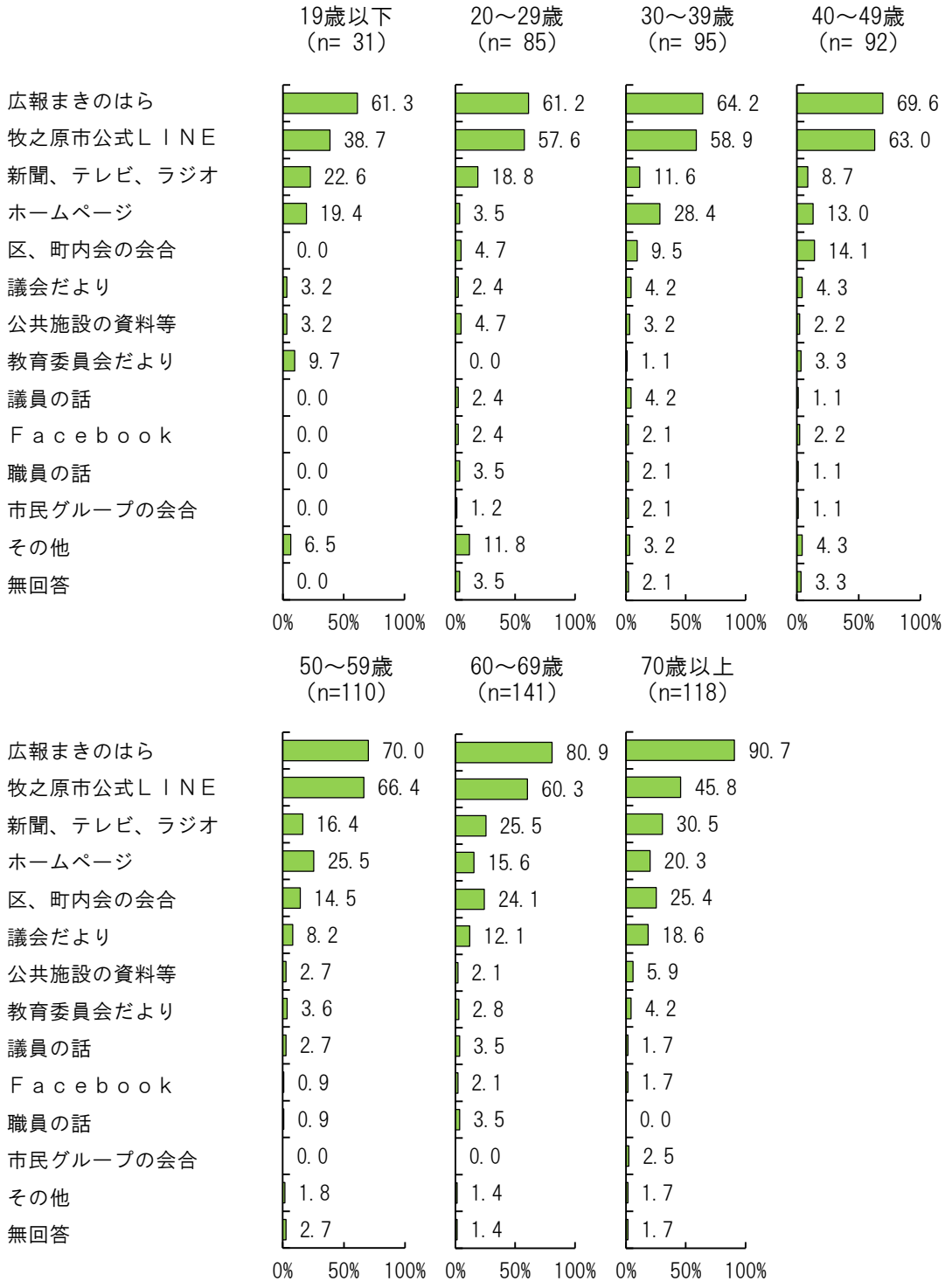
市からの情報を得る媒体は、「広報まきのはら」が 73.9%と最も多く、次いで「牧之原市公式ＬＩＮＥ」が 57.5%、「新聞、テレビ、ラジオ」が 19.9%などとなっています。
昨年度と比較すると、「牧之原市公式ＬＩＮＥ」が 8.5 ポイント増加し、「区、町内会の会合」が 5.1 ポイント減少しています。

クロス集計（性別）



【性　別】：男性は「区、町内会の会合」「議会だより」が女性より多くなっています。女性は「牧之原市公式ＬＩＮＥ」が 68.3%と男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19 歳以下は「教育委員会だより」が 9.7%と他の年代に比べて多く、「牧之原市公式ＬＩＮＥ」が 38.7%と少なくなっています。20～29 歳は「ホームページ」が 3.5%と少なくなっています。また、70 歳以上は「広報まきのはら」「新聞、テレビ、ラジオ」「議会だより」が多くなっています。

⑪牧之原市の行政サービスについて

(24) 満足度・重要度について

問 24　あなたは、市の取組について満足していますか？また、その取組が重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

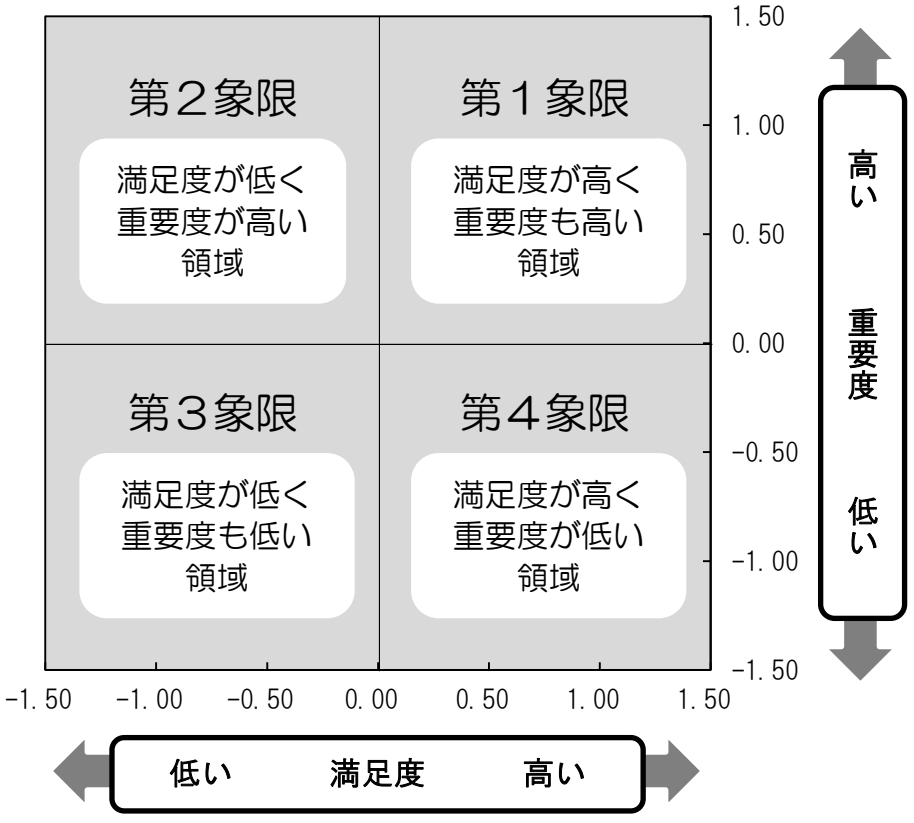
（満足度・重要度について、○はそれぞれ１つずつ）

≪評価点の算出方法≫

「満足」、「高い」と回答した人を＋２点、「やや満足」、「やや高い」と回答した人を＋１点、「やや不満」、「やや低い」と回答した人を－１点、「不満」、「低い」と回答した人を－２点として算出した値を、回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割って算出しています。評価点は、プラスの大きい項目は評価が高く、マイナスの大きいものは評価が低いことを表しています。

また、各取組について満足度・重要度の評価点を散布図にて表した場合、下記のように４つの象限に評価をみることができます。

満足度	重要度	点数
「満足」	「高い」	＋２点
「やや満足」	「やや高い」	＋１点
「やや不満」	「やや低い」	－１点
「不満」	「低い」	－２点
「無回答」	「無回答」	点数加算なし・回答者数にも含まない

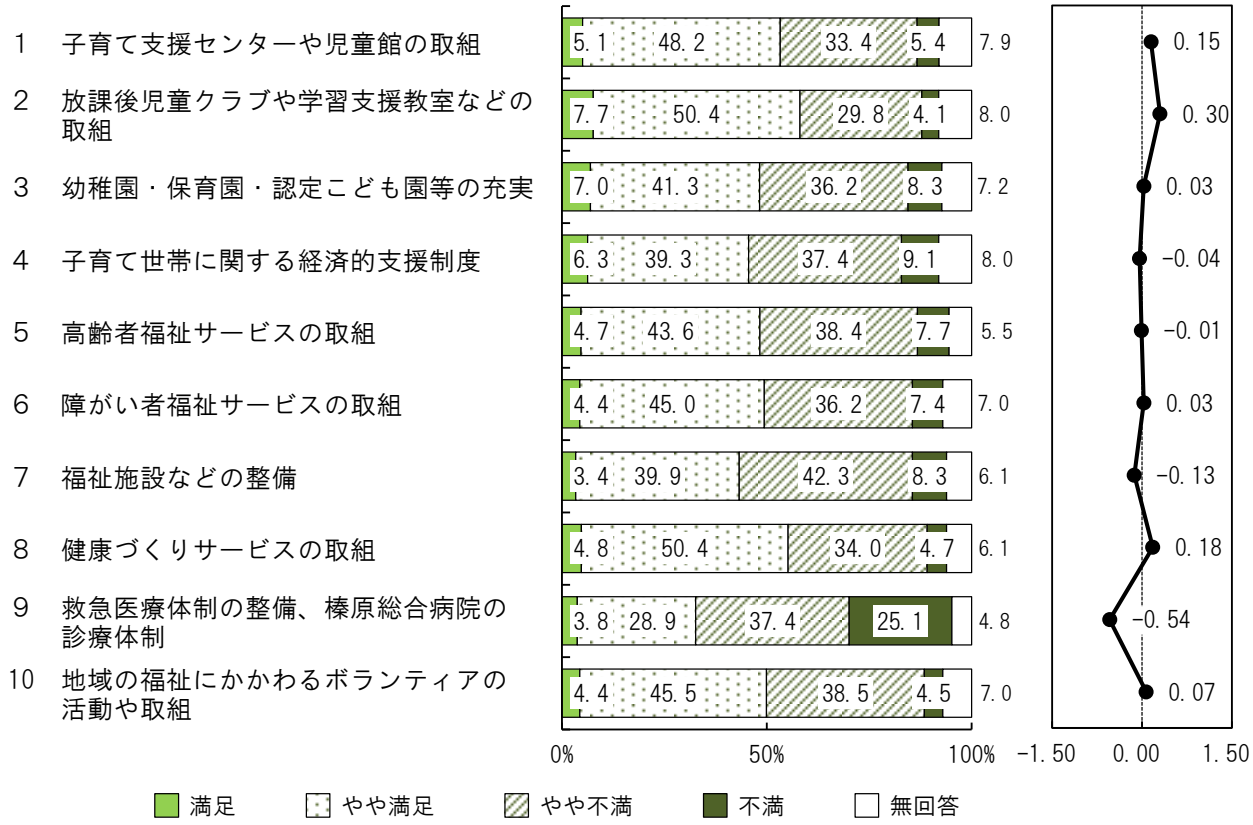


（25）満足度・重要度【健康福祉】

【健康福祉】支え合い、活き活きと暮らせる地域と人づくり

≪満足度≫

令和５年度（n=685）



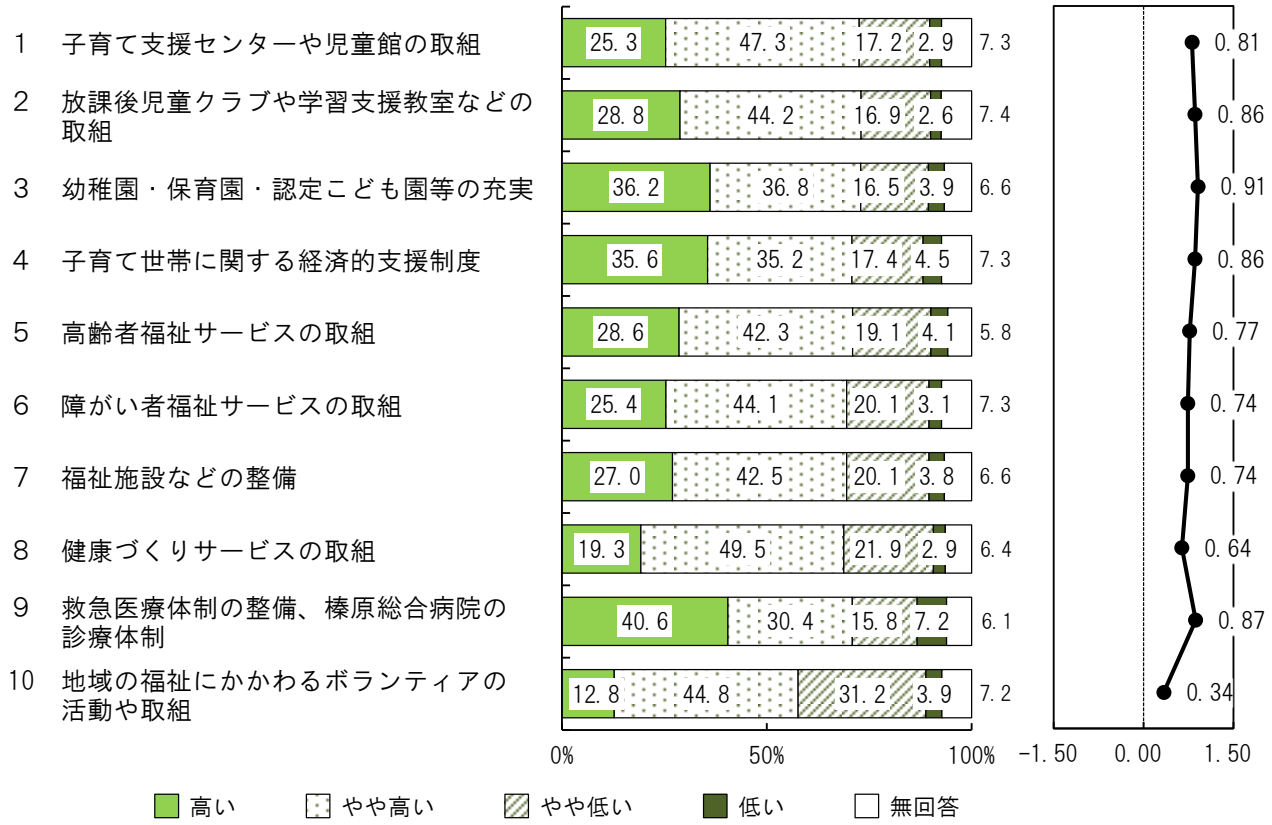
満足度が最も高い項目は、≪２　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組≫で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が 58.1%、評価点が 0.30 点となっています。次に満足度が高い項目は、≪８　健康づくりサービスの取組≫（0.18 点）、≪１　子育て支援センターや児童館の取組≫（0.15 点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、≪９　救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制≫で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が 62.5%、評価点が-0.54 点となっています。次に満足度が低い項目は、≪７　福祉施設などの整備≫（-0.13 点）、≪４　子育て世帯に関する経済的支援制度≫（-0.04 点）などとなっています。

【健康福祉】支え合い、活き活きと暮らせる地域と人づくり

≪重要度≫

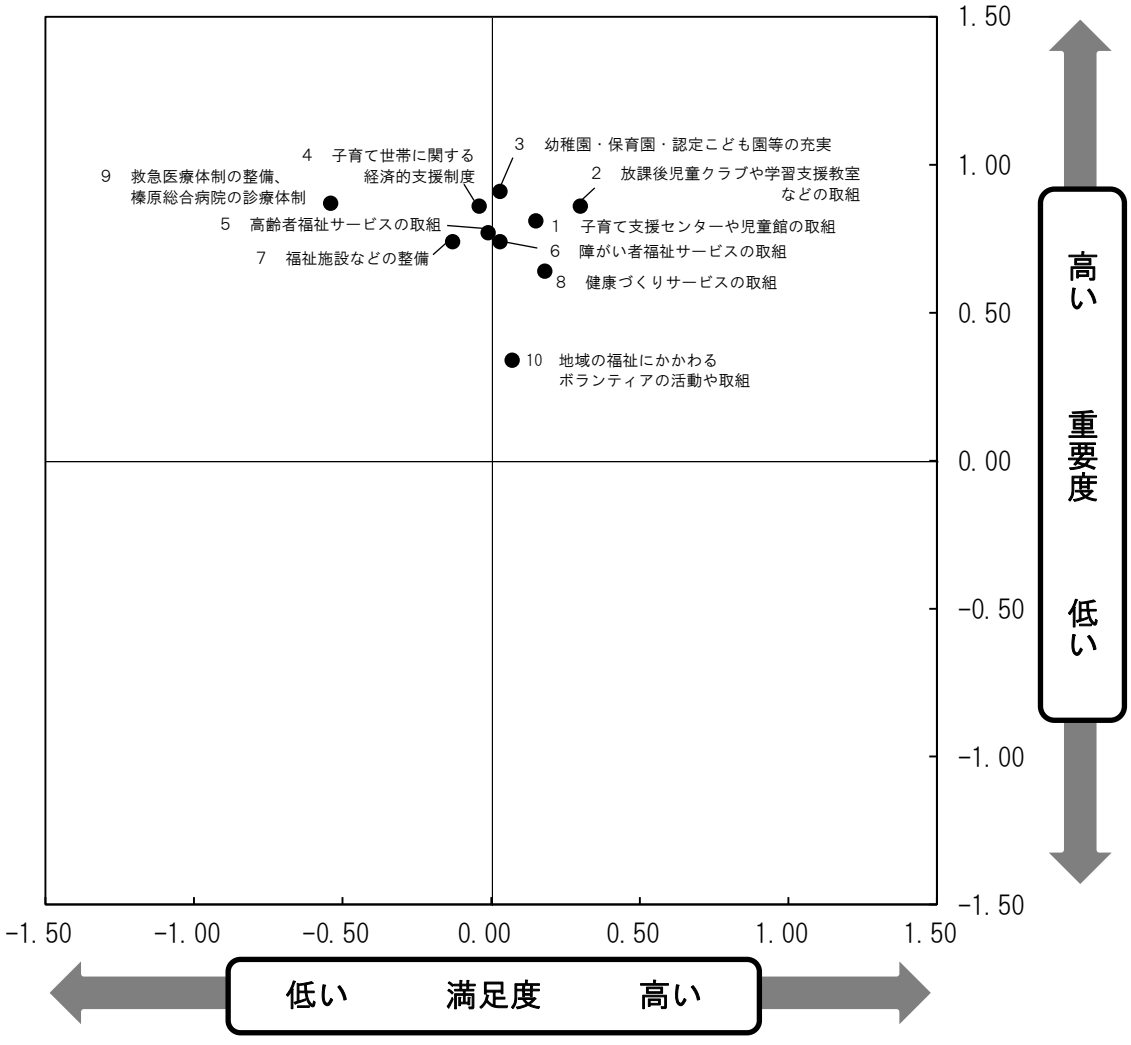
令和５年度（n=685）



重要度が最も高い項目は、≪３　幼稚園・保育園・認定こども園等の充実≫で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が 73.0%、評価点が 0.91 点となっています。次に重要度が高い項目は、≪９　救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制≫（0.87 点）、≪２　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組≫≪４　子育て世帯に関する経済的支援制度≫（ともに 0.86 点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、≪10　地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組≫で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が 35.2%、評価点が 0.34 点となっています。次に重要度が低い項目は、≪８　健康づくりサービスの取組≫（0.64 点）、≪６　障がい者福祉サービスの取組≫≪７　福祉施設などの整備≫（ともに 0.74 点）などとなっています。

【健康福祉】支え合い、活き活きと暮らせる地域と人づくり	満足度	重要度
1　子育て支援センターや児童館の取組	0.15	0.81
2　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組	0.30	0.86
3　幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	0.03	0.91
4　子育て世帯に関する経済的支援制度	-0.04	0.86
5　高齢者福祉サービスの取組	-0.01	0.77
6　障がい者福祉サービスの取組	0.03	0.74
7　福祉施設などの整備	-0.13	0.74
8　健康づくりサービスの取組	0.18	0.64
9　救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.54	0.87
10　地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	0.07	0.34



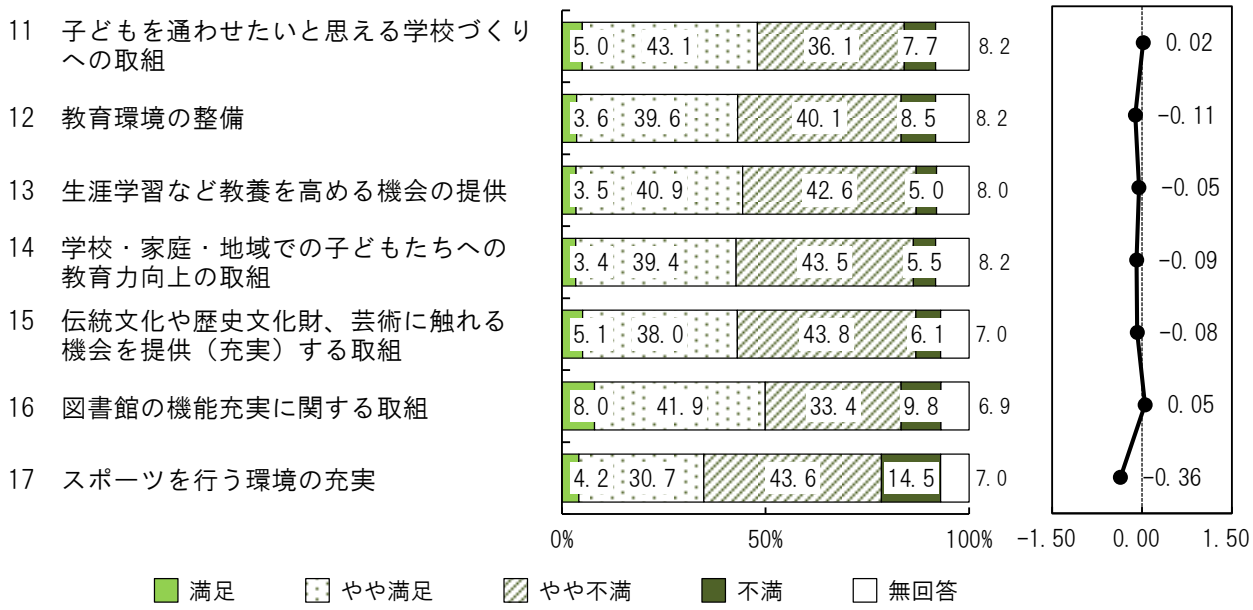
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、≪２　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組≫は満足度が最も高くなっています。一方で、≪９　救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制≫は重要度が２番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

（26）満足度・重要度【教育文化】

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

≪満足度≫

令和５年度（n=685）



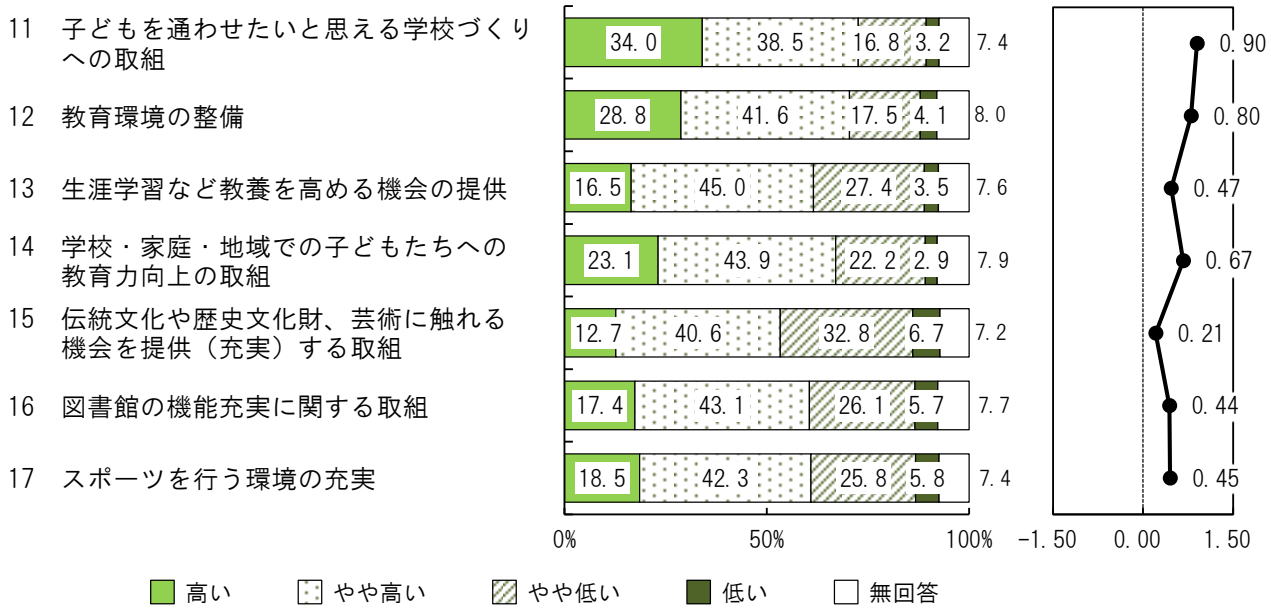
満足度が最も高い項目は、≪16　図書館の機能充実に関する取組≫で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が 49.9%、評価点が 0.05 点となっています。次に満足度が高い項目は、≪11　子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組≫（0.02 点）、≪13　生涯学習など教養を高める機会の提供≫（-0.05 点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、≪17　スポーツを行う環境の充実≫で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が 58.1%、評価点が-0.36 点となっています。次に満足度が低い項目は、≪12　教育環境の整備≫（-0.11 点）、≪14　学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組≫（-0.09 点）などとなっています。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

≪重要度≫

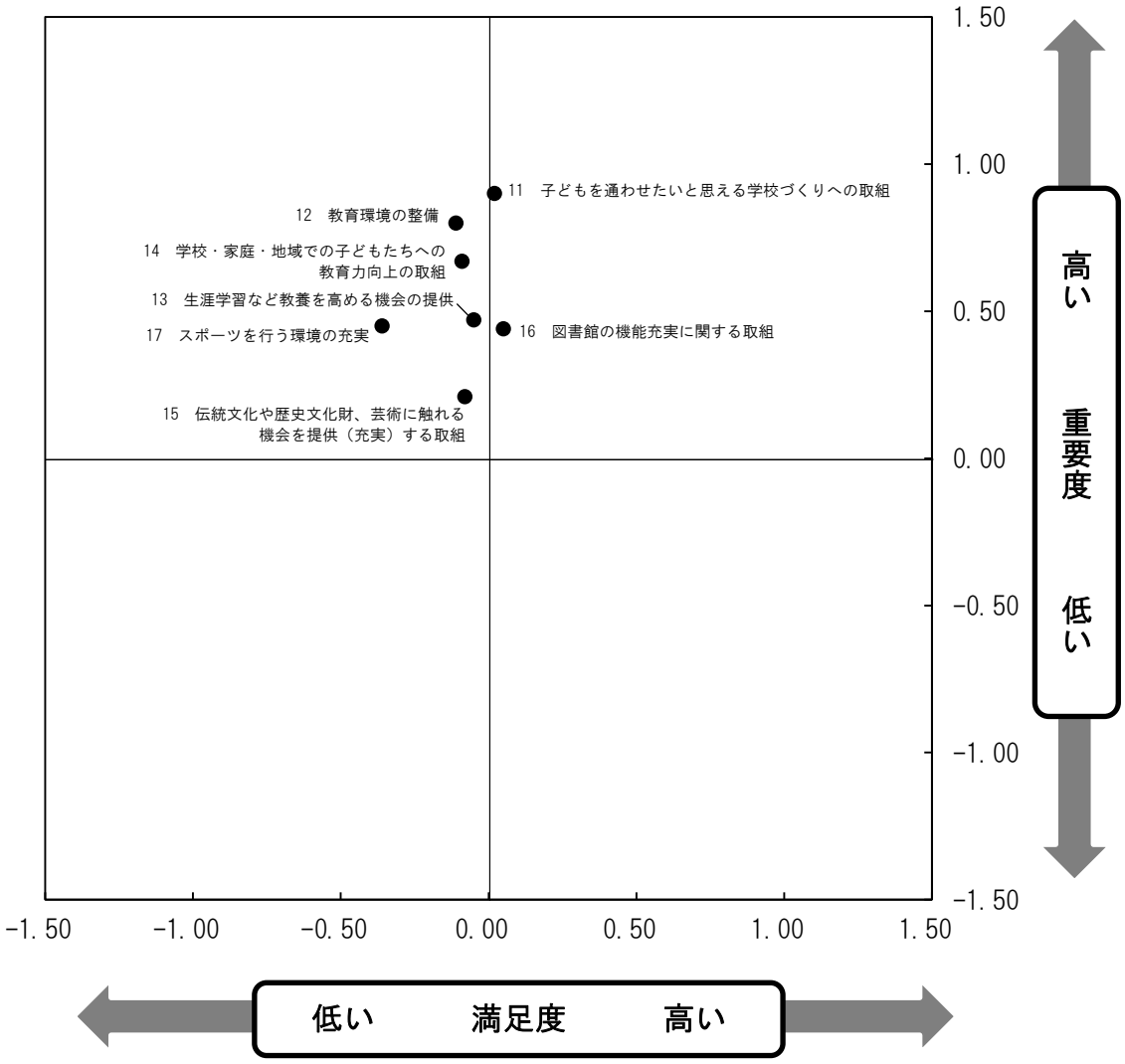
令和５年度（n=685）



重要度が最も高い項目は、≪11　子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組≫で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が 72.6%、評価点が 0.90 点となっています。次に重要度が高い項目は、≪12　教育環境の整備≫（0.80 点）、≪14　学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組≫（0.67 点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、≪15　伝統文化や歴史文化財、芸術に触れる機会を提供（充実）する取組≫で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が 39.6%、評価点が 0.21 点となっています。次に重要度が低い項目は、≪16　図書館の機能充実に関する取組≫（0.44 点）、≪17　スポーツを行う環境の充実≫（0.45 点）などとなっています。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり	満足度	重要度
11　子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	0.02	0.90
12　教育環境の整備	-0.11	0.80
13　生涯学習など教養を高める機会の提供	-0.05	0.47
14　学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	-0.09	0.67
15　伝統文化や歴史文化財、芸術に触れる機会を提供（充実）する取組	-0.08	0.21
16　図書館の機能充実に関する取組	0.05	0.44
17　スポーツを行う環境の充実	-0.36	0.45



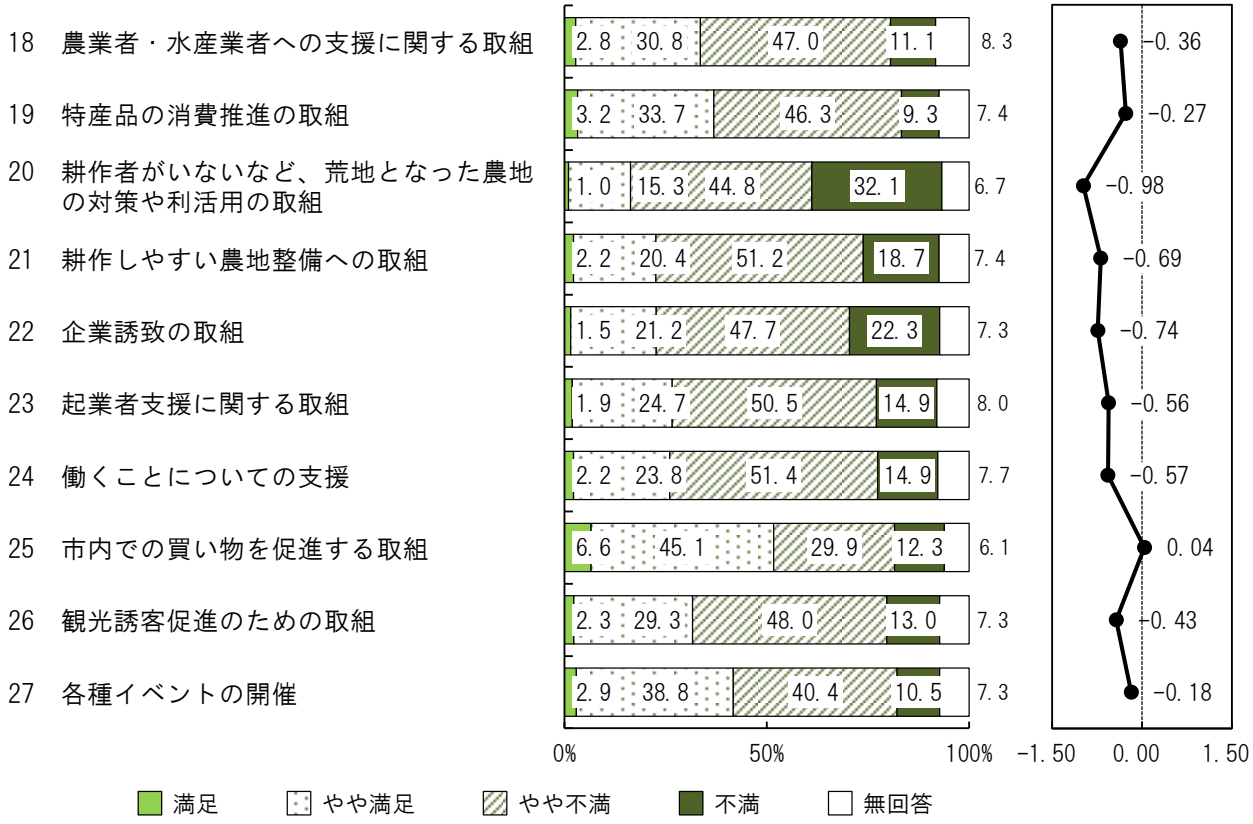
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、≪16　図書館の機能充実に関する取組≫は満足度が最も高くなっています。一方で、≪17　スポーツを行う環境の充実≫は満足度が最も低く、重要度も３番目に低くなっています。

(27) 満足度・重要度【産業経済】

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

≪満足度≫

令和５年度（n=685）



満足度が最も高い項目は、≪25　市内での買い物を促進する取組≫で、『満足』(「満足」＋「やや満足」) が 51.7%、評価点が 0.04 点となっています。次に満足度が高い項目は、≪27　各種イベントの開催≫ (-0.18 点)、≪19　特産品の消費推進の取組≫ (-0.27 点) などとなっています。

満足度が最も低い項目は、≪20　耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組≫で、『不満』(「やや不満」＋「不満」) が 76.9%、評価点が-0.98 点となっています。次に満足度が低い項目は、≪22　企業誘致の取組≫ (-0.74 点)、≪21　耕作しやすい農地整備への取組≫ (-0.69 点) などとなっています。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

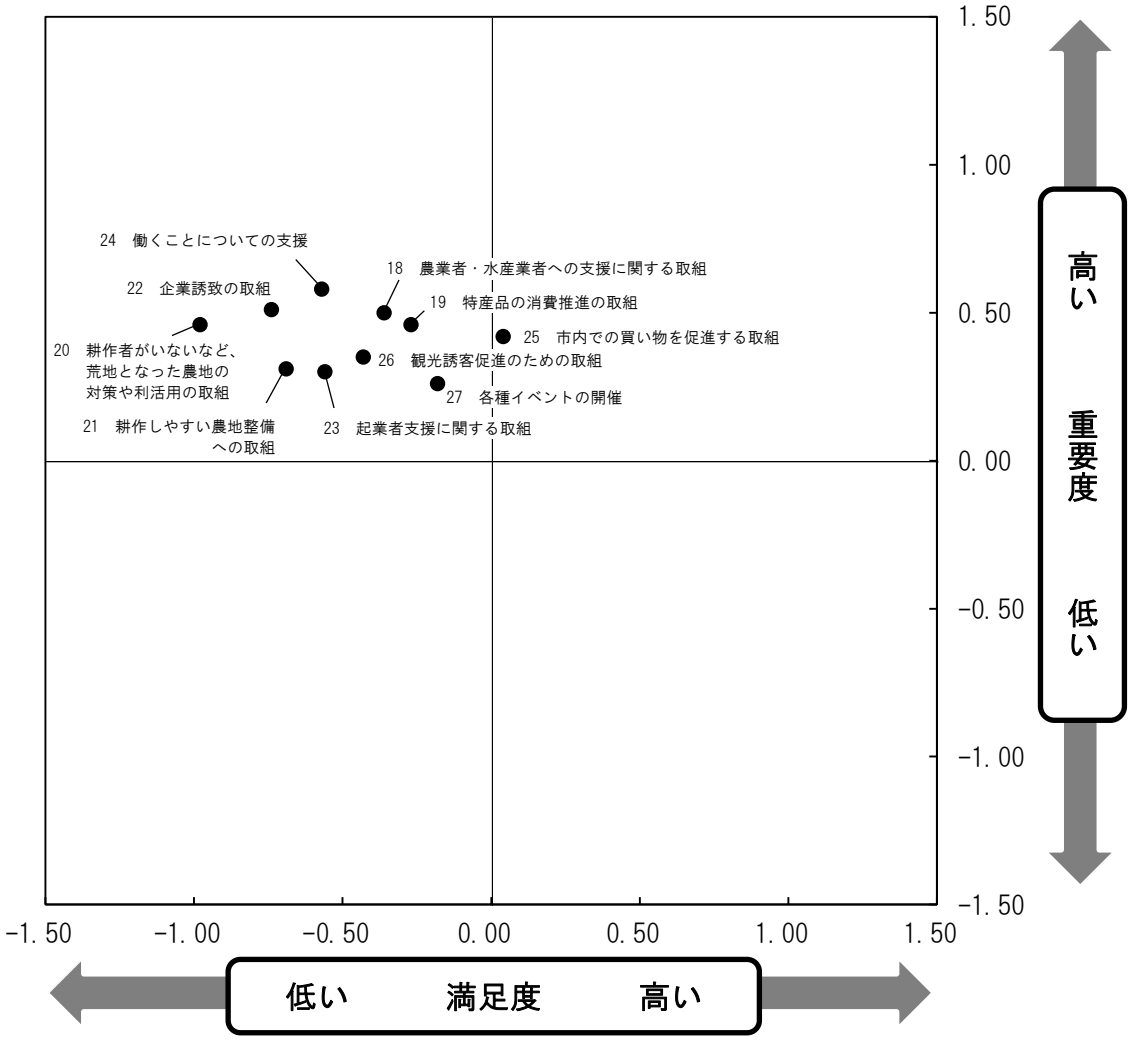
≪重要度≫

令和５年度（n=685）

重要度が最も高い項目は、≪24　働くことについての支援≫で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が 62.9%、評価点が 0.58 点となっています。次に重要度が高い項目は、≪22　企業誘致の取組≫（0.51 点）、≪18　農業者・水産業者への支援に関する取組≫（0.50 点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、≪27　各種イベントの開催≫で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が 36.6%、評価点が 0.26 点となっています。次に重要度が低い項目は、≪23　起業者支援に関する取組≫（0.30 点）、≪21　耕作しやすい農地整備への取組≫（0.31 点）などとなっています。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり	満足度	重要度
18　農業者・水産業者への支援に関する取組	-0.36	0.50
19　特産品の消費推進の取組	-0.27	0.46
20　耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組	-0.98	0.46
21　耕作しやすい農地整備への取組	-0.69	0.31
22　企業誘致の取組	-0.74	0.51
23　起業者支援に関する取組	-0.56	0.30
24　働くことについての支援	-0.57	0.58
25　市内での買い物を促進する取組	0.04	0.42
26　観光誘客促進のための取組	-0.43	0.35
27　各種イベントの開催	-0.18	0.26



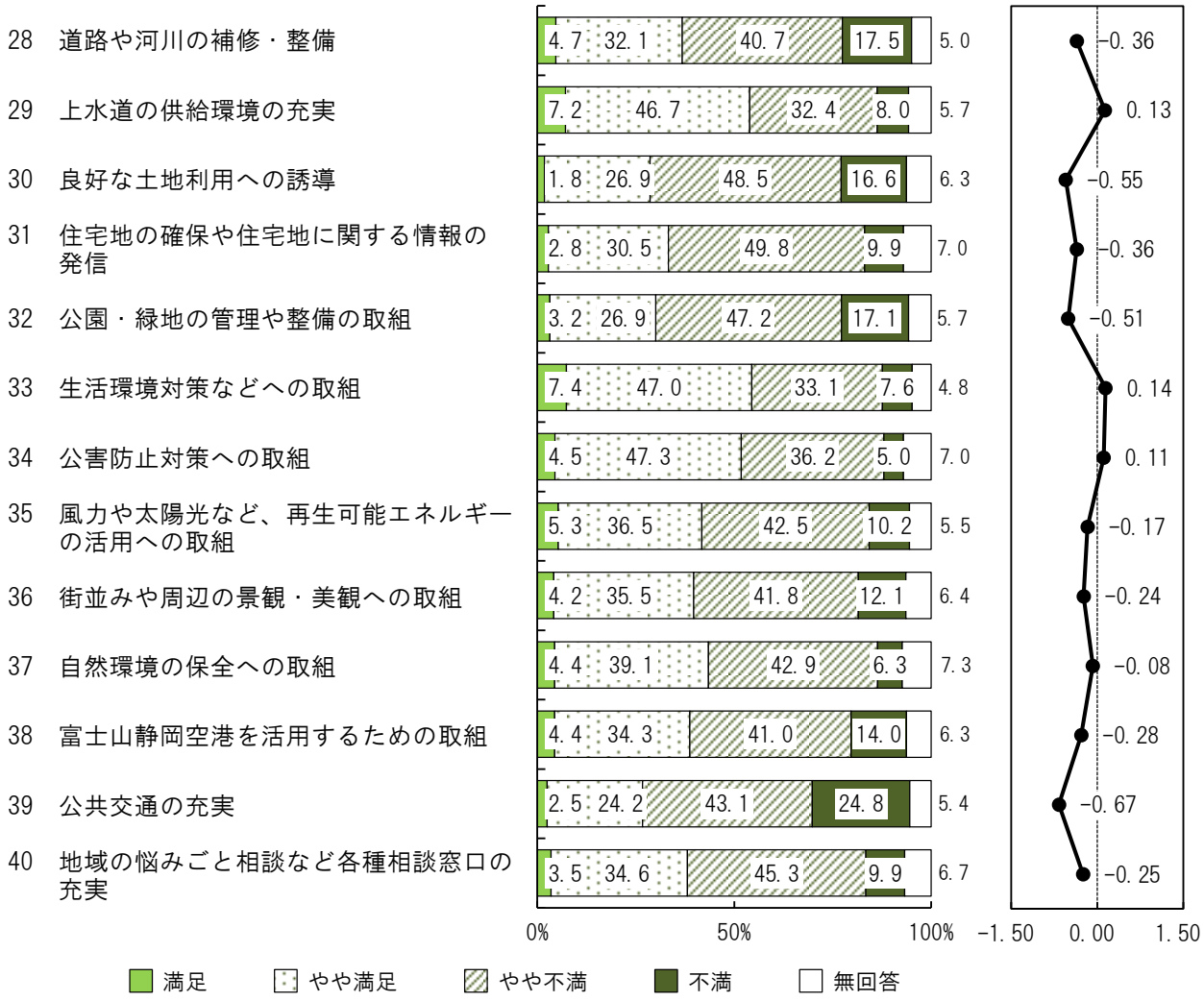
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、≪25　市内での買い物を促進する取組≫は満足度が最も高くなっており、満足度・重要度がともに高い第１象限に唯一位置しています。一方で、≪22　企業誘致の取組≫は重要度が２番目に高いものの、満足度は２番目に低くなっています。

（28）満足度・重要度【生活基盤】

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

≪満足度≫

令和５年度（n=685）



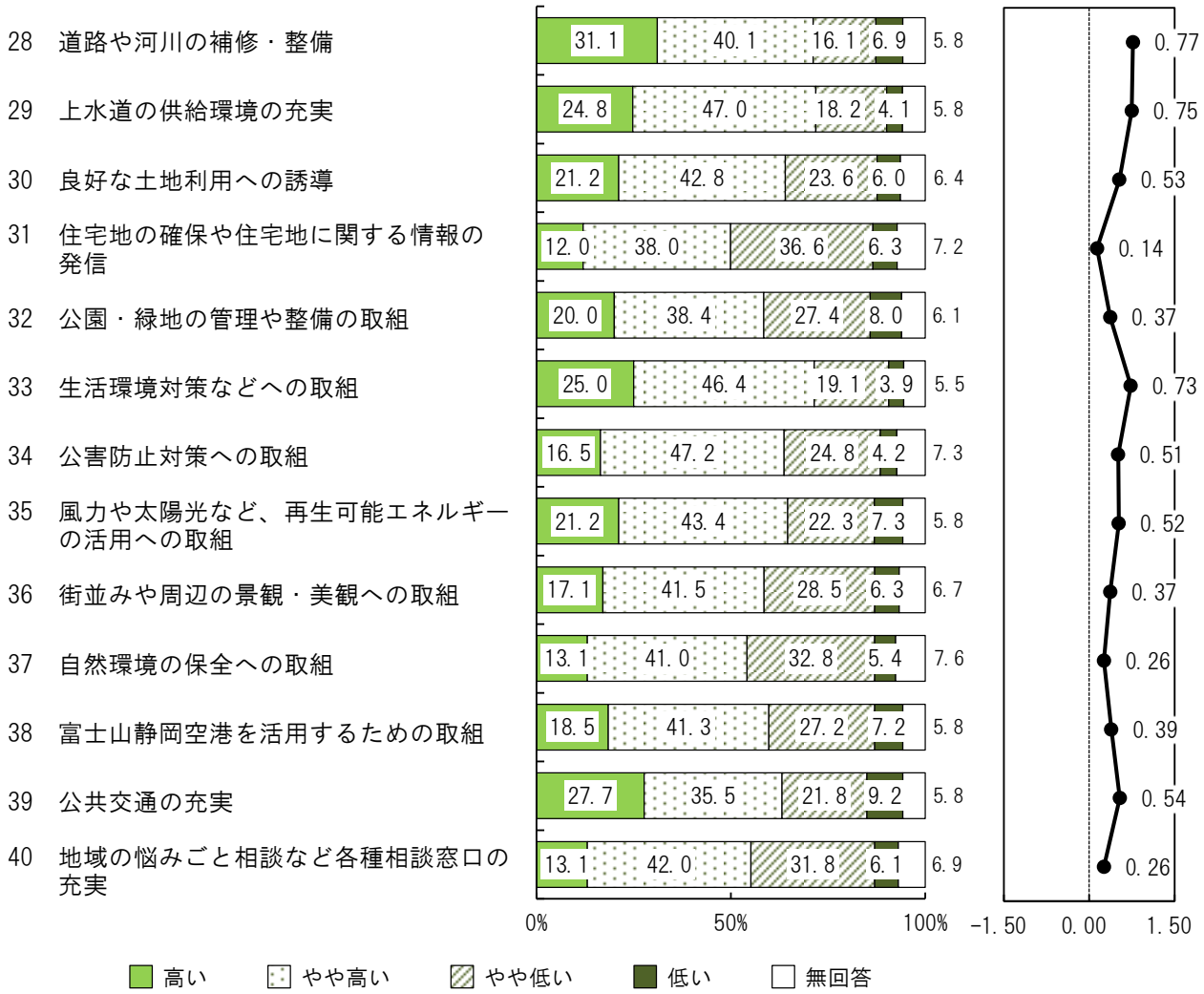
満足度が最も高い項目は、≪33　生活環境対策などへの取組≫で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が54.5%、評価点が0.14点となっています。次に満足度が高い項目は、≪29　上水道の供給環境の充実≫（0.13点）、≪34　公害防止対策への取組≫（0.11点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、≪39　公共交通の充実≫で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が67.9%、評価点が-0.67点となっています。次に満足度が低い項目は、≪30　良好な土地利用への誘導≫（-0.55点）、≪32　公園・緑地の管理や整備の取組≫（-0.51点）などとなっています。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

≪重要度≫

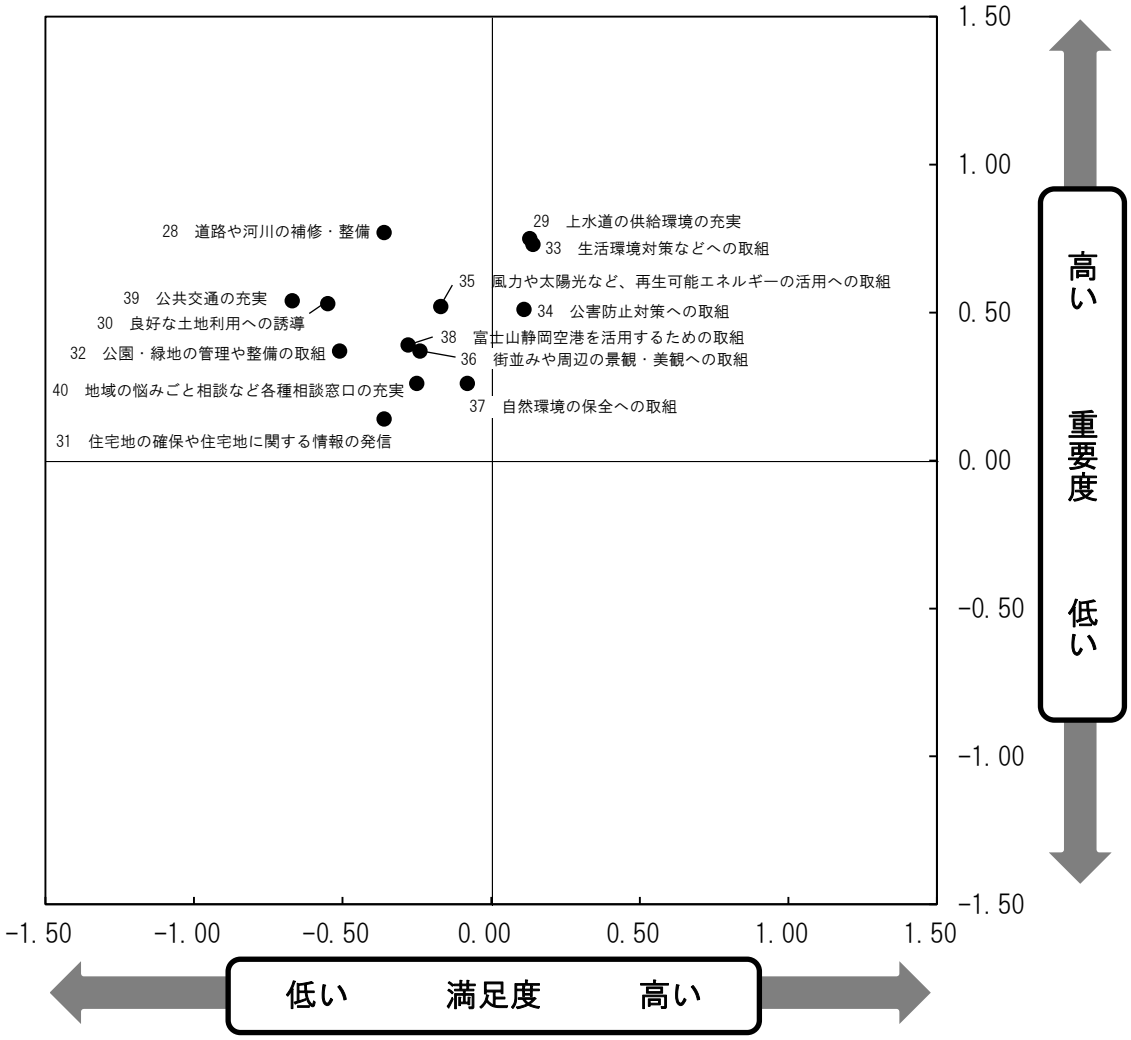
令和５年度（n=685）



重要度が最も高い項目は、≪28　道路や河川の補修・整備≫で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が 71.2%、評価点が 0.77 点となっています。次に重要度が高い項目は、≪29　上水道の供給環境の充実≫（0.75 点）、≪33　生活環境対策などへの取組≫（0.73 点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、≪31　住宅地の確保や住宅地に関する情報の発信≫で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が 42.9%、評価点が 0.14 点となっています。次に重要度が低い項目は、≪37　自然環境の保全への取組≫≪40　地域の悩みごと相談など各種相談窓口の充実≫（ともに 0.26 点）、≪32　公園・緑地の管理や整備の取組≫≪36　街並みや周辺の景観・美観への取組≫（ともに 0.37 点）などとなっています。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり	満足度	重要度
28　道路や河川の補修・整備	-0.36	0.77
29　上水道の供給環境の充実	0.13	0.75
30　良好な土地利用への誘導	-0.55	0.53
31　住宅地の確保や住宅地に関する情報の発信	-0.36	0.14
32　公園・緑地の管理や整備の取組	-0.51	0.37
33　生活環境対策などへの取組	0.14	0.73
34　公害防止対策への取組	0.11	0.51
35　風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	-0.17	0.52
36　街並みや周辺の景観・美観への取組	-0.24	0.37
37　自然環境の保全への取組	-0.08	0.26
38　富士山静岡空港を活用するための取組	-0.28	0.39
39　公共交通の充実	-0.67	0.54
40　地域の悩みごと相談など各種相談窓口の充実	-0.25	0.26



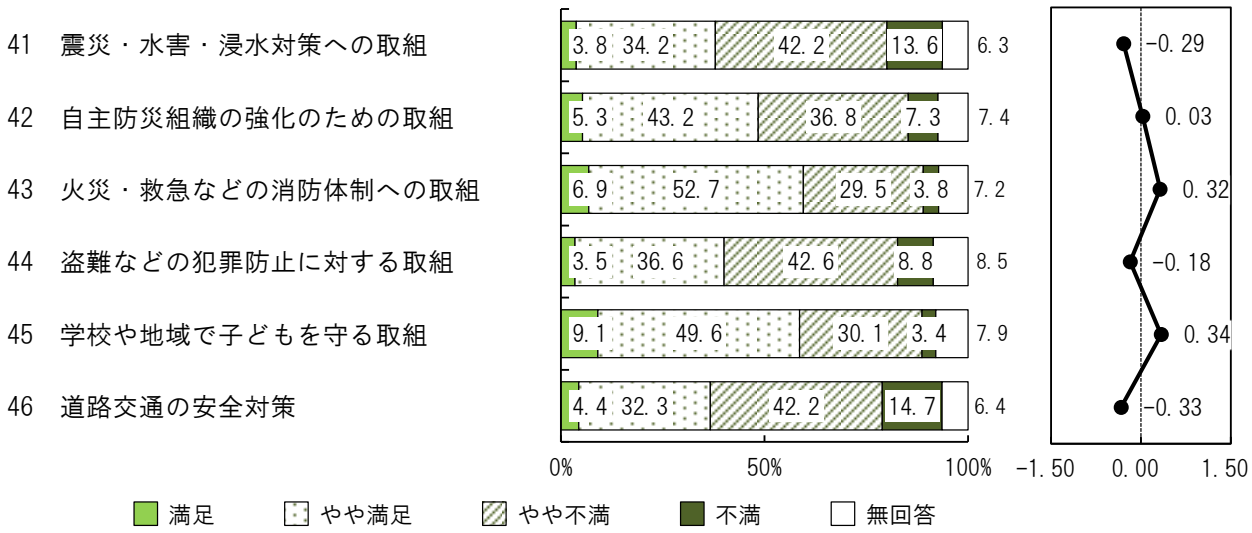
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、≪33　生活環境対策などへの取組≫は満足度が最も高くなっています。一方で、≪39　公共交通の充実≫は重要度が４番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

（29）満足度・重要度【防災】

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

≪満足度≫

令和５年度（n=685）



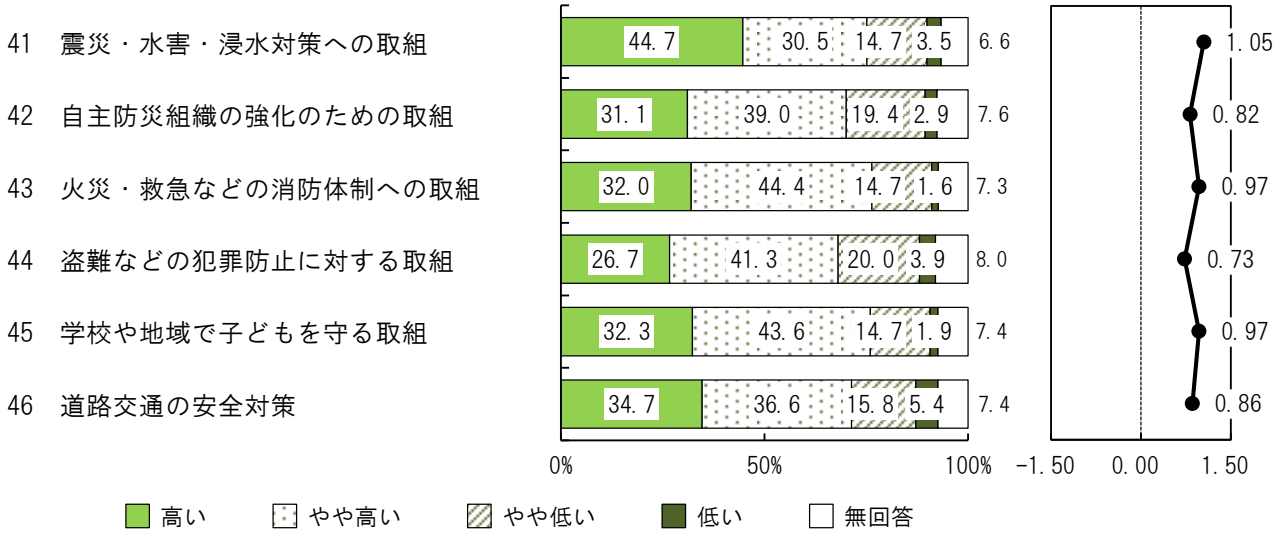
満足度が最も高い項目は、≪45　学校や地域で子どもを守る取組≫で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が 58.7%、評価点が 0.34 点となっています。次に満足度が高い項目は、≪43　火災・救急などの消防体制への取組≫（0.32 点）、≪42　自主防災組織の強化のための取組≫（0.03 点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、≪46　道路交通の安全対策≫で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が 56.9%、評価点が-0.33 点となっています。次に満足度が低い項目は、≪41　震災・水害・浸水対策への取組≫（-0.29 点）、≪44　盗難などの犯罪防止に対する取組≫（-0.18 点）などとなっています。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

≪重要度≫

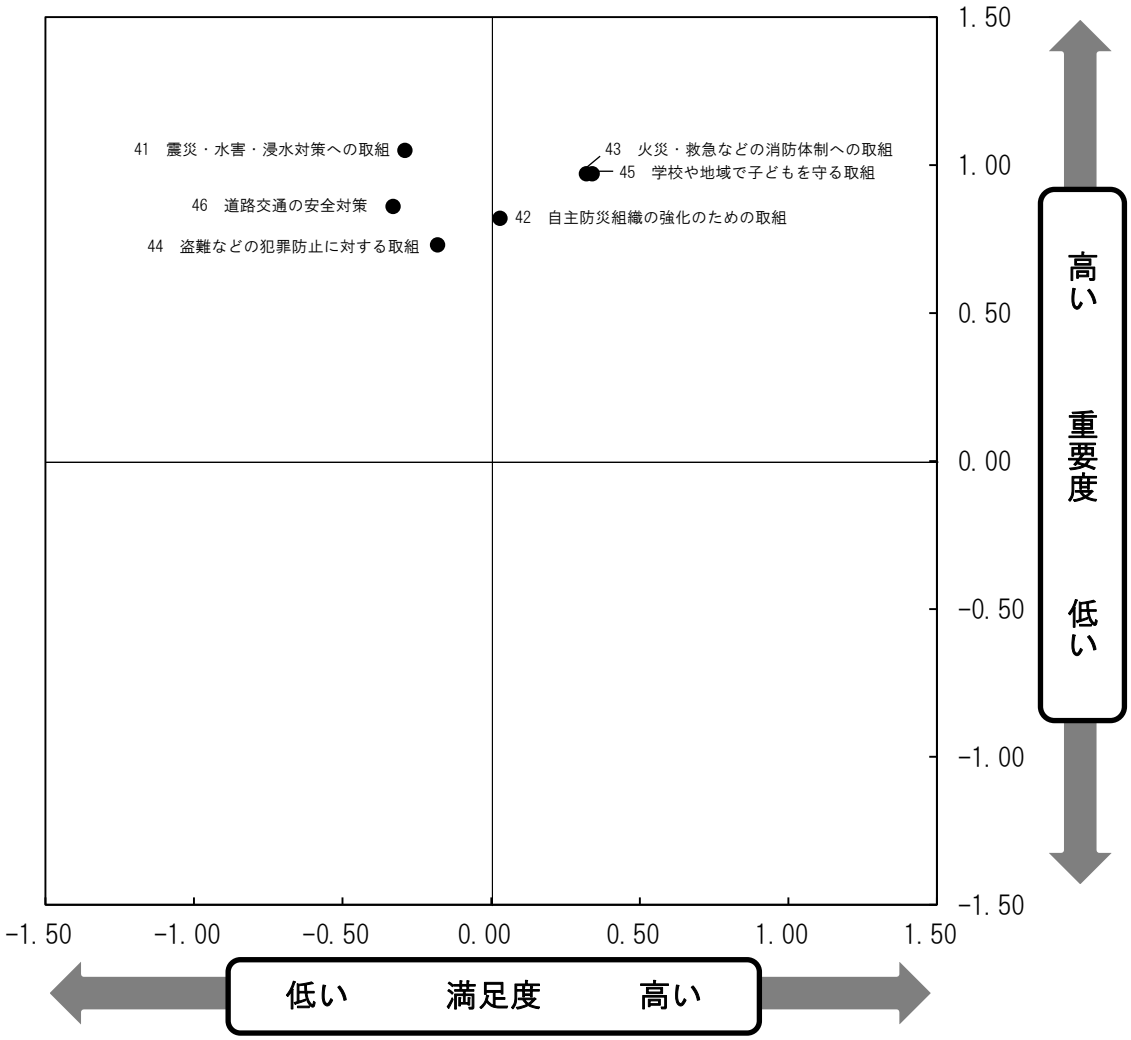
令和５年度（n=685）



重要度が最も高い項目は、≪41　震災・水害・浸水対策への取組≫で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が 75.2%、評価点が 1.05 点となっています。次に重要度が高い項目は、≪43　火災・救急などの消防体制への取組≫≪45　学校や地域で子どもを守る取組≫（ともに 0.97 点）、≪46　道路交通の安全対策≫（0.86 点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、≪44　盗難などの犯罪防止に対する取組≫で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が 23.9%、評価点が 0.73 点となっています。次に重要度が低い項目は、≪42　自主防災組織の強化のための取組≫（0.82 点）、≪46　道路交通の安全対策≫（0.86 点）などとなっています。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり	満足度	重要度
41　震災・水害・浸水対策への取組	-0.29	1.05
42　自主防災組織の強化のための取組	0.03	0.82
43　火災・救急などの消防体制への取組	0.32	0.97
44　盗難などの犯罪防止に対する取組	-0.18	0.73
45　学校や地域で子どもを守る取組	0.34	0.97
46　道路交通の安全対策	-0.33	0.86



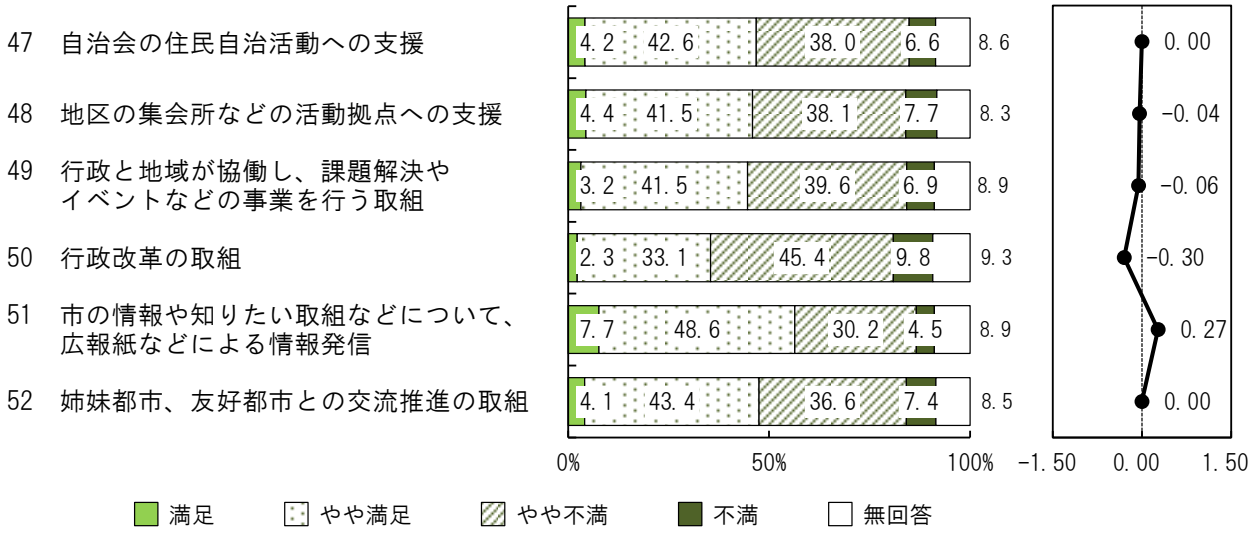
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、≪45　学校や地域で子どもを守る取組≫は満足度が最も高くなっています。一方で、≪41　震災・水害・浸水対策への取組≫は重要度が最も高いものの、満足度は２番目に低くなっています。

（30）満足度・重要度【市政経営】

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

≪満足度≫

令和５年度（n=685）



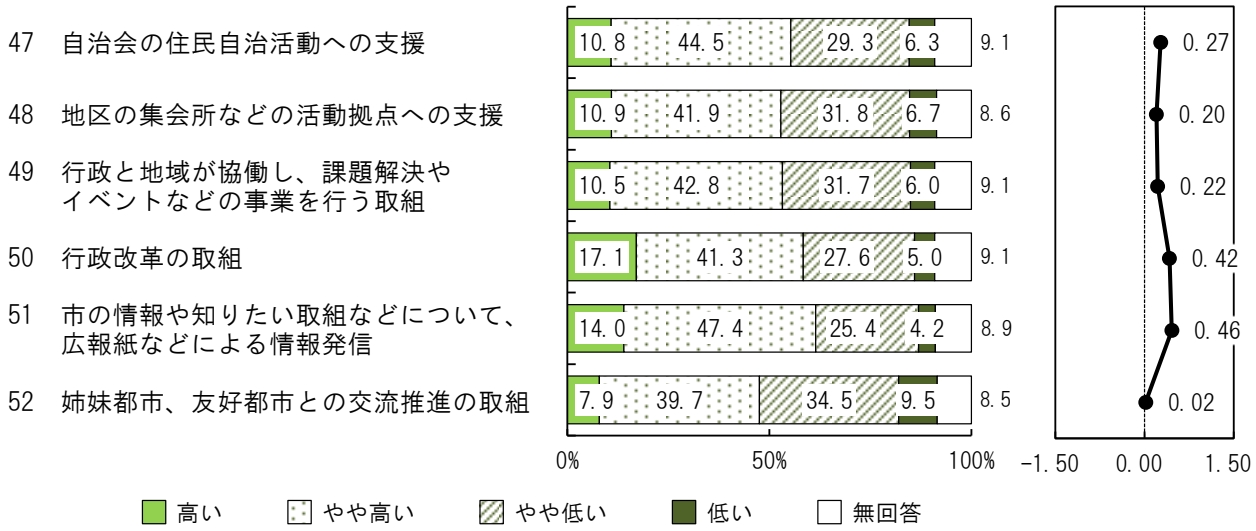
満足度が最も高い項目は、≪51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信≫で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が 56.4%、評価点が 0.27 点となっています。次に満足度が高い項目は、≪47　自治会の住民自治活動への支援≫≪52　姉妹都市、友好都市との交流推進の取組≫（ともに 0.00 点）、≪48　地区の集会所などの活動拠点への支援≫（-0.04 点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、≪50　行政改革の取組≫で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が 55.2%、評価点が-0.30 点となっています。次に満足度が低い項目は、≪49　行政と地域が協働し、課題解決やイベントなどの事業を行う取組≫（-0.06 点）、≪48　地区の集会所などの活動拠点への支援≫（-0.04 点）などとなっています。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

≪重要度≫

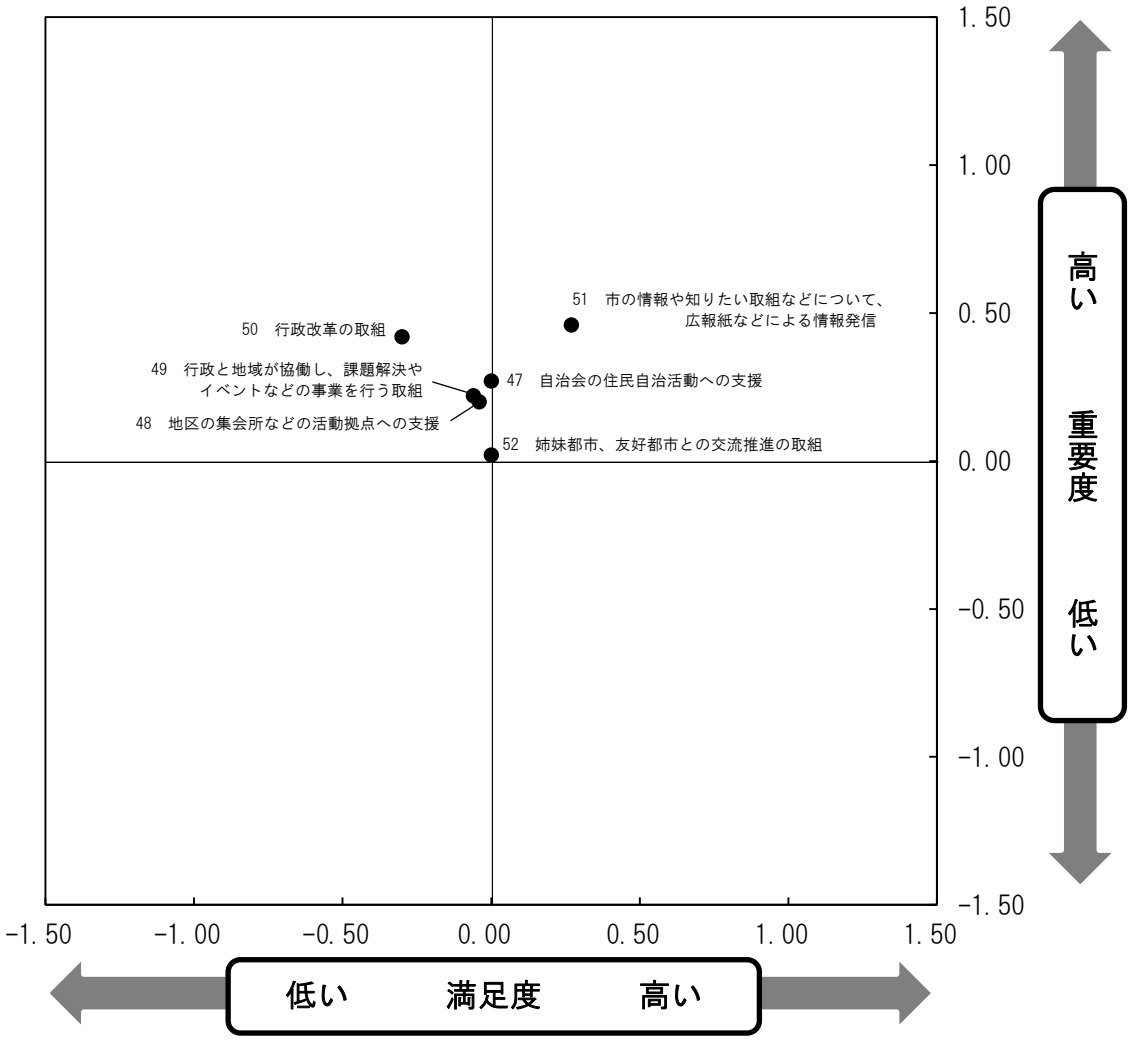
令和５年度（n=685）



重要度が最も高い項目は、≪51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信≫で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が 61.5%、評価点が 0.46 点となっています。次に重要度が高い項目は、≪50　行政改革の取組≫（0.42 点）、≪47　自治会の住民自治活動への支援≫（0.27 点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、≪52　姉妹都市、友好都市との交流推進の取組≫で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が 43.9%、評価点が 0.02 点となっています。次に重要度が低い項目は、≪48　地区の集会所などの活動拠点への支援≫（0.20 点）、≪49　行政と地域が協働し、課題解決やイベントなどの事業を行う取組≫（0.22 点）などとなっています。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり	満足度	重要度
47　自治会の住民自治活動への支援	0.00	0.27
48　地区の集会所などの活動拠点への支援	-0.04	0.20
49　行政と地域が協働し、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	-0.06	0.22
50　行政改革の取組	-0.30	0.42
51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信	0.27	0.46
52　姉妹都市、友好都市との交流推進の取組	0.00	0.02

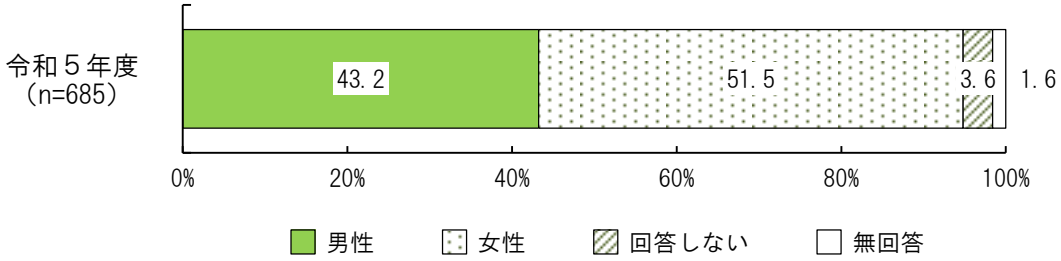


散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、≪51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信≫は満足度が最も高くなっています。一方で、≪50　行政改革の取組≫は重要度が２番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

⑫回答者自身のことについて

（31）回答者の属性　①性別

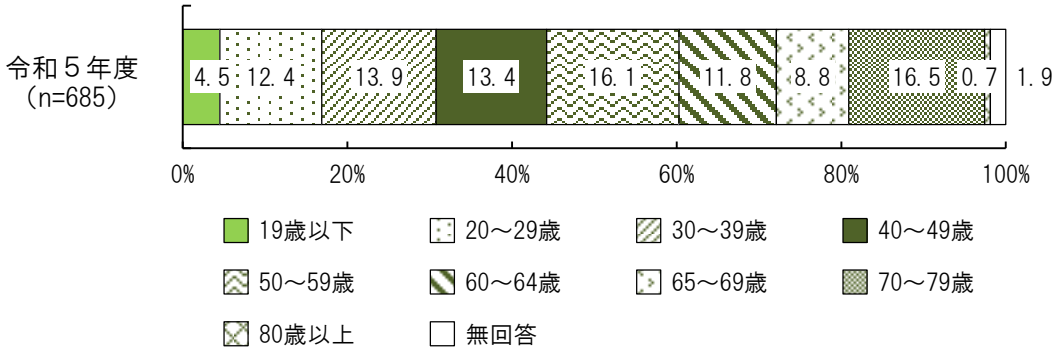
問 25：１　あなたの性別は？（○は１つ）



回答者の性別は、「男性」が 43.2%、「女性」が 51.5%、「回答しない」が 3.6%となっています。

（32）回答者の属性　②年齢

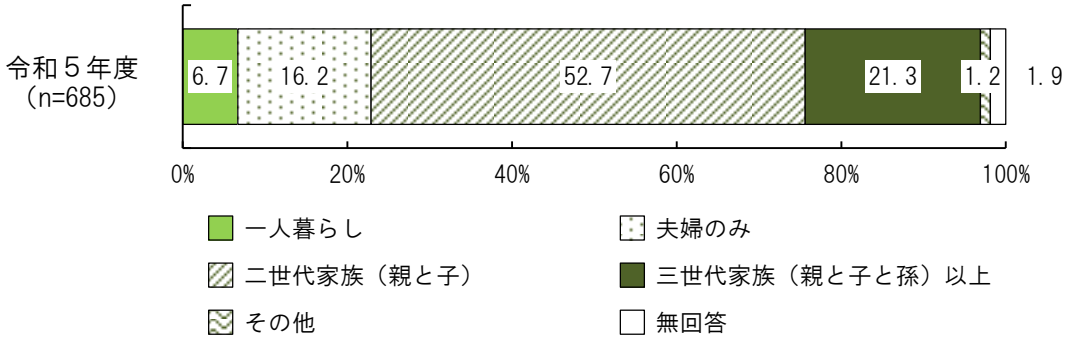
問 25：２　あなたの年齢は？（○は１つ）



回答者の年齢は、「70～79 歳」が 16.5%と最も多く、次いで「50～59 歳」が 16.1%、「30～39 歳」が 13.9%などとなっています。

(33) 回答者の属性　③同居世帯の構成

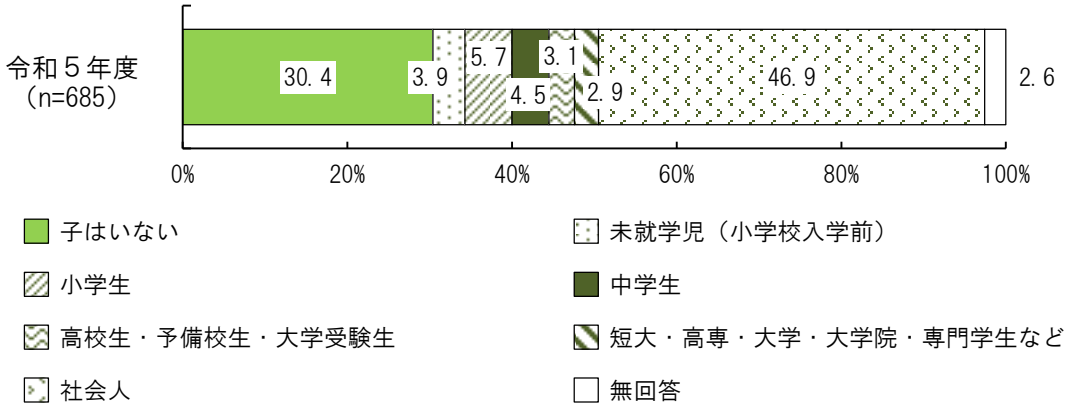
問 25：3　あなたを含む同居世帯の構成は？（○は１つ）



回答者の同居世帯の構成は、「二世代家族（親と子）」が 52.7%と最も多く、次いで「三世代家族（親と子と孫）以上」が 21.3%、「夫婦のみ」が 16.2%などとなっています。

(34) 回答者の属性　④子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろ

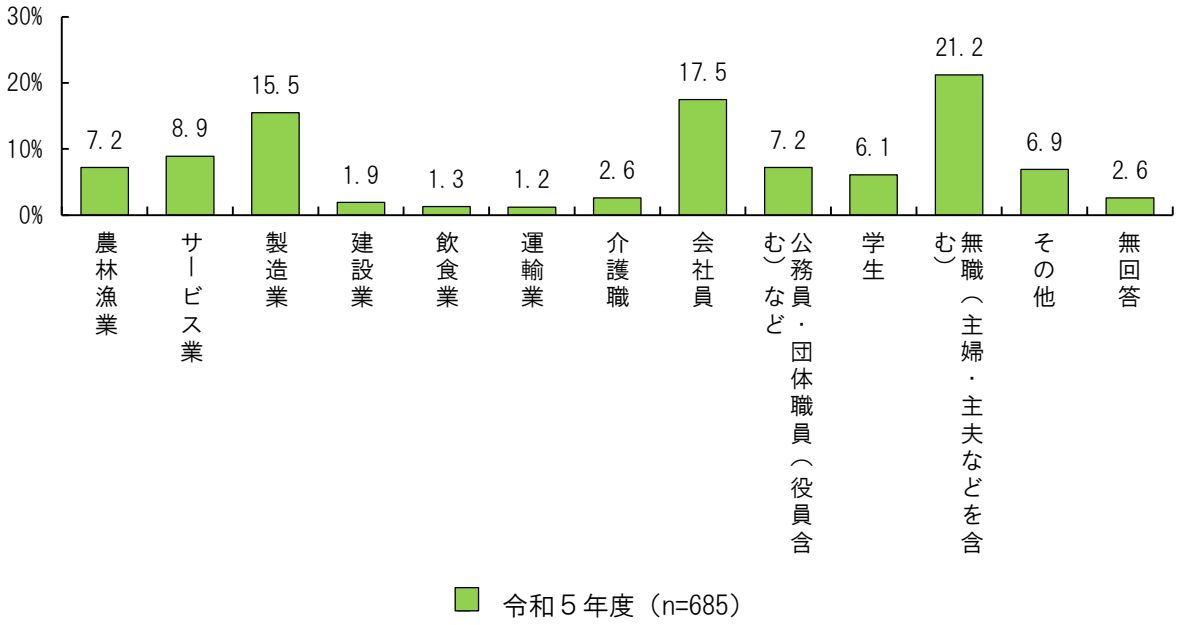
問25：4　あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。（○は１つ）



回答者の子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろは、「社会人」が 46.9%と最も多く、次いで「子はいない」が 30.4%、「小学生」が 5.7%などとなっています。

（35）回答者の属性　⑤職業

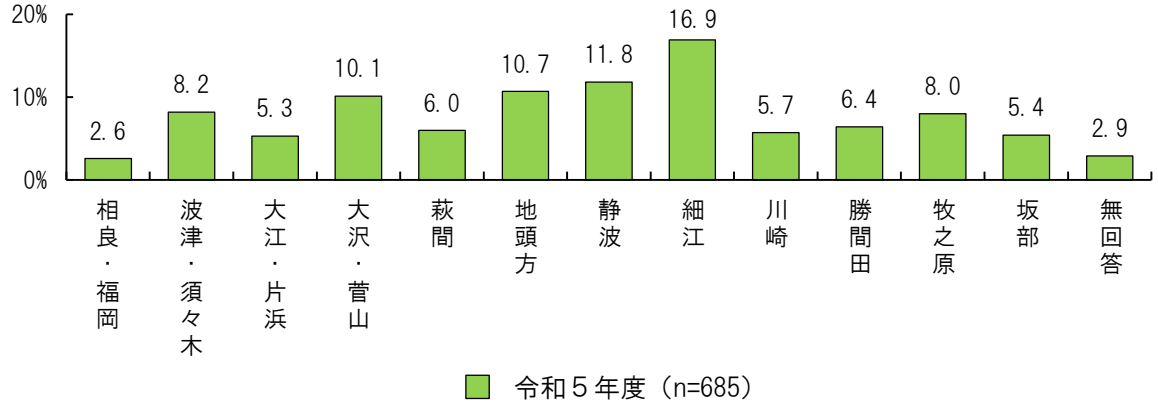
問 25：５　あなたの職業は？（○は１つ）



回答者の職業は、「無職（主婦・主夫などを含む）」が 21.2%と最も多く、次いで「会社員」が 17.5%、「製造業」が 15.5%などとなっています。

（36）回答者の属性　⑥居住地域

問 25：６　現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？（○は１つ）



回答者の居住地域は、「細江」が 16.9%と最も多く、次いで「静波」が 11.8%、「地頭方」が 10.7%などとなっています。

3．調査票

牧之原市　市民意識調査

～アンケートへのご協力のお願い～

日頃から、市政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
牧之原市では、住む魅力のあるまち、次世代にわたりこの地で暮らすことに幸せを感じられるまちを目指し、第３次総合計画をスタートしました。
現在、牧之原市では出生数の減少や若者の減少が、まちの持続性に向けた大きな課題となっています。
その課題解決のため、総合計画の中には、牧之原らしい魅力ある独自の暮らし方・楽しみ方を創出すること、安心して楽しく子育てができ将来に希望が持てる環境づくりやサービスの充実を行うことなど、さまざまなプロジェクトを位置づけています。
この市民意識調査は、総合計画に設定している数値目標の進捗をチェックするとともに、市民の皆様の声をお聴きするために実施しています。
設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、牧之原市の「輝く未来」の実現に向けて、皆様の声を市政に反映させていただきたく、ご協力をお願いいたします。

令和５年４月　　牧之原市長　杉本基久雄

■調査の取扱い
１．調査票は無記名で回答してください。調査結果は統計的に処理します。
２．調査結果は、調査目的以外に使用することはありません。

■調査対象
市内在住の 16 歳以上の男女から無作為で 1,400 人を抽出しています。
（年代や居住地域等に偏りがない形で抽出を行っています。）

■記入上の注意
１．この調査は宛名のご本人が記入してください。ご本人が回答できない場合は、ご家族などによる聞き取りにて記入をお願いします。
３．ご回答は、番号に○を記入してください。回答は、設問ごとに「１つ」「３つ以内」などそれぞれ指定されていますので、ご注意ください。
３．筆記用具の種類は問いません。各番号を囲むように濃く記載してください。**例**（①）

※本調査は、インターネットでの回答も可能です。
回答方法詳細は２ページを確認のうえ回答をお願いします。

■調査票の返送
調査票への記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、**５月 12 日（金）まで**に、**切手を貼らずに**、お近くの郵便ポストに投函してください。

■お問合せ先
牧之原市役所　企画政策部　秘書政策課（担当：中山）
電話　０５４８－２３－００５２

インターネットでの回答方法

調査票はインターネットを利用して、下記のＵＲＬ又はＱＲコードから回答することができます。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末から回答できます。

■ＵＲＬ及びＱＲコード

https://logoform.jp/f/4m2tp

■認証ＩＤ

■回答期限

インターネット回答は、令和５年５月 12 日（金）までにお済ませください。

■その他

・認証 ID は個人を特定するものではなく、郵送回答とインターネット回答の重複を防ぐために使用します。

・調査結果は、他の目的には一切使用しません。

・インターネットにてご回答いただいた方は、調査票の返送は不要です。

牧之原市での暮らしについてお聞きします

問１　あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。

1. 住み続けたい	2. 市内の他の場所へ移りたい
3. 市外へ移りたい	4. わからない

（問１で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。）

問２　他の場所へ移りたい理由を、次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから	2. 通勤や通学など交通面が不便だから
3. 道路などの生活基盤が整備されていないから	4. 子育てや教育の環境が良くないから
5. 医療や介護の環境が良くないから	6. 自然環境が悪化しているから
7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから	8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから
9. 知人や親族がいないから	10. 故郷ではないから
11. 勤めたい会社が市内にないから	
12. その他（具体的に：　　）	

問３　市内で転居するとしたら、どのような場所を重視しますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

※問１で「2. 市内の他の場所へ移りたい」と答えなかった方も、市内で転居するという仮定でお答えください。

1. 災害の心配がないところ	2. 災害の心配はあるが、対策がされているところ（避難タワーや避難路など）
3. 市街地周辺で高台エリア	4. 幹線道路やインターチェンジ周辺など交通の利便性が高いところ
5. 公共交通機関へのアクセスの良いところ	6. 商店や公共施設の近く
7. 学校の近く	8. 職場の近く
9. 病院や医療施設の近く	10. 新興住宅地
11. 自然豊かで緑の多いところ	12. 昔から慣れ親しんだところ（過去に住んでいた、通い慣れた場所など）
13. その他（具体的に：　　）	

問４　あなたは、牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいありますか？最も強く思う場合を10、まったく思わない場合を０として、あてはまるものに１つ○印をつけてください。

10 ・ 9 ・ 8 ・ 7 ・ 6 ・ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ 0

（問４で「10・9・8」と答えた方にお聞きします。）

問５　牧之原市をおすすめしたい理由を、次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 海岸線や里山などの景観	2. 四季の風景
3. 豊かな食	4. ものづくり産業
5. 特産物	6. 魅力ある店舗
7. 観光施設、観光イベント	8. 地域の祭りや伝統行事
9. 歴史文化	10. 交通インフラ(注1)
11. 地域の活動や人のつながり	12. 牧之原らしい暮らし
13. 牧之原市で子育てすること	14. 賑わい創出の取組
15. 活躍できる場があること	
16. その他（具体的に：　　）	

（注１）交通インフラとは、道路や公共交通等の交通基盤のこと。

原子力発電についてお聞きします

問６　あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。

1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
3. どちらともいえない
4. わからない
5. その他（具体的に：　　）

女性にやさしいまちについてお聞きします

当市では、若者の市外への流出が進んでおり、それに伴い出生数も大きく減少しています。
当市の男女別の人口構成では、20 代から 40 代で女性が男性に比べて少ないため、若者世代の定住や出生数を増やすためには、女性の定住意欲を高めるような事業の創出、施策の充実が必要であると考えています。
そのため、当市は「女性にやさしいまち」を目指し、仕事、結婚、子育て、日常生活の各ライフステージにおいて、女性が暮らしやすく、活躍できる環境を充実していきます。

問７　あなたは、牧之原市は女性が暮らしやすいまちだと思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。

1. 大いに思う	**2.** ある程度思う	**3.** どちらともいえない
4. あまり思わない	**5.** まったく思わない	**6.** わからない

問８　あなたは、女性にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？次の中から２つ以内で選んで○印をつけてください。
また、選んだ項目について、具体的に取り組んでほしいことがあれば、カッコ内に記入してください。

1. 仕事【例：働きたい職種がある、育児と仕事の両立ができるなど】 （具体的に：　　）
2. 結婚【例：出会いの場があるなど】 （具体的に：　　）
3. 子育て【例：子どもを産み育てやすい環境づくりなど】 （具体的に：　　）
4. 日常生活【例：買い物や食事などで楽しく過ごせる施設の充実など】 （具体的に：　　）
5. その他 （具体的に：　　）

※記入できる範囲で構いませんので、ご協力をお願いします。

子育て・教育環境についてお聞きします

問９　あなたは、牧之原市が子どもを育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。

1. 大いに思う	**2.** ある程度思う	**3.** どちらともいえない
4. あまり思わない	**5.** まったく思わない	**6.** わからない

問10　あなたは、子どもを育てやすい環境にするため、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 小児科や産婦人科などの医療機関の充実	2. 親子で遊べる施設や公園の整備
3. 子育てに関する経済的支援の充実	4. 悩みごとを話せる相談窓口の充実
5. 教育・文化水準の向上	6. 子どもを預かる施設の充実
7. 地震・津波などの災害対策	8. 地域で子どもを育てる意識の向上
9. 子育てについての積極的な情報提供	10. 家族や地域が育児に参加することの啓発
11. その他（具体的に：　　）	

問11　あなたは、学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 教科の基礎的な学力	2. 実際の場面で使える英語力
3. コンピュータを活用する力	4. 音楽・美術など芸術面の能力や情操
5. 体力や運動能力	6. ものごとを論理的に考える力
7. 自分の考えを表現する力	8. ものごとを計画的に行う力
9. 新しいものを生み出す創造的な力	10. 自ら学ぼうとする意欲
11. 善悪を判断する力	12. 人間関係を築く力（コミュニケーション力）
13. 社会で役立とうとする心	14. 基本的な生活習慣
15. その他（具体的に：　　）	

多文化共生についてお聞きします

当市は、農業や自動車産業が主要産業で、約 2,000 人（令和５年４月１日時点）の外国籍住民が暮らしています。今後、日本人の国内の労働人口の減少が予測され、さらに外国籍従業員の力が必要となり、市内で暮らす外国籍住民が増えると想定されています。

このことから、今後、日常生活において外国籍住民と接する機会が増え、共生していく取組が必要不可欠となっていきます。

問12　あなたは、牧之原市は外国籍住民が暮らしやすいまちだと思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。

1. 大いに思う	2. ある程度思う	3. どちらともいえない
4. あまり思わない	5. まったく思わない	6. わからない

問13　あなたは、外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？次の中から２つ以内で選んで○印をつけてください。
また、選んだ項目について、具体的に取り組んでほしいことがあれば、カッコ内に記入してください。

1. 言語サポート【例：日本語習得の支援など】 （具体的に：　　）
2. 日常生活サポート【例：ごみ出しや地域での生活ルールなどの周知など】 （具体的に：　　）
3. 雇用サポート【例：企業や働くことに関する情報の周知など】 （具体的に：　　）
4. 相談できる窓口【例：悩みや相談を受けてくれる窓口の設置など】 （具体的に：　　）
5. 市民の理解【例：やさしい日本語を使って話をするなど】 （具体的に：　　）
6. その他 （具体的に：　　）

※記入できる範囲で構いませんので、ご協力をお願いします。

公共施設の最適化についてお聞きします

日本では、昭和 40 年代から 50 年代における、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。
これらの公共施設は、老朽化により、近い将来一斉に作り直さなければいけない時期を迎えますが、人口や経済構造が変化する中で、全ての公共施設を維持・更新していくことが財政的に難しくなるため、当市では公共施設の最適化に向け、計画的に取り組んでいきます。

問14　牧之原市では、この「公共施設の最適化」に対応するための取組を行っています。あなたは、市のどのような取組を知っていますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 学校再編の取組	**2.** 保育施設の民営化	**3.** 片浜小学校の利活用
4. 消防団詰所の統廃合	**5.** 図書館の整備	**6.** 老朽化施設の取り壊し
7. 多目的体育館の整備	**8.** 知らない	
9. その他（具体的に：　　）		

問15　「公共施設の最適化」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合もあります。あなたは、このことに対してどう思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。

1. 容認できる	**2.** ある程度までは容認できる	**3.** 容認できない

産業・雇用についてお聞きします

問16　あなたは、市の産業を全体的に見て、活力（元気）があると思いますか？あてはまるものに１つ○印をつけてください。

1. 大いに思う	2. ある程度思う	3. どちらともいえない
4. あまり思わない	5. まったく思わない	6. わからない

問17　あなたは、市の産業に活力があると思いますか？各産業に１つずつ○印をつけてください。

産業＼活力があるか		大いにある	ある程度ある	どちらともいえない	あまりない	まったくない	わからない
【記入例】観光業		1	(2)	3	4	5	6
1	茶業	1	2	3	4	5	6
2	農業（茶業除く）	1	2	3	4	5	6
3	製造業（茶加工業除く）	1	2	3	4	5	6
4	商業・サービス業	1	2	3	4	5	6
5	観光業	1	2	3	4	5	6

健康寿命についてお聞きします

問18　あなたが、健康について気を付けていることは何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 睡眠・休養を十分にとる	2. 食事・栄養に気を配っている
3. 定期的に歯科検診を受けている	4. 定期的に健康診断を受けている
5. 運動やスポーツをするようにしている	6. ストレスをためないようにしている
7. 酒・たばこを控えている、または、やめている	
8. 不安や悩みを相談できる人間関係を築いている	
9. 新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている	
10. 運動に係る行事（グラウンドゴルフ等）に参加している	
11. 趣味活動やクラブ活動に参加している	12. 地域活動や奉仕活動等に参加している
13. 健康について気を付けていることはない	
14. その他（具体的に：　　）	

問19　健康寿命を伸ばすために、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）
2. 食事のバランスや栄養に関する食育講座の開催・情報発信
3. 運動しやすい環境の充実や整備
4. 良質な睡眠のとり方やストレス軽減・解消に関する啓発
5. 適正飲酒に関する啓発
6. 受動喫煙防止の環境整備や啓発
7. 虫歯予防や歯周病予防の健診や相談
8. 歯科衛生士や管理栄養士等の専門職による健康講座
9. 認知症予防の教室や相談
10. その他（具体的に：　　）

行政サービスのデジタル化についてお聞きします

デジタル技術が日々進歩し市民生活に浸透する中、国においても「デジタル庁」を創設するなど、新たな生活様式への変革を図る「デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）」の動きを加速させています。

当市としても、将来にわたり持続可能で安定した行政運営を行い、市民の利便性を向上させるため、今後、行政サービスのデジタル化を計画的に進めていきます。

問20　あなたが現在、個人でインターネットを利用している端末は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. パソコン
2. スマートフォン
3. 携帯電話（スマートフォンを除く）
4. タブレット型端末
5. 家庭用ゲーム機
6. インターネットに接続できるテレビ
7. インターネットは利用していない
8. その他（具体的に：　　）

問21　デジタル技術の導入によって、どのような行政サービスの利便性向上に期待しますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る
2. オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる
3. 市からの情報提供が強化される
4. 業務の効率化により行政コストが削減できる
5. 窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー）が利用できる
6. 飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる
7. 行政が保有するデータを利用・加工できる（オープンデータ）
8. パソコンやスマートフォンの操作支援や講習会が受けられる
9. 期待することはない
10. その他（具体的に：　　）

市からの情報発信についてお聞きします

問22　あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？次の中から３つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 子育て	2. 健康・医療・福祉	3. 防災・防犯
4. 道路整備	5. 観光・イベント	6. 環境
7. 教育	8. 産業	9. 生活
10. スポーツ	11. 文化・歴史・芸術	
12. その他（具体的に：　　）		

問23　あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 広報まきのはら	2. ホームページ	3. Ｆａｃｅｂｏｏｋ
4. 牧之原市公式ＬＩＮＥ	5. 教育委員会だより	6. 新聞、テレビ、ラジオ
7. 区、町内会の会合	8. 市民グループの会合	9. 議員の話
10. 職員の話	11. 公共施設の資料等	12. 議会だより
13. その他（具体的に：　　）		

牧之原市の行政サービスについてお聞きします

問24　あなたは、市の取組について満足していますか？また、その取組が重要であると考えますか？
それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取組によっては、あなたに直接関係のない取組も含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

（満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ）

評価項目	満足度 満足←→不満				重要度 高い←→低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕　行政改革の取組	1	2	③	4	1	②	3	4
【健康福祉】支え合い、活き活きと暮らせる地域と人づくり								
1　子育て支援センターや児童館の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
2　放課後児童クラブや学習支援教室などの取組	1	2	3	4	1	2	3	4
3　幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
4　子育て世帯に関する経済的支援制度（こども医療費助成、妊産婦の出産支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
5　高齢者福祉サービスの取組（介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
6　障がい者福祉サービスの取組（生活支援の取組など）	1	2	3	4	1	2	3	4
7　福祉施設などの整備（介護の必要な方や障がいのある方が利用する施設などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
8　健康づくりサービスの取組（介護予防、健診、相談など）	1	2	3	4	1	2	3	4
9　救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制（指定管理者制度により運営されています。）	1	2	3	4	1	2	3	4
10　地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度 満足←→不満				重要度 高い←→低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり								
11 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	1	2	3	4	1	2	3	4
12 教育環境の整備（学校再編の取組、ＩＣＴ教育の推進など）	1	2	3	4	1	2	3	4
13 生涯学習など教養を高める機会の提供	1	2	3	4	1	2	3	4
14 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
15 伝統文化や歴史文化財、芸術に触れる機会を提供（充実）する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
16 図書館の機能充実に関する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
17 スポーツを行う環境の充実（グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり								
18 農業者・水産業者への支援に関する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
19 特産品の消費推進の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
20 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
21 耕作しやすい農地整備への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
22 企業誘致の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
23 起業者支援に関する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
24 働くことについての支援	1	2	3	4	1	2	3	4
25 市内での買い物を促進する取組（プレミアム商品券など）	1	2	3	4	1	2	3	4
26 観光誘客促進のための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
27 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度 満足 ←→ 不満				重要度 高い ←→ 低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり								
28 道路や河川の補修・整備	1	2	3	4	1	2	3	4
29 上水道の供給環境の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
30 良好な土地利用への誘導（商業地、工場、農地など）	1	2	3	4	1	2	3	4
31 住宅地の確保や住宅地に関する情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4
32 公園・緑地の管理や整備の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
33 生活環境対策などへの取組（ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援、環境美化の啓発など）	1	2	3	4	1	2	3	4
34 公害防止対策への取組（工場や事業所に対する取組）	1	2	3	4	1	2	3	4
35 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
36 街並みや周辺の景観・美観への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
37 自然環境の保全への取組（活動団体への支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
38 富士山静岡空港を活用するための取組（情報発信や交流の推進）	1	2	3	4	1	2	3	4
39 公共交通の充実（バス、デマンド乗り合いタクシーなどの取組）	1	2	3	4	1	2	3	4
40 地域の悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度 満足←→不満				重要度 高い←→低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり								
41　震災・水害・浸水対策への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
42　自主防災組織の強化のための取組（防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取組など）	1	2	3	4	1	2	3	4
43　火災・救急などの消防体制への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
44　盗難などの犯罪防止に対する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
45　学校や地域で子どもを守る取組（軒先運動や青色パトロールなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
46　道路交通の安全対策（歩道などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり								
47　自治会の住民自治活動への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
48　地区の集会所などの活動拠点への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
49　行政と地域が協働し、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	1	2	3	4	1	2	3	4
50　行政改革の取組（効果的、効率的な取組）	1	2	3	4	1	2	3	4
51　市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
52　姉妹都市、友好都市との交流推進の取組（市では三戸町、松川町、人吉市などと交流を行っている）	1	2	3	4	1	2	3	4

あなたご自身についてお聞きします

問 25　それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。（○はそれぞれ１つ）

1　あなたの性別は？

1. 男性
2. 女性
3. 回答しない

2　あなたの年齢は？

1. 19 歳以下　**2.** 20～29 歳　**3.** 30～39 歳　**4.** 40～49 歳　**5.** 50～59 歳
6. 60～64 歳　**7.** 65～69 歳　**8.** 70～79 歳　**9.** 80 歳以上

3　あなたを含む同居世帯の構成は？

1. 一人暮らし　**2.** 夫婦のみ　**3.** 二世代家族（親と子）
4. 三世代家族（親と子と孫）以上　**5.** その他（具体的に：　　）

4　あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。

1. 子はいない　**2.** 未就学児（小学校入学前）　**3.** 小学生
4. 中学生　**5.** 高校生・予備校生・大学受験生
6. 短大・高専・大学・大学院・専門学生など　**7.** 社会人（**2～6**に該当しない場合を含む）

5　あなたの職業は？

1. 農林漁業　**2.** サービス業　**3.** 製造業　**4.** 建設業
5. 飲食業　**6.** 運輸業　**7.** 介護職　**8.** 会社員
9. 公務員・団体職員（役員含む）など　**10.** 学生
11. 無職（主婦・主夫などを含む）　**12.** その他（具体的に：　　）

6　現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡　**2.** 波津・須々木　**3.** 大江・片浜　**4.** 大沢・菅山
5. 萩間　**6.** 地頭方　**7.** 静波　**8.** 細江
9. 川崎　**10.** 勝間田　**11.** 牧之原　**12.** 坂部

次ページの設問へのご回答もお願いします。

日ごろ思うことを、なんでもお書きください

問26　日ごろの暮らしの中で、感じていることや考えていること、市の取組やまちづくりに対するアイデアなど、ご自由にお書きください。

ご 協 力 あ り が と う ご ざ い ま し た。

お手数ですが、この調査票を同封の返信用封筒にお入れいただき、
お近くの郵便ポストに**５月 12 日（金）**までにご投函ください。

インターネットにてご回答いただいた方は、調査票の返送は不要です。

牧之原市
MAKINOHARA

令和５年度　牧之原市　市民意識調査
報告書

発行：令和５年６月
発行者：牧之原市

企画・編集：牧之原市役所 企画政策部 秘書政策課
〒421-0495
静岡県牧之原市静波 447 番地 1
TEL　0548-23-0052
FAX　0548-23-0059
E-mail　seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp
URL　　http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/